

# 2021 年度

## 事 業 報 告 書

社会福祉  
法人 西中国キリスト教社会事業団

法人本部 〒738-0031  
広島県廿日市市原362番地の2  
TEL(0829)38-0011・FAX(0829)38-1192

## 広島キリスト教社会館

所在地	〒733-0025	広島市西区小河内町1丁目13番3号
主事	西嶋 佳弘	
保育所長	窪田 晋治	
かりんセンター長	林 修二	
電話番号	(082)295—7542	(保育所)
	(082)232—4274	(センター)
FAX番号	(082)295—7565	
	(082)232—4284	

## 2021年度 事業報告（全般）

主事 西嶋 佳弘

西中国教区諸教会をはじめ全国の諸教会や学校、そして地域の人々に支えられて、運営が続けられていることに感謝する。運営においては昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症蔓延と利用者、職員への感染により、対応に追われる一年となつた。利用者の減少により、運営的には厳しい面があつた。しかし各部署において職員の適切かつ丁寧な対応と配慮により、信頼関係を維持できたことは感謝である。

保育所は地域の子どもの減少と保育士確保の困難さから、定員を下げて対応している。運営においては、行事等の見直しが進められたが、子どもたちの多様性を認め合い、親和的な関わりの中でおだやかに成長を見守ることを大切にしてきた。二つの学童クラブは、地域のニーズに応えて定員で運営しており、異年齢の関わりを大切にしつつ、家庭の現状を理解し個別の細かい対応と配慮を心がけてきた。

高齢者介護事業は、地域に密着し、利用者の背景や生活状況を把握して、満足度の高い介護ができるよう努めた。障がい福祉サービス事業の生活介護事業所かりんは、デイサービスとの共生型事業として定着してきている。共生型の特徴を活かしつつも、障がいのある利用者に対する職員の理解や対応については課題があり、より適切な支援の質を向上させるよう努めている。デイサービスは中国籍の利用者が増加し、言葉や文化、生活に対する理解を深めるようにしてきた。職員の確保と共に、責任を担える人材育成も課題としている。

職員は、各部署間の相互理解と協調を大切にしつつ、社会館が創立以来取り組んできた課題である部落差別・在日外国人・中国帰国者・心身障がい者・セクシュアルマイノリティ・平和と人権等についての理解を深めてきたが、特に今年度はその機会を持つことがほとんどできなかつたことは残念である。設備面では、送迎車両やIT環境の整備を行つた。

今年度もボランティアや他団体、学校との関係も制限されたが、地域の方々や業者より可能な方法で支援をいただき感謝である。子ども食堂の活動は、弁当による配食や持ち帰りで対応した。「こむぎ」の子どもたちへの進学支援が実を結んだ。

委員会は、数回は書面決議やZoom開催で対応した。運営全般について理解を深め、職員と共に社会館の使命とキリスト教主義の運営理念とを確認しつつ支え、教区諸教会、学校との関係を深めるよう努めた。『社会館だより』は年1回の発行としたが、それを通じて全国の協会や関係者から理解と励まし、祈りと献金をいただいていることに感謝している。

建物の老朽化に伴い、改築の計画について「日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」に応募するため職員と設計事務所とでプロジェクトを立ち上げ、建築業者の協力も得て協議を重ねた。選に漏れたが、これを機に改築計画を具体的に進めていく方向が明確になった。

## 〔社会館委員会報告〕

○委 員：西嶋 佳弘（委員長・主事：広島牛田教会牧師）、後藤 慧（書記代行：広島南部教会牧師）

足立 こずえ（広島主城教会牧師）、神垣 栄（カトリック広島観音町教会信徒）

中江 洋一（在日大韓基督教会広島教会牧師）

○委員会陪席：窪田 晋治、林 修二、清水 博文、藤田修理事長（随時）

（報告時間出席：迫田 和生、高倉 愛子、吉田 松美、須磨 勇記）

## ○開催日時／出席委員人数

※委員会は毎月1回開催（8月・12月休み）。同日18:30からのリーダー会議に引き続き開催し、各部報告の時間は共有

- ・4月22日(木) 19:10～20:40 4名出席 [かりんの部屋]
- ・5月27日(木) ※緊急事態宣言により書面決済
- ・6月24日(木) 19:10～21:00 4名出席 [かりんの部屋] ※藤田修理事長陪席
- ・7月15日(木) 19:00～20:00 3名出席 [かりんの部屋]
- ・9月16日(木) 19:00～21:00 4名出席 [かりんの部屋] ※藤田修理事長陪席
- ・10月28日(木) 19:00～20:40 4名出席 [かりんの部屋]
- ・11月25日(木) 19:00～21:00 4名出席 [かりんの部屋]
- ・1月27日(木) 19:00～20:25 3名出席 [オンライン]
- ・2月24日(木) 19:00～20:30 4名出席 [オンライン] ※藤田修理事長陪席
- ・3月17日(木) 19:00～21:40 3名出席 [かりんの部屋]

## ○内容全般

- ・各部の活動状況と会計の状況、主事の活動について報告を聞き、確認
- ・各部の人事についての報告と承認
- ・設備の維持管理、更新、新規購入等について報告を聞き承認
- ・社会館建替え計画について協議を重ね、仲子設計士協力のもとで「日本財團みらいの福祉施設建築プロジェクト」へ応募した。
- ・1月の委員会でプロジェクトの落選が報告されたが、建替え計画を継続していくこととした。社会館建物改築についての提案や意見交換。
- ・諸規定の改訂について承認
- ・新型コロナウイルス感染防止対策、感染者発生についての対応報告を聞き、承認と意見交換
- ・『社会館だより』（年1回12月発行）の委員による巻頭言担当、内容確認
- ・賛助献金（クリスマス献金等）の依頼と領収書への署名。

### （主事）

- ・事業運営全体について随時相談、アドバイス、支援
- ・改築プロジェクト計画の協議に加わった。
- ・学童クラブ行事等への協力と参加
- ・学童クラブ（2箇所）の子どもへの聖書のお話しさを月1回担当。※感染症対策のため未実施も多くあった。
- ・西中国教区（教会、関連学校）との情報交換や報告、研修会・諸集会への参加案内。

## 保育所報告

所長 窪田 晋治

2021年度は乳児23名、幼児37名の計60名でスタートを切る。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の余波を受けて日々の保育や行事が思うように行えずコロナに振り回された1年であった。日々の感染予防に努めてきたが2月には集団感染が発生し4日間の臨時休園を余儀なくされたことは申し訳なく思っている。主任と副主任体制は2年目を迎える少しずつではあるが現場への補助的な役割と管理体制の構築を目指したい。

処遇改善加算IIの導入に加えて2月より処遇改善の追加補助が導入されたことを受け職員の処遇向上に努めた。

延長保育は昨年度に引き続き登録者が2~3名と少なく17時以降の居残りに掛かる子どもが減少傾向にある。副主任が担当し、遅出の保育士と延長専任の保育士との計4名で対応したが保育士の退職に伴い12月より副主任をクラス担任に変更した為旧職員に応援を要請して3月までなんとかしのぐことができたことは感謝であった。

障がい児保育では療育手帳の交付を受けている児童が西部療育センターからの転園再入園を受入れ、クラス担任を複数担任で対応し、他の保育士と情報を共有しながら個々の成長を見ることができたと思える。またダウン症の用務員は仕事量の増にも慣れてはきたが、業務にバラつきも見られるので、改めて職員がフォローして継続していくことが必要と思われる。

職員研修としては部落差別問題を考える班、民族差別問題を考える班、障がい児(者)差別を考える班、命と平和について考える班、の4部会での取組みが定着してきたことで保育内容について、それぞれの部会での課題提起や意見交換ができたことは、今後に向けての保育の見直しにもつながるものと実感している。また今年度もリモートやWebといった新しい形の研修会が多く行われ、参加できる機会が増えたことは一つの発見であり良かった事といえる。今後も様々な形を取り入れながら無理なく進めていきたい。

卒園児16名を無事送り出すことができたことも一つの節目として感謝しながら、新年度も終息の見えないコロナ禍を職員一同力を合わせて乗り切っていきたい。

### 2021年度 職員配置状況

所長	窪田 晋治	
主任	吉田 松美	
副主任	多々野 和昭	
嘱託医師	(小児科)	村木 幸太郎
嘱託医師	(歯科)	大井出 和久
事務員	宮城 朋子	
用務員	奥田 寿恵	

### Aブロック

あじさい組	(5才児)	大原 美緒
		村橋 宏治
コスモス組	(4才児)	吉久 依里
	(3才児)	岡本 美乃里
		村島 羊子

### Cブロック

らいおん組	(2才児)	三佐々川 早弥佳 (9月 27日 ~ 産休・育休) 村田 帆波 高木 立身 多々野 和昭
きりん組	(1・2才児)	(9月 1日 ~ 11月30日 : 期間満了) (12月 1日 ~ 3月31日 : 担任補助) 落合 志織 角折 知子

Dブロック				
アヒル組	(0・1才児)	楠本 友子 原田 翔子 迫田 涼子 上條 順子 東田 麻美	(11月 30日 退職：自己都合)	
ひよこ組	(0才児)		(9月 8日～増員) (6月 28日～3月31日：保育士補助)	

Eブロック			
栄養士		松脇 尚美 立野 愛枝	

Fブロック			
延長保育		長尾 礼子 山田 明枝	(4月 1日～3月31日：パート) (12月 7日～3月31日：パート)
フリー保育士		清水 麻衣 辻村 玲子	(4月 1日～3月31日：パート) (4月 1日～3月31日：パート)

#### 利用者から寄せられた意見・苦情等について

2021年度中に保育所に出されたご意見や苦情については、特にありませんでした。

### 調理室

栄養士 松脇 尚美

#### 1. 給食状況

コロナ禍の中でもできることを模索し、やり方を職員全体で考えることで食に関する楽しい行事を行うことができた一年だった。「楽しくおいしくたべる」ということを子どもたちみんなが感じられるように一人一人に目を向け、またつまづきがあれば保育室と共に解決方法を探すなど、きめ細かく関わることができたように思う。

#### 2. アレルギー食について

現在3名の食物アレルギー対応食を提供している。

- ・小麦、乳・乳製品完全除去：1名
- ・卵、乳・乳製品完全除去：1名
- ・マヨネーズ除去：1名

#### 3. 今後の課題

引き続きアレルギーについては保育室と調理室がお互いに注意喚起しながら誤食が無いように気を引き締めていきたい。食の安全性についての学習に努め、子どもたちに還元していきたい。  
子どもたちが毎日伸び伸びと過ごせるように、また給食の時間が楽しみなものになるよう調理室からもアプローチしていきたい。

### 2021年度 在籍園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
幼児	37	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	466	38.8
乳児	23	24	24	24	24	25	26	27	27	27	27	27	305	25.4
(内0歳児)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(64)	(5)
在籍児数	60	63	63	63	63	64	65	66	66	66	66	66	771	64.3
保育日数	25	23	26	25	23	24	26	24	25	22	22	26	291	24.3
出席率(%)	80	70	83	79	71	82	82	87	83	83	78	71	948	79.0

**2021年度 地域(町)別在籍数**

区名	町名	人 数	区名	町名	人 数
西 区	小河内町	17	西 区	草津東	1
	福島町	5		三篠町	1
	都町	3		井口	1
	天満町	6	中 区	舟入町	1
	上天満町	4		西川口町	1
	中広町	1		江波西	1
	己斐上	6		白島九軒町	1
	己斐中	2		榎町	1
	己斐西	1		土橋町	1
	己斐大迫	2	佐伯区	石内東	1
	観音町	2		安佐南区	1
	南観音町	1		山本新町	1
	南観音町	2		山本	3
			合 計		66

**2021年度 感染症と怪我件数**

月	感染症等	怪 我
4月		上唇裂傷 1
5月	新型コロナウイルス感染症	1
6月	溶連菌感染症	1
	アデノウイルス感染症	2
7月	RSウイルス	1
8月	RSウイルス	7
	新型コロナウイルス感染症	1
9月	RSウイルス	1
	突発性発疹	2
10月	手足口病	2
11月	手足口病	1 下前歯打撲 1
12月	川崎病	1 右足首骨膜剥離 1 右手第2指爪剥げ 1
	胃腸炎 ノロウイルス感染症 痙攣 結膜炎	2 1 1 1
2月	コロナウイルス感染症	16

\*村木小児科医による健康診断を7月と12月に実施

\*大井出歯科医による歯科検診を11月に実施

## 2021年度 職員の研修参加状況

こども学セミナー2021	麦わらぼうし	原田 翔子
中級職員研修	広島市私立保育協会	松脇 尚美
第一回幼保小連携講演会	広島市子ども未来局保育指導課	大原 美緒
特別研修「子ども主体の保育」のために	広島市保育連盟	落合 志織 大原 美緒 吉久 依里 三佐々川 早弥佳
虐待に関する講座	広島市保育連盟	岡本 美乃里
食育講座	広島市保育連盟	立野 愛枝
虐待防止研修	広島キリスト教社会館	楠本 友子 上條 順子 高木 立身 角折 知子
園・所内研修を充実させるための研修会	広島県教育委員会乳幼児教育支援センター	多々野 和昭
障がい児加配担当保育士研修会	広島市子ども未来局保育指導課	大原 美緒
危機管理研修会（人権・虐待に関する研修会）	広島市子ども未来局保育指導課	吉田 松美
「広島市差別のない人権尊重のまちづくり条例」制定を求めるネットワーク 結成記念講演会		村田 帆波 村橋 宏治 長尾 礼子 吉田 松美 窪田 晋治
子どもの喘息・アレルギー講演会	難病対策センター小児難病相談室	迫田 涼子
個別最適な学びの実現に向けた教職員等研修会	広島県教育委員会	村島 羊子
広島県医療的ケア児等支援のための多職種連携	広島県	長尾 礼子
広島市幼稚園教諭・保育士新規採用者合同研修会	広島市教育委員会	東田 麻美

\*以下の内容で職員研修会を実施しました。

5月・7月・10月・12月・2月：障がい者差別班のグループ研修を実施

5月・7月・11月・12月・3月：命・平和班のグループ研修を実施

6月・9月・11月・1月・3月：民族差別班のグループ研修を実施

6月・9月・11月・1月・3月：部落差別班のグループ研修を実施

その他、月毎にブロック委員会にて保育方針の理解と方法について研鑽を深めた。

## 放課後児童健全育成事業 社会館学童クラブ報告

児童支援員現場リーダー 迫田 和生

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は依然として社会館学童クラブの活動に影響を与えていたり、感染拡大予防策を十分にとった上で、社会館として出来る限りのことをしようと模索し、いろいろな工夫を行い、以前のような活動も行えるようになってきた。特に自然体験活動を中心に力を入れ、活動を行ってきた。近くの山へ出かけたり、河川敷への散歩、凧揚げ大会等、しっかりと体を動かす活動の展開を行った。地域の韓日交流会館主催の「けん玉教室」にも参加し地域との関わる機会も持つことが出来た。また「命の話」として、アルバイトに来ている大学生から、小学校時代に実際に自分が体験した、クラスメイトの話を子どもたちが「命」について考える機会として講演してもらうなど、室内での活動にも色々な取り組みが出来るようになってきた。

児童も保護者も、まだまだ不安な生活を強いられている。その都度社会館として長年培ってきたことを活かし、家庭支援も行つてきた。今後も広島キリスト教社会館として出来うることを状況に合わせ対応をしていく。

社会館が一人一人の「安心の出来る居場所・拠り所」になる為に、職員が子どもたちや保護者の抱えている問題・課題に対して共に支え合う共同体として認識し、仲間を大切にし、差別に負けない子ども達を育てるため人権問題に積極的に取り組んでいく。そして様々な理由で社会館を必要としている全ての子ども及び保護者の良き相談相手となれるように努めていく。

「子ども達の居場所づくり」、「子育て支援の相談」、「社会館を必要とするすべての人が安心して集える場所」を確保するための活動に取り組み、全ての人が「社会館」という場所を継続して利用できる環境を作っていくなければならないと考えている。

今後も時代とともに変化していく「差別」への自身の認識を新たに更新して行き、様々な人と共に生活をする中で差別をしない、してはいけない事を意識し、取り組みを行っていく。また、様々な差別やイジメが起こった時には“助け合う事が出来る力”を養える様な環境を作る。将来その様な事があった際、話し合える仲間(関係)作りを目指し、児童や支援員だけでなく保護者の方の意見等も聞き共に考え、取り組める事が出来るようにする。

### 1. 活動内容

・工作をしよう	(定期的)	スライムや木工作など、いろいろな物を使って工夫をする。
・外出プログラム	土曜日	(月1~2回) お花見遠足、健康科学館で遊ぼう、動物園、
	1日活動日	自然体験活動(山登り、川遊びなど)、など。
・木曜日の活動	(不定期的)	おやつ作り、河川敷散歩など
・交流活動	(不定期的)	第1クラブ・第2クラブ合同の行事活動
・木曜子ども会	隔週木曜日	月1~2回 讚美歌を歌い、西嶋主事より聖書の話を聞く。
・宿泊プログラム	(長期休み中)	小学校長期休業期間に1泊2日の宿泊活動

### 2. 会員の構成

2022年3月31日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	合 計
第1クラブ	10名	6名	11名	6名	3名	5名	41名	78名
第2クラブ	9名	7名	10名	5名	1名	5名	37名	

### 3. 活動日数及び平均利用人數

月活動日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年平均
	25日	23日	26日	25日	24日	24日	26日	24日	25日	23日	22日	26日	293日	24日
第1延べ数	627人	555人	627人	585人	542人	506人	617人	551人	606人	452人	423人	615人	6,706人	559人
平均数	25人	24人	24人	23人	23人	21人	24人	23人	21人	20人	19人	21人	23人	23人
第2延べ数	651人	525人	644人	611人	601人	536人	596人	497人	534人	407人	373人	462人	6,437人	536人
平均数	26人	23人	25人	24人	25人	22人	23人	21人	21人	18人	17人	18人	22人	22人
合計	1,278人	1,080人	1,271人	1,196人	1,143人	1,042人	1,213人	1,098人	1,140人	859人	796人	1,077人	13,143人	1,095人
平均数	51人	47人	49人	48人	48人	43人	43人	47人	44人	46人	37人	36人	41人	45人

### 4. 職員配置状況

正規職員	管理職 事務長(支援員)	林 修二
現場リーダー	清水 博文	
児童支援員	迫田 和生 (こむぎ兼務) (こむぎ兼務)	

### 非常勤職員

児童支援員	郷田 由桂 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート 2/23~産育休)
児童支援員	下宮 貴子 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	黒川 邦子 (3月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	竹本 壱子 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	中城 いづみ (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	土居 晶子 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	木村 昌子 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	庄司 翼子 (こむぎ兼務) (こむぎ兼務)
児童補助員	國安 誠子 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	湯川 綾子 (1月 31日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	飛田 裕司 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	河内 風彩 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	洞村 綾香 (こむぎ兼務) (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	永井 園華 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
児童補助員	小山 あすか (8月 1日 ~ 3月31日 ; パート)
事務補助員	阿南 由美 (4月 1日 ~ 3月31日 ; パート)

### 退職者

児童支援員	飯田 典男 (自己都合)
児童支援員	古本 美智子 (自己都合)
児童補助員	岩崎 朋葉 (自己都合)
児童補助員	木田 悠 (契約期間満了)

### 5. 意見・苦情相談等について

2021年度中に出されたご意見や苦情相談について以下のような対応を行った。

- ・相談 8件 保護者から、家庭状況や子ども同士のトラブル等について相談があり対応した。
- ・苦情 3件 保護者より、活動時間内での宿題の事や支援員の言動の事等について苦情・意見があり指導の仕方について指導員間で改善出来るように話し合い対応した。

事故報告は以下の通りです。

- ・事故報告 5件 行事及び外遊び時に子どもがケガをした為、保護者に連絡し処置をして対応した。(※物損事故も含む)

2021年度 行事活動一覧( 第1「陽だまり」、第2「こもれ陽」)

※( )内は実施したクラブ

月	行 事	月	行 事
4 月	1・2年「ブチピニックに行こう」・3～6年「公園に行こう」「遠足に行こう～子ども文化科学館～」 1・2年「太田川に行こう」・3～6年「河川敷探検に行こう」「Myキャップを作ろう」(第1・第2)		学年別活動 交流活動 学年別活動 クラス別活動
5 月	※5月8日から感染防止集中対策期間、5月16日より緊急事態宣言発令の為、外刊活動については自粛を行った。 1・2年「山登りをしよう！」・3～6年「山登り探検に行こう！」 「安佐動物公園に行こう」 → 中止 クラス別「通常活動」(第1・第2) 「おやつ作りをしよう」(第1・第2) 交流活動「公園に行こう」 → 中止「通常活動」(第1・第2) 小学校運動会延期に伴い → 変更「通常活動」(第1・第2)		学年別活動 特別活動 クラス別活動 クラス別活動 クラス別活動 クラス別活動 交流活動
6 月	※5月16日～6月20日の期間は緊急事態宣言中の為、外出活動については自粛を行った。 「おやつ作りをしよう」(第1・第2) 「工作をしよう」(第1・第2) 「通常活動」(第1・第2) 「ペーラーショップ」		クラス別活動 クラス別活動 クラス別活動 交流活動
7 月	「おやつ作りしよう！」(第1・第2) 「工作をしよう！」(第1・第2) 「染物体験をしよう！」 1・2年「愛しさについて考えよう」 3～6年「命について」 3～6年生「保育所プールで遊ぼう」 1・2年生「保育所プールで遊ぼう」 「園庭水遊びをしよう！」		クラス別活動 クラス別活動 交流活動 学年別活動 学年別活動 学年別活動 交流活動
8 月	1・2年生「しんちゃんの子どものころ」 3～6年生「デイ利用者の体験」 3～6年生「保育所プールで遊ぼう」 1・2年生「保育所プールで遊ぼう」 「食べ物の話」(第1・第2) 「けん玉教室に行こう」(第1・第2)		平和学習 平和学習 学年別活動 学年別活動 クラス別活動 クラス別活動
	8/12(金)～8/19(金)までは人情警報の発令が続いたため、プールなどの特別活動は中止とした。また、非常災害対応に基づき、児童の安全確保の為、保護者に送迎を依頼した。		
	交流活動「学童クラブ夏祭り」 → 中止「おやつ作り」(第1・第2) 「クイズ大会」 交流活動「遊びに行こう」 → 中止・変更「学童クラブ夏祭り」 「園庭水遊びをしよう！」		クラス別活動 交流活動 交流行事 交流活動
9 月	「保育所プールで遊ぼう」 「保育所プールで遊ぼう」 「おやつ作りをしよう」(第1) 「工作をしよう！」(第2) 「ピクニックに行こう」		交流活動 交流活動 クラス別活動 クラス別活動 交流活動
		その他	(不定期) おやつ作り・通達訓練 ※保育所・デイサービス交流会に関しては新型コロナウイルス感染症が終息まで中止している。
			(月)～2回木曜日 木曜子ども会(歌と絵本、紙芝居の読み聞かせ)

## ひとり親家庭等居場所づくり事業 社会館スペースこむぎ報告

児童支援員現場リーダー 須磨 勇記

ひとり親家庭等(補助対象)を中心に、学習支援・食事支援を居場所づくり事業として行ってきた。また、補助対象・補助対象外に関わらず、地域の子どもや学童クラブ卒業生、学童クラブ利用児童の家庭も受け入れて活動した。こむぎ食堂や学習会を継続して開催する事で社会館が地域の交流拠点となり、「地域社会のインフラ」ともなる様に進めた。

### ○学習支援

中学生を中心に、学習習慣の習得や基礎学力の向上、テスト前学習を行った。今年度は、高校受験生の参加が多く、第一志望校合格に向けた学習方法で学習会を進めた。

### ○交流活動

昨年度同様、定期的に行っていた誕生日会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催する事が出来なかつた。クリスマス会は、感染状況が落ち着いていた期間だった為、こむぎ食堂後に行った。

### ○食事支援

広島市こども未来局家庭支援課から、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策(まん延防止等重点措置、感染拡大防止集中対策期間等)が通知され、開催中止期間は食堂形式での開催及び学習会前の夕食を中止しなければならない期間があつた。食堂形式での開催出来なかつた期間は「こむぎ食堂お弁当テイクアウト」を行つた。食堂形式で開催出来ない事により、子どもや親が集い憩える場を提供する事が出来なかつた。

### ○相談

感染症対策による制限の多い期間が長期間続く中でのストレスや不安、養育を含む家庭環境について多くの相談を受けた。また、虐待や子どもの障がい(服薬含む)に関する相談も多く受けた。何れも一つ一つ丁寧に対応した。保護者からの相談はお弁当受け渡しの際に行つたが、時間に余裕がなく十分な対応を取る事が出来なかつた場合には、メールで相談に対応した。

### ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対応について

学習会・こむぎ食堂共に、開催前後に消毒清掃、開所中は常時換気、学習会参加者は「手洗い・不織布マスクの着用」、こむぎ食堂及びお弁当テイクアウト参加者は「施設内に入る際のアルコール消毒や手洗い、マスクの着用等」のお願いをした。何れの参加者にも「学校休校期間中や発熱などの症状がある場合には参加を控えて頂きます様お願い致します。」とお知らせした。学習会は、なるべく向かい合わない様に席の間隔を十分に取つて行つた。

#### 1. 開設日数・利用者数

・開設日数	147日				
・登録者数	未就学児 8人	児童 39人	保護者 18人		
・参加者延人数	未就学児 113人	小学生 531人	中学生 516人		
	親 351人	その他 (対象外)	1,092人)		

#### 2. 職員配置

正規職員	管 理 者	林 修二	
	児童支援員	須磨 勇記	(学童兼務)
	児童支援員	迫田 和生	(学童兼務)
非常勤職員	児童補助員(学習支援)	萱嶋 浩史郎	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	児童補助員	國安 誠子	(3月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	調理員	矢田 浩子	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	調理補助	木村 百合子	(12月 10日 ~ 3月31日 : パート)
	調理補助	山田 真理子	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	調理補助兼児童補助員	永井 園華	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	児童補助員(学習支援)	湯川 綾子	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
退職者	調理補助	川本 都	(自己都合)
			(4月 1日 ~ 12月31日 : パート)

### 3. 学習支援

- ・実施内容

小学生 … 基礎学力の向上、学習習慣の習得、宿題

中学生 … 基礎学力の向上、学習習慣の習得、高校進学(第一志望校合格)に向けた学習、試験勉強、宿題、提出課題

- ・開催日数

141日

- ・参加者延人数

対象児童 306人(小学生 0人 中学生 306人)

対象外児童 780人(小学生 2人 中学生 778人)

- ・実施体制

職員1~4名

学習支援ボランティア 17名(社会人・大学生・大学院生)1日平均1~2名

### 4. 食事提供

- ・実施内容

第1~第4金曜日にこむぎ食堂を開催。こむぎ食堂日以外にも学習会前の食事支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置期間中や、感染拡大防止集中対策期間中は、食堂形式で開催する事が出来なかつた為、「こむぎ食堂お弁当テイクアウト」を行つた。いずれも感染症対策を十分に取り、参加者には事前に「検温や手指の消毒、マスクの着用等についてのお願い」を連絡し、感染症対策に協力して頂いた上で開催した。こむぎ食堂は「週に一度集まり、明るく楽しい雰囲気の中でご飯を食べる事が出来、子どもも親も楽しみな場」として行つてきたが、上記の理由から開催出来ない期間が長くなってしまった。集まって食事を摂れなくなった事により、参加者同士で話をする機会が無くなり、養育環境や家庭での子ども達の様子等の把握が困難となつた。親のストレスが子どもに悪い影響を及ぼさない様、お弁当を受け渡す際には「ご家庭の様子はどうですか?困り事はありませんか?」等、悩み事等について相談しやすい様に声掛けをし、丁寧且つ継続的な対応をした。

- ・メニュー

ちらし寿司、てりやきチキン、ハムカツ、チャップチエ、ミックスフライ、そぼろご飯、しょうが焼き、白身魚のあんかけ、メンチカツ、ハンバーグ、ヤンニヨムチキン、肉野菜炒め、からあげ等

- ・開催日数

50日

- ・参加者延人数

対象児童・保護者等 1,178人

(未就学児 110人 小学生 519人 中学生 206人 親等 343人)

対象外児童・保護者等 303人

(未就学児 38人 小学生 37人 中学生 147人 親等 81人)

- ・食材提供

広島県内の食品取り扱い企業や地域の方を中心に、食材やお菓子等を提供して頂いた。全国こども食堂支援センターむすびえや、フードバンク、広島こども食堂支援センターと連携し食材や食品、長期保存食品、おもちゃ等の提供募集に応募して参加者に配布した。

- ・体制 (調理等)

調理員 2~3名

ボランティア(調理補助 5名、保育 1名)(社会人及び大学生)

### 5. その他(交流会等)

- ・実施内容

クリスマス会 (1回)

- ・開催日数

1日

- ・参加者延人数

対象児童・保護者等 27人

(未就学児 3人 小学生 12人 中学生 4人 保護者等 8人)

対象外児童・保護者等 7人

(未就学児 0人 小学生 1人 中学生 6人 その他 2人)

- ・実施体制

職員 4名

## デイサービスセンターかりん・生活介護事業所かりん報告

センター長 林 修二

○今年度もコロナウイルス感染症対策を継続したが、以下の通りコロナウイルス感染症の発生があった。

1. 2月17日(木)夕方、Kさんの息子さんより「コロナの陽性になりました。」の連絡があった。Kさんが濃厚接触者になるので、感染拡大防止のため18日(金)を休業にした。施設内の消毒やシーツなどの洗濯をし、全スタッフのPCR検査を実施した。いずれも陰性だった。希望者には弁当を配り、全員に安否確認し記録した。KさんのPCR検査がなかなかできなかつたが、保健センターに何度も依頼し、ようやく18日(金)夕方医師による抗原検査にて陰性が判明、19日(土)から営業することにした。
2. 2月26日(土)利用者Sさん コロナ陽性の連絡、連れ合いさんが会社で感染、25日(金)に陽性が判明していた。38.3度の熱、のどの痛み、咳の症状がみられた。心臓疾患があるので、ホテルに隔離その後入院された。23日(水)に来所されていたが25日(金)は休まれているので、「かりん」での感染の危険はない。

○暴言・暴力の出る利用者がおられ、家族、行政などの関係機関と協力して対応したが、対応に苦慮する場合もあった。

○中国帰国者・中国人の利用者を受け入れてきており、利用者67名中15名(22.3%)になっている。中国人スタッフが5人おり、中国語による意思の疎通が可能なことが評価されている。

かりんの特徴は以下のとおりです。

1. 家庭的で、普段着のまま来ることができ、安心して過ごせる利用者主体の憩いのデイサービス。
2. 1人1人のニーズに応え、きめ細かいサービス提供を行う。
3. 職員と利用者が世話ををする・されるの関係ではなく、共に過ごし、共に笑い合える関係を大切にする。
4. 同性介護を行い、利用者の尊厳を尊重する。
5. 保育所、学童クラブの子どもたちとの交流を行う。
6. デイサービスでの援助をきっかけに、利用者の生活をさまざまな面から支えられるよう、生活相談を行う。
7. 今まで培った信頼関係をもとに地域のニーズを掘り起こし、どのような活動をすればいいのかを追求していく。
8. 高齢者や障がい者が共に過ごす地域の居場所として活動を続けていく。
9. 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など関係機関と連携をとりながらケアを進めていく。

### 1. 職員配置

正規職員	センター長	林 修二
	主任(管理者)	須佐美 愛子
	介護職員兼生活相談員	閔 丙淑

非常勤職員	介護職員兼生活相談員	岩井 一仁	(6月 10日 ~ 傷病中 : 非常勤)
	介護職員	金本 林珂	(4月 1日 ~ 3月31日 : 非常勤)
	介護職員	森山 孝代	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	介護職員兼調理員	山田 真理子 (こむぎ兼務)	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	介護職員	池田 直子	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	介護職員	孫 燕	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	介護職員	中江 美和	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	介護職員	黄 麗花	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	介護職員	方 婷	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	介護職員	山本 晓杰	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	介護職員	山田 稔	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)

介護職員	辻村 玲子	(訪問兼務)	(5月 1日 ~ 3月31日 : パート)
介護職員	濱野 節子	(訪問兼務)	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
看護師	神車 清美		(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
看護師	櫻本 多恵		(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
看護師	甲田 千佐子		(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
調理員	岩本 文子		(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
調理員	清水 瑞奈		(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
調理員	矢田 浩子	(こむぎ兼務)	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
清掃員	今城 薫	(訪問兼務)	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
指導員	原田 春夫		(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
退職者	介護職員	東 裕子	(自己都合) (4月 1日 ~ 3月31日 : パート)

## 2. 活動日及び活動時間

- ・月曜日～土曜日 午前9時～午後4時1分(送迎の時間は除く)

## 3. ボランティア

- ・和田 和江さん(広島流川教会)
- ・在日大韓基督教広島教会 有志(月1回) 昼食づくり(韓国料理)奉仕…コロナで中止中。
- ・女学院中高YWCA(顧問:刀祢館先生)…コロナで中止中。
- ・中国語語りかけボランティア…斎藤 泰子さん、三好 礼子さん、谷口 裕さん、黄 麗華さん…コロナで部分実施。
- ・ノートルダム清心中学校…クリスマスプレゼント持参。
- ・ポスコジャパン株式会社 広島支店…コロナで中止中。
- ・広島ダルク(月2回 活動補助・洗車)…コロナで部分実施。
- ・閔 然秀(ミン ヨンス)さん、朴 成秀(パク ソンジュ)さん(韓国語教室講師、週1回)…コロナで部分実施。
- ・浜田 ハルミさん(チャンゴ教室講師・傾聴ボランティア 週1回)…コロナで部分実施。

## 4. 実習生・見学者等

- ・広島市立観音中学校、広島市立庚午中学校(職場体験) … コロナで中止
- ・教職員免許法特例法による「介護等体験」受入調整事業(エリザベート音楽大学他) … コロナ対策をとり実施

## 5. 利用者及び利用状況(2021年3月末)

〈通所介護〉

・登録者	要介護 51名 総合事業 16名 計 67名(新規 8名、退会 6名)
・実施日数	304日(内コロナ発生休所日 1日)
・利用者延人数	7,057人
・1日平均利用者数	23.21名

### ①年齢別状況

性別	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳以上
女性	2	2	7	8	20	14	1	2
男性	1	0	1	3	2	4	0	0
合計	3	2	8	11	22	18	1	2

最少年齢 57歳

最高年齢 97歳

平均年齢 80.77歳

②地区別状況

都町	小河内1・2	福島1・2	天満・中広	観音地区	己斐地区	基町・白島	その他
11	11	12	7	10	1	8	7

③利用者の介護度

要介護度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数	0	9	7	19	16	7	6	3
%	0.00	13.43	10.45	28.36	23.88	10.45	8.96	4.48

④朝鮮半島にルーツを持つ利用者	4名	( 5.9%)
⑤被爆者健康手帳保持者	21名	( 31.3%)
⑥社会福祉法人サービス利用者負担軽減費用助成費補助金	0名	( 0.0%)
⑦生活保護受給者	15名	( 22.3%)
⑧中国帰国者及び家族の利用者	13名	( 19.4%)
⑨中国人利用者	2名	( 2.9%)

〈生活介護〉

・登録者	4名
・実施日数	304日(内コロナ発生休所日 1日)
・利用者延人数	640人
・1日平均利用者数	2.1名

①年齢別状況

性別	30歳未満	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳
女性	0	0	2	1	0	0	1	0
男性	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	2	1	0	0	1	0

最少年齢 36歳 最高年齢 44.25歳

②障がい種別

種別	知的	身体	精神
人数	2	2	0

③障がい区分

区分	区分2	区分3	区分4
人数	0	1	3

6. 事故、ひやりはっと、苦情報告

・ひやりはっと報告	3件	(前年度 11件)
・事故報告	22件	(前年度 36件)
・車両事故報告	1件	(前年度 5件) ※すべて車体をこすった事故
・苦情	0件	(前年度 1件)

## 訪問介護事業所かりん報告

サービス提供責任者 沖 千代子

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で会議や研修を予定通り行えない状況だった。しかし、こういった状況だからこそ、質の良いサービスを利用者に提供するため、昨年度から行った「虐待防止研修」や「接遇マナー研修」等も、より深く違う目線での研修となるよう介護労働安定センターの担当者と共に計画を立てた。その成果が生かせるよう、スタッフ間で情報を交換したり、いろいろな立場からの意見を聞き、訪問介護員としての質の向上を目指した。また、施設内のデイサービス・居宅介護支援事業所との連携を図り、地域で必要とされる訪問介護サービスを提供できるように努めた。

### 1. 職員配置

正規職員	管理者	林 修二	
	サービス提供責任者	沖 千代子	
非常勤職員	サービス提供責任者	濱野 節子	(デイサービス兼務) (4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	訪問介護員	塩村 百合子	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	訪問介護員	吉元 智子	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	訪問介護員	北升 玲子	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	訪問介護員	北 久美子	(4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	訪問介護員	今城 薫	(デイサービス兼務) (4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
	訪問介護員	辻村 玲子	(デイサービス兼務) (4月 1日 ~ 3月31日 : パート)
退職者	訪問介護員	上田 悅子	(自己都合) (4月 1日 ~ 7月31日 : パート)

### 2. 利用者及び利用状況

#### ①利用状況

月	利用者数	訪問件数	月	利用者数	訪問件数
4月	33	278	10月	30	268
5月	32	267	11月	29	259
6月	33	296	12月	27	252
7月	32	295	1月	29	253
8月	30	277	2月	28	239
9月	29	261	3月	31	257
合 計					3,202

#### ②年齢別状況

性 別	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳以上
女 性	1	0	2	4	9	6	2	1
男 性	1	0	0	1	2	0	2	0
合 計	2	0	2	5	11	6	4	1

#### ③地区別状況

都町	小河内1・2	福島1・2	上天満・天満	観音地区	己斐地区	その他
4	5	3	4	6	3	6

④利用者の介護度

要介護度	事業対象者	要支援	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護保険外
人数	0	5	8	10	5	1	1	1	2
%	0.0	15.2	24.2	30.3	15.2	3.0	3.0	3.0	6.1

⑤世帯の状況

世帯形態	女性	男性	合計
単身	15	4	19
夫婦	1	3	4
その他	8	0	8
合計	24	7	31

- ⑥韓国籍・朝鮮籍の高齢者 0名 ( 0.0%)
- ⑦被爆者健康手帳保持者 13名 ( 41.9%)
- ⑧社会福祉法人サービス利用者負担軽減費用助成費補助金 0名 ( 0.0%)
- ⑨生活保護受給者 4名 ( 12.9%)

### 3. 利用形態等の状況

・サービス内容

生活援助	身体介護を含む生活援助	身体介護	合計
26人	5人	0人	31人

・訪問回数

不定期	週1	週2	週3	週4	週5以上	合計
0人	12人	12人	4人	1人	2人	31人

### 4. ご意見・苦情・相談

3 件

- ・利用者宅のベランダで角ハンガーを竿に取り付ける時、手が滑り落下。角ハンガーの取っ手を破損。  
→同様な物を購入し謝罪をした。
- ・2階の利用者宅のベランダで竿を拭いている時、1階の庭に竿が落下。  
→1階の住人に謝罪をし、竿を取らせもらった。
- ・ヘルパー職員の業務対応について  
他店の駐車場に自家用車を駐車したり、サービス提供時間内にサービスが終わらないことを理由に、訪問介護計画を無視し、独自の判断でサービスを行っていた。  
→本人に指導したが、納得されなかつたので本人の申し出により自己都合退職されることになった。

## 居宅介護事業所かりん報告

管理者(介護支援専門員) 松宗 理恵

訪問介護・デイサービスと連携しながら、利用者やご家族の意向に添ったサービス提供を行うことができた。2021年度はコロナ禍の中、利用者やご家族の感染に対する不安からサービスの自粛、またコロナ感染拡大によりサービス事業所の休業等、今までとは違った状況に戸惑いながら対応を行っていた。本人の心身の状態の悪化予防、ご家族の介護負担の軽減を大切に、厚生労働省の最新情報などを生かし、各サービス事業所と連携しながら在宅での支援を行うことができた。また、Zoomを活用した研修に積極的に参加し情報収集や質の向上にも取り組むことができた。

居宅の事業を存続していくためには利用者の獲得が大きな課題となっており、今後も関係機関と連携を図りながら利用者獲得に向けて努力したい。

### 1. 職員配置

正規職員 センター長 林 修二  
管理者 松宗 理恵  
(介護支援専門員)

非常勤職員 介護支援専門員 坂井 八千代 (4月 1日 ~ 3月 31日 : パート)

### 2. 利用者及び利用状況

#### ①利用状況

月	要介護	介護予防	月	要介護	介護予防
4月	27	26	10月	30	28
5月	25	30	11月	31	27
6月	26	30	12月	31	27
7月	25	30	1月	31	29
8月	26	30	2月	31	28
9月	30	28	3月	36	27

#### ②年齢別状況

性別	65歳未満	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~94歳	95歳以上
女性	0	0	3	4	19	13	4	4
男性	1	0	1	5	8	6	3	0
合計	1	0	4	9	27	19	7	4

最少年齢 49歳

最高年齢 99歳

平均年齢 83.7歳

#### ③地区別状況

都町	小河内1・2	福島1・2	上天満・天満	観音地区	己斐地区	その他
11	14	8	7	23	2	6

④利用者の介護度

要介護度	要支援	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数	16	14	17	13	5	4	2
%	22.5	19.7	23.9	18.3	7.0	5.6	2.8

⑤世帯の状況

世帯形態	女性	男性	合計
単身	41	12	53
夫婦	7	11	18
その他	0	0	0
合計	48	23	71

⑥韓国籍・朝鮮籍の高齢者

2名 ( 2.8%)

⑦被爆者健康手帳保持者

29名 ( 40.8%)

⑧社会福祉法人サービス利用者負担軽減費用助成費補助金

0名 ( 0%)

⑨生活保護受給者

10名 ( 14.0%)

## 特別養護老人ホーム清鈴園

所在地

〒738-0031 廿日市市原10362-2

園長

香川 誠二

電話番号

(0829)38-0011

FAX番号

(0829)38-1192

## 特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービスセンター

報告者 園長 香川誠二

### 総括

今年度は清鈴園開設50周年の記念すべき節目でしたが、コロナ感染拡大の影響で開園記念行事の礼拝式典を1年延期することにしました。また、施設内に整備計画の平和資料室「鈴の音」も準備が遅れ完成を同じく1年後となりました。

コロナ禍も2年が経過し、入所者とご家族の皆さんにはご不自由をお掛けした一年となりました。

自然災害や感染症など思わぬ災害を想定し、コロナ感染者が発生したことを想定したコロナ感染初期対応訓練(クラスター防止)、非常食訓練や冬場の長時間停電を想定した訓練も行いました。訓練の中から思わぬ発見と入所者の精神的变化にも気づくことができ今後の計画に活かします。

ICT(情報通信技術)導入では Wi-Fi 通信設備を館内の全範囲に整備、入所者の記録もパソコンと連動したタブレットを導入、介護記録を各部署で効率的に共有することができるようになりました。

脱炭素化に伴い、国の補助金を活用してデイサービスセンターのエアコン、特養とデイサービスセンターの入浴用給湯を電気化に移行。洗濯室の大型洗濯機を重油ボイラーからガス化に移行し環境改善を行いました。

「働き方改革の推進」の取り組みとして、介護職員の心身の負担軽減を図るため、朝の水分補給や朝食時の離床など日常業務を見直し業務改善を進めました。また、物品管理は運搬する動線を短くする工夫を行い職員の心身の負担軽減に成果を上げることができました。職員間の協力・連携を強化するために、パート職員も朝礼に出席し、情報を共有化・統一化の充実を図りました。

人事は6月に介護職員1名退職に対し、2022年2月に男性介護職員1名採用しました。ハローワークに求人を掛け1年間で1件の問い合わせでした。介護職員の採用がますます厳しい状況となっています。

コロナ禍の生活が続く中、職員と職員のご家族共に健康管理に努力していただき、今まで園内にはコロナ感染者はいません。何時感染者が発生するかもしれない状況の中で引き続き気を引き締めます。

おわりに、清鈴園運動を支えていただいた全国の皆さまの愛のお支えに、心より感謝申し上げます。

### 特別養護老人ホーム(以下、特養)・ショートステイ(以下、ショート)

入退所者は退所12人、新規入所12名。退所者の内11名は園内で看取り、1名は長期入院治療を必要とし退所。コロナ感染拡大の中、看取りの方々はご家族と最後の限られた時間と一緒に過ごし安心していただくことができました。

入所者の入院時・退所後の空きベッドを活用して、ショート受け入れに積極的に取り組みました。特養とショートを合わせた稼働率は年間で99.3%と実績を上げることができました。日頃から次期入所予定者ご家族、ケアマネ、施設相談員と連絡を密にとり、双方の状況確認を継続していることが目標14日以内の入所受け入れ達成に繋がりました。

入所者とご家族の面会は、コロナ禍の状況を見ながら直接面会とリモート面会を繰り返しました。入所者の園の生活状況を伝える清鈴園通信は今年も毎月発行し、ご家族と身元引受人様との心の絆づくりに努めました。

コロナ禍で行事は自粛し、ご家族とボランティアと交流する行事はできませんでしたが、納涼会や焼き芋など季節行事に工夫を凝らし入所者の皆さんに楽しんでいただきました。6月

からは理学療法士の指導で毎週水曜日「朝の集い」でリハビリ体操をはじめました。

介護職員の新人研修を見直し、経験豊富な職員が担当し、座学と現場実習を焦らず時間を掛けゆとりを持って指導・育成しています。

#### デイサービスセンター

介護報酬見直しを機に、経営改善のため地域密着型に移行し、定員を20名から18名へ、利用時間を利用者ニーズ調査結果から1時間短縮し6～7時間としました。

当施設の清鈴園温泉を売りに大型浴槽で温泉気分を演出、特殊浴槽で要介護者も安全・安心して楽しく入浴していただくよう努めました。利用者の体力面の負担を考え一日コースと半日コースを併用利用できるようにし利用回数増につながりました。

コロナ感染拡大の第5派と第6派の影響で8月～11月、1月～3月の間は利用控えで休まれる方が目立ち実績に影響しました。新規利用者登録も年間7名で伸びませんでした。

利用実績は年間で月平均利用者数12.1人、稼働率67.2%、延べ利用者数は3692人で前年度より76人増となりました。

利用者増に伴い非常勤介護職員1名を迎えました。介護経験のない職員に対しスタッフ皆で丁寧に指導し育成しています。

地域活動はコロナ禍の落ち着いた時期に、約2年開催できなかった「原地区お互い様ネット会議」「原ほっとサロン」に参加し、参加者の送迎の協力もできました。

これからも地域の安心のシンボルとして頼りにされるよう、サービスの質向上に努めてまいります。

以上

# 事務管理部

## I. 実績

### (1) 人事・労務

#### ① 職員配置状況

(2022/3/31 現在)

施設長	事務長	事務員	調理員	管理栄養士	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護師	嘱託医	理学療法士	洗濯職員	運転手	清掃職員	宿直職員	合計	
															計	
共通(常勤)	1	1	2	2	1										7	
共通(非常勤)					4						1	3		5	4	17
特養部(常勤)						1	1	16	4							22
特養部(非常勤)								6		1			2			9
在宅部(常勤)							1		1							2
在宅部(非常勤)									5	2			4			11
合計(常勤)	1	1	2	2	1	2	1	17	4							31
合計(非常勤)					4			11	2	1	1	3	6	5	4	37

### (2) 財務

#### ① 寄付金状況

支える会 4,322,601円 一般寄付金 1,976,325円 合計 6,298,926円

### (3) 防災・設備等

・通報訓練 11月26日

・消防訓練 7月29日 / 1月20日 / 3月17日

### (4) ボランティア状況

洗濯室関係 コロナ禍の為、受け入れ中止

## II. 特記事項、評価と課題

- ① 補助金を活用し電気温水器、大型洗濯機、大型乾燥機、ディサービスのエアコンを入れ替えた。  
それに伴いボイラーを廃止した。
- ② Wi-Fiの環境を整備しタブレット等の導入を取り入れた。  
現場の業務効率につながった。
- ③ タイムレコーダーの見直しはできなかった。  
給与ソフトとの連携を視野に労務管理の方法を再検討したい。

〈入退職者一覧〉

2021/4/1 ~ 2022/3/31

【採用職員】

採用年月日	氏名	所属	職務
2021年 4月 1日	山根 常男	事務室	洗濯職員
2021年 11月 1日	迫 真由美	デイサービス	介護職員
2022年 2月 1日	是佐 清司	ケア室	介護職員

【退職職員】

退職年月日	氏名	所属	職務
2021年 6月 30日	大屋 貴嗣	ケア室	介護職員
2022年 3月 31日	石原 美幸	デイサービス	看護職員

## 栄養室

### サービス目標

個人個人の栄養ケア計画に基づいた栄養管理を行い、食に関するQOLの向上を目指す。

### I 感染症や災害への対応力強化

#### 1.感染症や災害時の食事提供について

- ① 外注業者との提携
- ② 給食委員会での非常食訓練マニュアルを作成し、実施訓練を行う

\*8月の給食委員会で非常食訓練の実施の提案と訓練内容、役割分担などを行った。

9月の連絡会にて非常食訓練の日程を10/28とし実施日まで2回の打ち合わせを行った。

それに伴い栄養室内での非常時(災害時、感染症時)のマニュアルを作成し、内部で対応できる場合と外部発注する場合のフローチャートを作成した。

非常食訓練は栄養室職員が出勤できない場合を想定して行った。

また、1月に予定停電を行ったため、栄養室職員が出勤できているときの非常食訓練を行うことができた。

### II 自立支援・重度化防止・QOL向上

#### 1.口腔機能衛生管理体制の強化

- ① 口腔ケアの見直し
- ② 口腔ケアについての知識、技術の向上

\*口腔ケアについては医務室にて見直しが行われている。

#### 2.栄養管理の強化

- ① 栄養ケアの充実

\*表1より常食に比べて介護食(ソフト食、ミキサー食)の割合が増えてきた。

ミールラウンドを多職種で行うことにより個々個人の食事摂取状態をより早く確認でき

対応できるようになった。

表2より低栄養のリスクとしては中リスクが多いが低リスクの割合も徐々に上がってきてている。

## ② 経口維持の強化

\*表3より介護報酬改定に伴い経口維持加算の算定を行うことになった。

そのため毎月対象者のミールラウンドを行い経口維持のための対応(食事形態、ポジショニング  
食事介助方法、食事環境など)を行った。

## III.人材育成・働き甲斐の充実

### 1.働き方改革における業務の見直し

#### ① 業務の効率化を図り、ゆとりを作る。

\*業務に効率化として徹底的に無駄を省き効率的に動けるよう食器棚の整備や食器かごの増量  
また、炊飯器を廃止しスチコンをすることなど時間短縮に取り組んだ。

## IV.2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営

### 1.介護報酬改定による加算算定

#### ① 現在行っている業務に対しての加算請求についての見直し

\*前年度は療養食加算と栄養マネージメント加算だったが介護報酬改定で栄養マネージメント  
加算が基本報酬となったため療養食加算のみとなった。

#### ② これから行う業務についての加算についての取り組み

\*表3より介護報酬改定で経口維持加算の算定と栄養マネージメント加算の算定を行うことにな  
った。

## 実践計画(案)

### 栄養室

月	実践課題	具体的取り組み	担当者
4	II-2 栄養管理の強化	栄養ケア計画、栄養アセスメント、栄養スクリーニング	藤田、各担当職員
	III-1 働き方改革における業務の見直し	部署内ミーティング	栄養室
	IV-1 介護報酬改定による加算算定		藤田
5	I-1 感染症や災害時の食事提供について	給食委員会(食中毒研修)	給食委員
	II-2 栄養管理の強化	栄養モニタリング	藤田
6	II-2 栄養管理の強化	栄養モニタリング	藤田
7	II-2 栄養管理の強化	栄養ケア計画、栄養スクリーニング、栄養モニタリング	藤田
8	I-1 感染症や災害時の食事提供について	給食委員会(非常食マニュアル作成と訓練案)	給食委員
	II-2 栄養管理の強化	栄養モニタリング	藤田
9	I-1 感染症や災害時の食事提供について	非常食訓練(実施訓練)	給食委員、栄養室
	II-2 栄養管理の強化	栄養モニタリング	藤田
10	II-2 栄養管理の強化	栄養ケア計画、栄養スクリーニング、栄養モニタリング	藤田
11	I-1 感染症や災害時の食事提供について	給食委員会(非常食マニュアル作成と反省会)	給食委員
	II-2 栄養管理の強化	栄養モニタリング	藤田
12	II-2 栄養管理の強化	栄養モニタリング	藤田
1	II-2 栄養管理の強化	栄養ケア計画、栄養スクリーニング、栄養モニタリング	藤田
2	II-1 口腔機能衛生管理体制の強化	給食委員会(口腔機能研修)	給食委員
	II-2 栄養管理の強化	栄養モニタリング	藤田
3	II-2 栄養管理の強化	栄養モニタリング	藤田

表1 食事形態(副食) (食)

月\形態	○	一口	○1/2	きざみ	きざみ1/2	ソフト	ソフト1/2	ミキサー	ミキサー1/2
4	6	6	2	0	1	31	4	4	1
5	8	4	2	0	1	31	4	5	1
6	8	4	2	1	1	29	3	6	1
7	9	4	3	1	1	30	3	6	0
8	8	4	3	1	1	29	4	6	0
9	6	4	4	1	1	27	7	4	1
10	6	5	4	1	1	27	7	4	1
11	6	5	4	0	1	29	7	3	2
12	6	5	3	0	1	26	10	3	2
1	7	5	3	0	1	21	14	2	3
2	7	5	3	0	1	17	14	3	4
3	9	5	2	0	1	16	12	4	6
平均	7.2	4.7	2.9	0.4	1.0	26.1	7.4	4.2	1.8

表2 低栄養のリスク

月\リスク	低(人)	%	中(人)	%	高(人)	%
4	18	34.6	30	57.7	4	7.7
5	18	33.3	32	59.3	4	7.4
6	19	34.5	32	58.2	4	7.3
7	20	35.1	33	57.9	4	7.0
8	20	35.1	33	57.9	4	7.0
9	20	35.1	33	57.9	4	7.0
10	20	34.5	34	58.6	4	6.9
11	20	34.5	35	60.3	3	5.2
12	20	34.5	35	60.3	3	5.2
1	20	34.5	35	60.3	3	5.2
2	20	35.1	34	59.6	3	5.3
3	22	38.6	32	56.1	3	5.3
平均	19.8	34.9	33.2	58.7	3.6	6.4

表3 介護報酬加算(人)

月	経口維持加算	強化加算(LIFE)
10	40	58
11	41	59
12	42	58
1	42	58
2	41	58
3	42	59
平均	41.3	58.3

## 特養部 相談室

報告者 嘉屋 幸代 山縣 美由紀

### I. 感染症や災害への対応力強化

#### 1. 新型コロナウイルス感染症について

- (1) 新型コロナワクチン接種を行うため、ご家族に早めに摂取時期や書類の準備について連絡し、予定通り行う事が出来た。接種についてご家族からの質問があつたが、嘱託医、医務室に確認をとりお伝えしたことで、承諾され接種することができた。体調不良で摂取が延期になったご利用者については、ご家族に連絡し、その後摂取していただいた。新型コロナワクチンは今まで接種したことがないため、接種前、接種後に不安を持たれているご家族がいらしたが、細やかに説明することで、スムーズに接種が行えた。
- (2) 園内で新型コロナウイルスの感染を想定して、1日を通しての想定訓練を行ない、感染時の対応と現在の課題について再確認を行った。
- (3) 職員が園内にウイルスを持ち込まないよう、体調管理と仕事外での行動に留意した。
- (4) 直接面会が中止の時期は、ZOOM、LINE でのリモート面会を行った。
- (5) 毎月、清鈴園通信を作成し、園内での様子や新型コロナウイルス感染症対応についてのお知らせを行った。

### II. 自立支援・重度化防止・QOL の向上

#### 1. 自立支援

- (1) 現状の課題と生活状態を照らし合わせ、その人らしさを活かしたアプローチを6か月に1回行われるカンファレンスで各部署連携して行った。
- (2) 食事の時、車椅子から椅子への移り変わり、歩行可能な方は手引き歩行等を行い、ご利用者の状態に応じた生活リハビリを取り入れ残存機能の保持に努めた。

#### 2. 重度化防止

- (1) ご利用者に体調変化があった場合は嘱託医、各部署で連携をとり早期に対応行なった。2021年度は3名の方が入院され、2名は回復し園での生活を継続されている。
- (2) PTによるベッド上のポジショニング検討を行い、拘縮、褥瘡予防に努めた。PTによる週1回のリハビリ体操を6月から開始し、体を動かし、歌を歌うことで、気持ちのリフレッシュと筋肉萎縮の予防を行った。

### 3. QOL の向上

- (1) コロナ禍のため積極的な外出は出来なかつたが、春には原地区に家がある方の近隣散策を行ない、秋には廿日市高齢者ケアセンターで行なわれた、文化祭へ外出した。
- 外出の代わりに春にはテラスからお花見、秋には花の植え付けを行い、季節を感じてい頂いた。
- (2) 外部の方を招いての行事と、ボランティアの受け入れ中止のため、ご利用者の園内の楽しみが減少したが、恒例行事は密にならないよう工夫し、職員が協力して行なつた。
- エプロン、清拭たたみや新聞紙の袋制作はご利用者自らが進んで行い、ご利用者の良好な人間関係の構築につながつた。
- (3) ご家族との連携
- ① カンファレンス前にご利用者、ご家族の意向を確認しケアプランに反映した。
  - ② 毎月、清鈴園通信を作成し園の取り組みや、生活の様子をお知らせした。
  - ③ ご利用者に体調の変化等があった時は、細やかにご家族に様子をお伝えした。
  - ④ ご家族が園に来られた時は、利用者の体調や園での様子を直接お伝えし、気兼ねなく話をして頂けるよう良好な関係性を築くよう心掛けた。
  - ⑤ SNSを活用し、園内の行事や日々の様子の情報発信を行つた。
  - ⑥ 季節ごとの行事の写真をご家族へ送付。ご家族から好評でお礼の手紙をいいだした。
- (4) 新入園者の対応
- ① 新型コロナウイルス感染症の対応として、2階居室へご家族に上がってもらう事は 中止していたが、新入園のご家族に限り、手指消毒、チェックリストの記入、検温、マスク着用のうえ、他のご利用者が居室、廊下にいない時間に生活される居室を見ていただいた。2 階へ上がる事が出来なかつたご家族へは後日、居室の写真を送り、ご利用者の様子や部屋の雰囲気を見ていただいた。
  - ② 遠方のご家族には、ZOOM を使用して面談と施設説明を行い、お互い顔を見る事ができ、安心して入所を進める事が出来た。
- (5) 終末期を迎える方への対応
- ① 嘱託医の先生と相談し、終末期を迎えるご家族には静養室へ移つて頂き、ご家族との面会を行なつた。久しぶりにお会いするご家族もいらっしゃり、面会できたことをとても喜ばれていた。最後にご利用者とご家族が安心できる看取りに取り組むことが出来た。
  - ② 体調が低下されたご利用者のご家族には、早めに嘱託医の先生から状況を説明していただき、ご家族の看取りについての意向をお聞きし、不安がないよう対応した。昨年度12名ご逝去されたが、1名を除いて11名を園で看取りを行つた。

#### (6) 対応困難な方へ取り組み

介護抵抗があり、前施設で困難ケースの方の受け入れを、各部署で相談し、事前に情報共有を行いスムーズに入所していただく事ができた。今後も安心のシンボルとなるよう困難ケースを各部署で協力して受け入れを行っていく。

### III. 人材育成・働き方改革の充実

1. 相談室職員の有給取得は目標の60%は達成。

2. テクノロジーの活用

(1) 9月からタブレットの導入を行い、各部署の情報共有の効率化ができた。

(2) 新入園の訪問面接はZOOMを使用し、感染予防と移動時間の短縮が行えた。

3. 創立50周年記念式典

9月23日に予定していた50周年記念式典は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となり、2022年9月23日に延期。22年に向けてはらおぐさ、記念作品の製作を継続していく。

4. 人材育成

権利擁護についての研修を相談室2名が受講し、入所されている方や、今後入所される方の権利擁護についての知識を深めた。

事故発生時の予防と発生時の適切な対応を推進するため、安全対策担当者養成研修を受講した。

### IV. 介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営

1. 上半期は準備が整わず、新しい加算取得に間に合わなかったが、下半期から新たな加算取得を行った。(科学的介護推進体制加算(Ⅱ) 安全対策体制加算)

2. 適正かつ迅速な入所に向けた取り組み

(1) 上位待機者にはスムーズに入所していただけるよう、ご家族、ケアマネジャー、施設相談員と連絡を密にとり、空床から2週間以内に入所していただく事ができた。

(2) 入所申込が年間34名。安定した運営をするために、居宅、病院への働きかけを継続して行う必要がある。施設見学の方にはコロナ禍で実際に見学していただけないので、タブレットを利用して、居室等のフロアを見ていただき、申し込みにつなげていく。

3. 稼働率・利用率の向上を図る 稼働率目標 99% 実績 99.3%

21年度は毎月1名入院している状態であったが、空きベッドをショートステイで活用し、目標達成できた。

## 実績

特養稼働率 98.2% 特養・ショートステイ稼働率99.3%

入園者状況(2022年3月31日現在)

	退園者 12名	入園者 12名
内訳	死亡 (園) 11名	自宅より 6名
	死亡 (病院) 1名	病院より 1名
	名	介護老人保健施設より 3名
	名	高齢者専門賃貸住宅より 1名
	名	グループホームより 0名
	名	小規模多機能ホームより 1名

在園者状況 (2022年3月31日現在) 在園者 57名

### ①平均年齢

	最年少者	最年長者	平均年齢	全体平均
男性	72	87	80.57	88.11
女性	66	104	89.16	

### ②要介護度平均

	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ
男性	0	0	1	4	2
女性	0	0	14	17	19
計	0	0	15	21	21
比率(%)	0.00%	0.00%	26.32%	36.84%	36.84%

### ③在園期間

	1年未満	1~5年	5~10年	10~15年	15~20年	20年以上	平均
男性	3	3	1	0	0	0	02年6月
女性	6	26	15	2	1	0	04年9月
計	9	29	16	2	1	0	04年5月

#### ④身元引受人者

	実子	配偶者	兄弟姉妹	孫	甥・姪	従兄弟	義兄弟	その他
男性	1	3	1	0	1	0	0	0
女性	38	1	6	0	1	0	1	4
計	39	4	7	0	2	0	1	4
比率(%)	68.4%	7.0%	12.3%	0.0%	3.5%	0.0%	1.8%	7.0%

⑤面会状況(退園者を含めた合計:延べ455人 70家族)

	52回以上	25~51回	13~24回	7~12回	3~6回	1~2回	〇回
家族数	0	5	9	6	21	13	16
比率(%)	0.00%	7.14%	12.86%	8.57%	30.00%	18.57%	22.86%

⑥外出・外泊(医師による健康状態の確認を行って実施): 外出行事除く

外出·2件

外泊:0件

## 一年間のプログラム

2021年度、清鈴園は設立50周年を迎えました。記念式典や様々な行事を予定しておりましたが、コロナ禍のため記念式典は来年度に延期となりました。昨年に続き、多くの方々の心温まる手作りの贈り物や飾り、励ましのお手紙や言葉をたくさん頂きました。おかげ様で、園内でご利用者と職員とで企画、準備した行事やレクリエーション、園庭周辺の自然の恵みで一年間を楽しく活動することが出来ました。

月	プログラム	内容・協力
4	園庭桜見物	・今年も園庭のソメイヨシノと八重桜の見物をしました。桜吹雪に感嘆の声があがりました。
	故人追悼記念会	・廿日市教会東牧師司式のもと、昨年度ご逝去された11名の方を偲び、皆で献花しました。
	不在者投票 鈴春会	・立会人のもと、園内で7名の方が投票されました。 ・コロナ禍のため、園内のみで会を行いました。寸劇で水戸黄門様御一行登場！
5	ドライブ・日光浴	・青空に泳ぐ鯉のぼりを見ながら、テラスで日光浴をしました。 ・地御前神社や自然豊かな原地区の散策をしました。
6	ドライブ・日光浴 梅の実収穫	・感染に気を配りながら、主に廿日市近辺のドライブをしました。 ・園庭の梅の実を収穫しました。梅のヘタも取って、梅シロップ作りに挑戦！
7	枇杷の収穫 七夕	・収穫祭第2弾！園庭の枇杷を収穫し、枇杷ジャム作り♪美味しく頂きました。 ・今年の願いもご家族の健康と、「早くコロナがおさまって、皆で集まれますように…」。短冊に書かれた皆様の願いが天に届きますように。
8	「8・6」集会 納涼会	・「きちっとせにや、我が命がないんじやけえ。昔はね、皆自分のことが精いっぱいでね…戦争は、するもんじゃないよ。」震える声で語って下さいました。 ・スイカわりに金魚釣り、屋台のお土産に冷たいデザート♪ 夏を満喫しました。
9	ご長寿と清鈴園設立を祝う会	・節目を迎えた7名の方をご紹介し、皆のご長寿と清鈴園の設立50周年を祝いました。今年は当日ショートをご利用の方も含めて、100歳以上の方が3名おられました。クイズや秋田大黒舞を踊ったり賑やかな時間を過ごしました。
10	不在者投票 日光浴・ドライブ 非常食訓練	・立会人のもと11名の方が投票されました。 ・周辺の山々の季節の移ろいや鳥の声を楽しみました。 ・厨房がストップした際スムーズに食事提供できるよう毎年訓練しています。今年は昨年の反省を生かし、非常時の主食を工夫しケアワーカーが用意しました。
11	花の植え付け 焼きいも大会 ふれあい文化祭出展 文化祭外出・日光浴	・プランターに皆でチューリップの球根やパンジーを植えました。来年の春が楽しみです。 ・心地よい秋空に炭と焼き芋の香りがなんとも食欲をそそります。「もう1本おかわり～♪」普段小食のご利用者も食が進みます。 ・コロナ禍のため一般公開はせず、Web公開となりましたが、ご利用者と一緒に見に行くことができました。今年も書道で「家族への手紙2021」を作りました。
12	クリスマス祝会  キャロリング  年越しそば	・今年もフレーザー幼稚園の園児さんや広島女学院、活水中学・高等学校、友の会の方々からたくさんの手作りプレゼントやクリスマスカードを頂きました。当日は、廿日市教会東牧師にお越しいただき、クリスマス礼拝やご利用者・職員有志によるウクレレ Christmas 合奏を行いました。 ・今年も感染対策に配慮しながら12月24日の夜、有志の方々と行いました。暗がりにペンライトの光が灯り、皆の歌声が響き渡りました。 ・今年も栄養室が腕を振るった温かい年越しそばを頂きました。
1	正月祝会  初風呂（柚子風呂）  書き初め 長時間停電被害想定訓練	・懐かしの映画を鑑賞しながら、お抹茶と和菓子を頂き、ゆったりと時間を過ごしました。 ・地域の方からの頂き物や、園庭に実った新鮮な柚子を入れて、香りを楽しみました。 ・新年の抱負やご家族への思いを込めて、筆をとりました。 ・災害時に長時間停電になった際、どのように動くのか、皆で準備し訓練を行いました。いつもよりちょっと暗い廊下や居室にドキドキ…。
2	節分  新型コロナウィルス感染症発生時の初動対応訓練	・健康を祈り、豆に見立てたスポンジボールを鬼に扮した職員目がけて投げます。ご利用者はこのイベントが一番盛り上がっておられるかも（笑）。 ・常日頃より様々な訓練を行っておりますが、栄養室・事務室も含め長時間の想定訓練を行いました。全身防護服に汗びっしょりです。
3	ひな祭り	・恒例のひな祭り撮影会。華やかな装いに「私も写真撮って～」と女雛役のご希望の声が多数でした。参加者は女性が多い為、男雛役のご利用者達は大忙し。

## 特養部 医務室

### I 感染症や災害への対応力強化

- ① 新型コロナウィルス感染症についての正しい知識を学び、感染防止、特にウィルスを「施設に持ち込まない」を念頭に職員の意識を高めることができた。職員の毎朝の自主的な体温測定、手指洗浄＆消毒による基本的な予防が実践できている。職員の日々の努力により今年度の感染者は職員・入所者ともに出なかった。
- 感染時対策のための防護物品等を確保し、備えることができた。
- 6月からワクチン接種が始まり、入所者の体調を考慮しながら日程を調整し、嘱託医と連携して今年度中に職員・入所者共にほぼ全員に3回の接種を終えることができた。
- ② 災害時に備えて非常食訓練や防災・避難訓練に参加し、実践訓練の大切さを学ぶことで援助時に必要な物、必要な行動を考えることができた。

### II 自立支援・重度化防止・QOL向上

「いつもと違う」を気付けるように入所者との関わりができるだけ多く持ち、異常を見ついたら嘱託医に報告し、指示を仰ぐことに努めている。受診が必要だと思われる場合、積極的に紹介をお願いした。

帯状疱疹などの早めに対処しなければ重症化してしまう症例について、早期に発見し早期に受診することで重症化を防ぐことができた。異常に気付けるのは医務室だけでは難しく、異常発見の報告をしてくれる他部署との連携により成し得ることができた。

### III 地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う コロナ禍で地域との活動・交流機会が困難であった。

### IV 人材育成・働き甲斐の充実

10月より主任・副主任の新体制となり、それに伴って業務改善にも取り組んだ。

昨年度より医務室会議を開くことになったが、今年度は開催回数も増やすことができ、意見交換を持つ機会が増えた。これまでの業務を見直し、必要なこと無駄なことを見極めて少しずつだが改善している。口腔ケア物品の洗浄やケアの方法などはまだまだ改善が進んでいないので、次年度の課題となった。

業務改善することで日々の業務(コロナウイルス対策を含む)による重圧やストレス、身体への負担を軽減していかなければいけない。

#### V 2021年介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営

科学的介護情報システム「LIFE」の活用開始により、タブレット端末が導入された。入力に慣れるのに時間はかかったが、問題なく活用できている。

#### その他

嘱託医とのグループ LINE の活用は以前から始めていたが、医務室内でのグループ LINE の活用を始めたことで、これまでの課題となっていた「情報共有」を目標に前向きに取り組めた。雑多になりがちなプリント類も業務連絡ファイルにまとめて回覧することで情報を共有することができた。

## 入院状況

入院期間	入所者	入院に至った疾患・入院先
6/17～(3か月超え退所)	A	心不全：原田病院
6/27～7/7	B	小脳出血：五日市記念病院
7/7～9/3	B	頭部術後創離開：JA 広島総合病院
8/31～9/10	C	直腸脱手術：JA 広島総合病院
10/29～12/25	D	意識障害・脳梗塞：五日市記念病院
1/16～4/1	D	意識障害・脳梗塞：五日市記念病院

## 往診状況

協力医療機関	人数／頻度
小池皮膚科	10～20名／月 1回
今田眼科	3～5名／月 1回
いわい歯科	対象者ある時
いわい歯科 口腔ケア	6～8名／週 月 4回

## 他医療機関への受診状況

	4月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
整外		1	1	4			1			
外科		1	1	2	1					
内科					2	1				1
皮膚						1		1		
眼科										
脳外	1				1					
泌尿器科						1	1			
画像診断	1								1	
耳鼻咽喉										1
救急										1
合計	2	2	2	6	4	3	2	1	1	2

## ケア室実践計画報告

報告者 木下 勝之

月	実践課題	具体的な内容と課題	担当
通年	I 感染症や災害への対応力強化 1. 委員会の開催・指針の整備・研修の実施、訓練の実施、大規模災害時、地域住民の受け皿となる。  2. 研修、伝達報告時、必要に応じて、適切な距離を保つ。ICTを活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策委員を任命し、毎月、委員会に参加。</li> <li>・居室、共同フロアの整理整頓、換気、衛生面に気を配った。</li> <li>・居室のドアを閉めることを徹底し、感染拡大の予防に努めた。</li> <li>・大規模災害が起きた際に、地域住民の避難を受け入れる体制を整備した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会、ケースカンファレンス、アセスメント等は広い会議室で行い、密集しないように適切な距離を保って行った。</li> <li>・ご利用者の面会時にはICTを活用し、タブレット面会を実施した。</li> </ul>	全員
通年	II 自立支援・重度化防止・QOL向上 1. 口腔衛生体制の整備、入所者の状態に応じた口腔衛生管理の実施。  2. PDCAサイクルの推進、ケアの質の向上。食事前の口腔ケア体操の継続。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回の歯科衛生士のアドバイスを受け、入所者ごとの状態に応じた栄養管理と口腔衛生管理を医務室、栄養室と連携して行った。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務の流れや、ご利用者、ご家族からの要望についての改善点をケア室会議で検討し、PDCAサイクルを活用し改善に努めた。</li> <li>・ヒヤリハット、事故が起きた時は、当日にケア室、他部署内で話し合い、原因を分析、対応を考え、再発防止に努めた。事故の内容によってはサービス向上委員会でさらに検討を行った。</li> <li>・年1回サービス自己評価を全職員で行い、課題を明確にした。</li> </ul>	全員

	<p>3. 各委員会(入浴・排泄・食事・援助技術)の活性化。POTTの継続。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各委員会リーダーを中心に、職員が新しい分野の知識、技術を身に付けスキルアップをはかるよう努めた。</li> <li>POTT会議にて、正しい食事姿勢の取り組みを行った。食事・援助技術委員会を中心に、特養部全体で、統一した知識、技術、伝達ができるよう、会議で決まった内容を共有し、実行した。</li> <li>コロナ禍で各委員会の開催がスムーズに行えなかつたため、業務時間内で都度、委員会に関する検討事項を話し合い、実行するよう努めた。</li> <li>各委員会と職員、特養の他部署との報、連、相を行い、ケアをスムーズに行えるよう努めた。</li> <li>認知症実践者研修を副主任が受講し、認知症の知識を深め、他の職員へ学んだことを伝達し、特養部全体での認知症対応技術の向上をはかった。</li> </ul>	各委員会 POTT 委員会
	<p>4. 園内行事の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年4回の園内行事(鈴春会・納涼会・清鈴園祭・クリスマス会)と季節行事(七夕・焼き芋・節分・ひな祭り)を開催し、利用者のQOLの向上に努めた。</li> </ul>	全員
通年	<p>III. 地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う</p>		
	<p>1. 無資格者への認知症介護基礎研修の受講。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護に関わる職員のうち、医療・福祉関係の資格を有さない者の認知症介護基礎研修の受講は人員不足のためできなかった。</li> </ul>	無資格者
	<p>IV. 人材育成・働き甲斐の充実</p>		
	<p>1. 目標設定、職員面談の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員面談実施予定だったが職員不足のため実施できなかった。</li> </ul>	室長・副主任
	<p>2. 階層別研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修に参加後、知識や技術で習得したことを見議で報告し、職員全体のスキルアップにつなげた。また、自発的に研修に行き、知識を得て仕事につなげることができるよう、研修の情報を早めに提供した。</li> </ul>	全員

通年	V. 2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアセンターとの階層別研修を活かし、個人の課題、部署での課題を明確にし、実践につなげた。</li> <li>・記録のデジタル化を進めた。</li> </ul>	
----	-----------------------------	---	--

## VI. 研修参加報告

### 階層別研修

月	氏名	階層
12・3月	平田	中堅Ⅱ研修

### 外部研修

月	氏名	研修名
4月	木下・森岡	ユニ・チャームオンライン研修
6・7・8・11月	木下・一田	ワイズマン研修
8・11・2月	柳生	認知症実践者研修
2月	牟禮	認知症研修

### 全体の評価と課題

- ① コロナ渦のため行事や外出、面会など、かなりの制限を余儀なくされたが、密を避けた対応を行ったことで業務の効率化と時間短縮につながった部分もあった。
- ② 新人職員の応募がなく、人手不足が常態化してしまっているため残業が多くなった。職員の負担が増しているため、心にゆとりがなくなっていることが職場環境を悪化させている要因のひとつと考えられるため対策を講じる必要がある。
- ③ タブレットを導入し、記録のデジタル化を進めたことで、業務の効率化をはかることができた。オンラインでの研修参加がしやすくなった。
- ④ 人手不足で有給取得が難しく、残業も増えているため、業務内容の見直しと職場環境の改善が課題。
- ⑤ 9月の研究発表に参加し、POTTの活動内容と成果を発表した。
- ⑥ コロナ感染者対応訓練を全部署で実施し、対処の流れの確認と評価を行った。

## 2021 年度援助技術委員会報告書

年月日 2021 年 5 月 15 日

メンバー 藤崎、中村、橋本、川崎、咲田

委員会目標 清潔で安全な居室環境を整え、安心で安楽に過ごして頂けるよう丁寧な援助を心掛ける。

### 実施内容

日付	委員会	内容
通年	援助技術委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・クッション等の管理、棚の整理</li><li>・車椅子整備表の管理、更新</li><li>・コールマット利用者表の管理、更新</li><li>・職員紹介カード、環境チェックシートの管理</li><li>・ポジショニング必要者の適宜ポジショニング</li><li>・各利用者の無圧の使用面の検討、変更</li><li>・衣替えの実施</li><li>・その他</li></ul>
毎月第一水曜	POTT 推進会議	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月第一水曜日に実施、援助技術委員長が出席</li><li>・車椅子摂食姿勢ポジショニング等</li><li>・ポジショニング写真の掲載</li></ul>

- ・コロナ禍の為昨年度に引き続き、委員全員が集まっての委員会開催は行えず
- ・検討、対応事項についてはその都度出勤している委員と相談し決定した
- ・各委員の役割担当については昨年度と同じ担当とした
- ・居室環境の整備について、毎年の課題となっているが今年度も十分に行えていなかった。
- ・車椅子清掃については、A2 が勤務で行えることが少なく十分に出来ているとは言えないが、空気入れが電動式の物に代わり簡単に入れることが出来るようになった。職員がタイヤの空気が抜けているのに気づいたらすぐに入れることが出来るようになった。
- ・POTT での車椅子のポジショニングの伝達について、援助技術委員が率先して行っていくということを確認した
- ・来年度は委員全員が集まっての委員会を開催していきたい

## 2021年度 食事委員会報告書

2022年4月1日

メンバー 柳生 福島 平田 山田

サービス目標：食事をおいしく安全に食べてもらうことを基本に、食事形態や提供方法、食事介助の方法や口腔ケアなどについて検討し、各部署と連携をとりながら食事環境をより良く整えていく。

### 実施内容

日付	委員会	内容
4月	第1回委員会 (書面での確認)	・委員会の役割分担について ・食事、水分形態の見直し ・食事介助の担当見直しについて等
5月	第2回委員会 (書面での確認)	・食事摂取量調査について(栄養士よりの依頼にて) ・コロナ対応の配席、介助についての検討、実施等
9月	第3回委員会	・非常食訓練についての打ち合わせ 委員会内での共通認識をはかる
	給食委員会	・食中毒について ・とろみについて ・非常食訓練について

### 評価と課題

- ・今年度も引き続き、委員会の開催はせず、書面での確認、検討とした。緊急性の高い項目、事例については、その都度担当職員に伝え、検討を依頼した。
- ・各種書類の準備等は、引き続き担当職員を決めておこなった。
- ・食堂食事席について、新入所者や変更が必要な事例については、速やかに検討、対応していった。
- ・コロナ対応として、食堂と居室の分散使用は継続実施となり、前年度と比べ比較的スムーズに食事提供できている。

- 日々の業務で気になること、改善すべきことをあげ、委員会内で検討しながらケア室会議等でも発信していき、業務改善に取り組んだ。
- 安全な食事環境への取り組みとして、KT スプーンの導入、車いすでの食事姿勢の改善等おこなった。
- 非常食訓練を給食委員会が主導して実施し、みえてきた成果と課題をもとに来年度以降も実施していく。
- 食事摂取量の調査で、一定量以下の利用者をピックアップし、個別に対応を検討、実施した。それぞれ食事量の増加につながっている。

#### 来年度の活動内容について

- 自立支援を目標に、ていねいで安全な食事介助に努め、安心して生活できる場をつくる。
- 食事時間にゆとりをもたせるよう、業務の見直し、提案を引き続きおこなっていく。
- 委員会を定期的に実施し、意見交換、情報共有に努める。
- POTT 活動を軌道にのせ、「安全に楽しく食事してもらう」意識を高め、食事環境をより向上させる。
- 食事前の体操を継続しておこなう。

## 2021年度排泄委員会報告書

2022年5月18日

メンバー 木下・森岡・森・秦野・高野

委員会目標「個人が広い視野を持ち、情報共有に努め、その人にとって最善の方法を皆で考える。統一した介助を行えるように、職員のスキルアップを図る」

### 実施内容

4月8日 4月20日		排泄委員3名が、基本的なおむつの当て方・陰部洗浄についての研修を、オンラインで受講した。
1月18日		来年度よりパッド及び紙おむつのメーカーを統一するにあたり、業者と打ち合わせを行った。パッドなどの特徴を説明している様子を動画に撮り、ケア室職員に見てもらうこととした。

### 評価と課題

- ・昨年度に続き、今年度もコロナ禍の為、排泄委員会を開くことはできなかった。検討事項がある場合は、ケア室会議や各担当者に伝え、検討してもらうようにした。
- ・来年度以降も、検討事項等ある場合は都度話し合いを行い、検討を行っていきたい。
- ・引き続き、他部署にも積極的に意見を求める。

## 2021年度 入浴委員会 報告書

2022年5月13日

メンバー 一田 卒禮 佐々木

### サービス目標

1. 入浴の環境整備
2. 気持ちよく入浴してもらえるように、安らげる雰囲気作りに取り組む。

### 実施内容

月	実践課題	具体的な内容
4	昨年度の見直し、変更点の振り返り 今年度実施内容の確認	・新年度の目標確認・役割分担 ・入浴の環境整備
6	変更事項等の検討	・入浴の環境整備 (浴室・脱衣室内の不要品の片付け・処分) (シャワーHEADの交換:繊細な水圧にする)
7	変更事項等の検討	・入浴の環境整備 (浴室・脱衣室内・棚などの整理、整頓)
10	事業計画の確認	・入浴の環境整備 ・ゆず湯を楽しんでもらう企画 (ゆず湯の準備・ポスター、備品の購入)
12	全体会議発表内容の決定	・入浴の環境整備 ・本年度の入浴委員会担当の研修と発表なし ・ボイラーがエコキュートに変わる
2	来年度事業計画、実践計画の決定	・入浴の環境整備 (お湯が出ない、足りない事項の対策と検討) ・アマノ介助用イスのベルト交換、純正のねじ交換 ・シャワーHEAD交換(手元スイッチ・省エネモード) ・入浴介助用エプロン・滑り止めマットの購入

### 評価と課題

- ・今年度は、入浴環境の整備を念頭に、不要なものを処分、片付けて環境の改善をはかった。
- ・入浴メンバーの検討とメンバー表の作成は、必要に応じて実施した。
- ・エコキュートの導入に伴い、給湯の容量に制限があり、お湯が出なくなる、湯温が安定しない等の状況を工夫してもらいたながら実施している。今後は、冬の防寒対策・スムーズな動線を考慮しハード面の改修と改善をはかりたい。

# 事業名 デイサービス

2021年度

## サービス目標

地域に開かれたサービスをすることで、サービスの質の確保を図る

利用者状況（3／31現在）

現契約者 42 名 新規利用者 7 名 契約終了者 12名

### 1. 利用者実績

月	月間利用者数	利用日数	平均利用者数	月	月間利用者数	利用日数	平均利用者数
4	336	26	12.9	10	306	26	11.8
5	350	26	13.5	11	320	26	12.3
6	334	26	12.8	12	299	24	12.5
7	339	26	12.7	1	251	24	10.5
8	281	24	11.4	2	267	24	11.1
9	314	26	12.1	3	295	27	10.9
年間合計				3692	305	12.1	

### 2. 要介護度別

要介護度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	0	3	9	12	12	6	1	1	42

### I 感染症や災害への対応力強化

感染症予防と感染拡大防止への取り組み

- (1) 職員の健康観察、出勤時の健康記録の徹底を行う。
- (2) ご利用者が、濃厚接触者ならびに検査対象者と判明した場合の対処として、ケアマネージャーやご家族と連携を取り、必要な対応を行った。  
また、他の事業所で感染症が蔓延した場合の対処として、自事業所で利用日以外の方の受け入れを行った。 その際の留意点として、個人情報は厳重に取扱いを行った。
- (3) 職員がウイルスを持ち込まないよう、近親者に濃厚接触者や検査対象者が判明した場合は、指定の期間を置いてからの出勤または、PCR検査の実施を推奨した上で、勤務に就くようにした。
- (4) 送迎車内での換気、乗降前後の消毒については、運転手が中心となって行った。
- (5) ご利用者の新型コロナワクチン接種については、極力把握に努めた。（事情がある数名以外は、滞りなく接種を完了された）
- (6) 新型コロナ感染症については、時事問題として取扱い、折に触れ感染予防の啓発に努めた。

## II. 自立支援・重度化防止・QOL向上

### (1) 自立支援

理学療法士の助言と指導により、『転ばぬ先の杖』を実践した。

歩行不安定な方へのアプローチとして、当園の杖や歩行器を使用していただき、実生活で移動手段を検討する際、判断材料として提供できた。

### (2) 重度化防止

褥瘡のあるご利用者に対し、悪化を防ぐ為に除圧に努めた。患部の状況については、他の事業所と共有する目的で、ケアマネージャーに詳細を報告した。

### (3) QOL向上

(a) 個々のニーズに応え、制作プログラムの幅を広げる事ができた。その作品を特養のご利用者に贈ることができ、制作する喜びや、贈る喜びは、利用することの楽しみとなった。

(b) コロナ禍における外出控えもあり、外出意欲が増していた。時候に合わせ、近場を散策する機会を設けた。

## III. 地域包括システム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う

- (1) 地域活動への参加を積極的に行いたいが、コロナの影響により、地域ケア会議やコミュニティの活動も中止となった。『原ほっとサロン』についても世情を鑑み、開催を控えていたが、地域住民の活動の低下防止や安否確認を目的に開催する事が強く望まれた。清鈴園は、市民センターまでの送迎を希望する方に対し、公用車を使用し外出支援を行った。
- (2) 地域のボランティアについては、この状況下での活動が望めなかつたこともあり、こちらも、働きかけを行わなかった。
- (3) 「住み慣れた地域で生活したい」という退院直後のご利用者の受け入れを行い、主治医と連携を取りながら、在宅生活の継続を支援した。
- (4) 困難ケースとも向き合った。他の利用者に危害が及ぶ可能性があり、やむなく他の適切な事業所に引き継ぐことになったが、ケアマネージャーやご家族と相談を重ねた結果、前向きな移行となった。

## IV. 人材育成・働き甲斐の充実

- (1) 個人記録がタブレット入力となり、報連相などの申し送りがスムーズに行えるようになった。
- (2) 50周年記念の特養との共同作品について、デイサービスが主体となって制作に臨み、可能な限り、全利用者に参加していただけるよう配慮した。

## V. 適正な事業運営

- (1) 地域密着型デイサービスの運営条件である「運営推進会議」1回／6ヶ月会議を開催することが困難であると判断し、会議の構成委員に近況報告を兼ね、必要書類を持参し、報告に代えさせていただいた。

# 短期入所生活介護

報告者 嘉屋 幸代 山縣 美由紀

## I. 感染症や災害への対応力強化

### 1. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) ご利用前の体調についてご家族に確認。
- (2) 他施設ご利用時に感染が発生した場合は、接触状況、体調についてご家族、ケアマネージャーに確認し利用の検討を行った。
- (3) 新型コロナウイルス感染を想定して、想定訓練を行った。
- (4) 職員の健康管理の徹底と日々の行動に留意。
- (5) 市内や他施設での感染状況を日々確認。

## II. 自立支援・QOL の向上

### 1. 自立支援

- (1) 在宅での生活継続のため、出来る限り在宅での生活と同じ環境づくりと、介護の対応を行った。
- (2) ご利用者の状態に応じた生活リハビリを行い、残存機能保持に努めた。

### 2. QOL の向上

- (1) 今年度もコロナ禍でボランティアによるグループ活動が少なかったが、園内の行事に積極的に参加していただき、生活の中で楽しみを感じて頂いた。
- (2) 6月からPTによるリハビリ体操の実施。

## III. 地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一躍を担う

### 1. 地域包括支援センターと連携をとり、緊急ショートの受け入れを行った。

居宅と連携し、他のショートステイご利用が難しい方の受け入れを行い、ご家族の介護負担軽減ができた。

## IV. 人材育成・働き甲斐の充実

### 1. 業務の効率化

- (1) タブレット導入を行い、ご家族、ケアマネージャーからの連絡事項等を各部署で早期に共有し、ケアに反映した。
- (2) 医療的なケアは医務室管理とし、症状に対して的確な対応を行った。医療的ケアが夜間、早朝と3件あったが、ケア室、医務室、相談室の連携が取れており、ご家族連絡を早めに行うことができた。
- (3) 送迎について、事務所、相談室と連携し柔軟な対応を行った。

## V. 適正な事業運営

### 1. 稼働率の向上

- (1) ご家族、居宅ケアマネージャーとショートステイご利用希望について、こまめに確認し、特養での空床、キャンセルが出た場合、早めに連絡をとり利用につなげた。
- (2) 居宅ケアマネージャーから利用の依頼があり、満床で利用ができない場合でも、ご利用者情報を聞いておき、空所が出た時点で居宅ケアマネージャーに連絡し利用につなげた。

## VI. 実績

今年度稼働率 66.1% (昨年度稼働率 60.7%)

### ① 月別利用状況(人)

月内用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用件数	8	9	8	8	7	8	6	7	8	7	6	8	90	7.5
利用回数	20	23	23	20	19	19	19	20	17	22	20	28	250	20.8
日数	84	81	87	77	81	79	75	79	64	75	77	106	965	80.4
1日平均利用人数	2.8	2.6	2.9	2.5	2.6	2.6	2.4	2.6	2.1	2.4	2.8	3.4		2.6

### ② 利用理由(日数/月)

月内用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護疲れ	84	81	87	66	81	72	75	79	58	75	77	106	941
病気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所待機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	11	0	7	0	0	6	0	0	0	24
合計	84	81	87	77	81	79	75	79	64	75	77	106	965

③ 利用者年齢構成（2021年4月1日の満年齢を採用し整理）

年齢	～59	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～	合計
男	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
女	0	0	0	1	0	3	5	3	0	1	13

④ 利用総括

	男性	女性	合計	前年
延べ人数	23	67	90	101
延べ日数	146	818	965	863

⑤ 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年
男	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	23	27
女	6	7	6	6	5	6	4	5	7	5	4	6	67	74

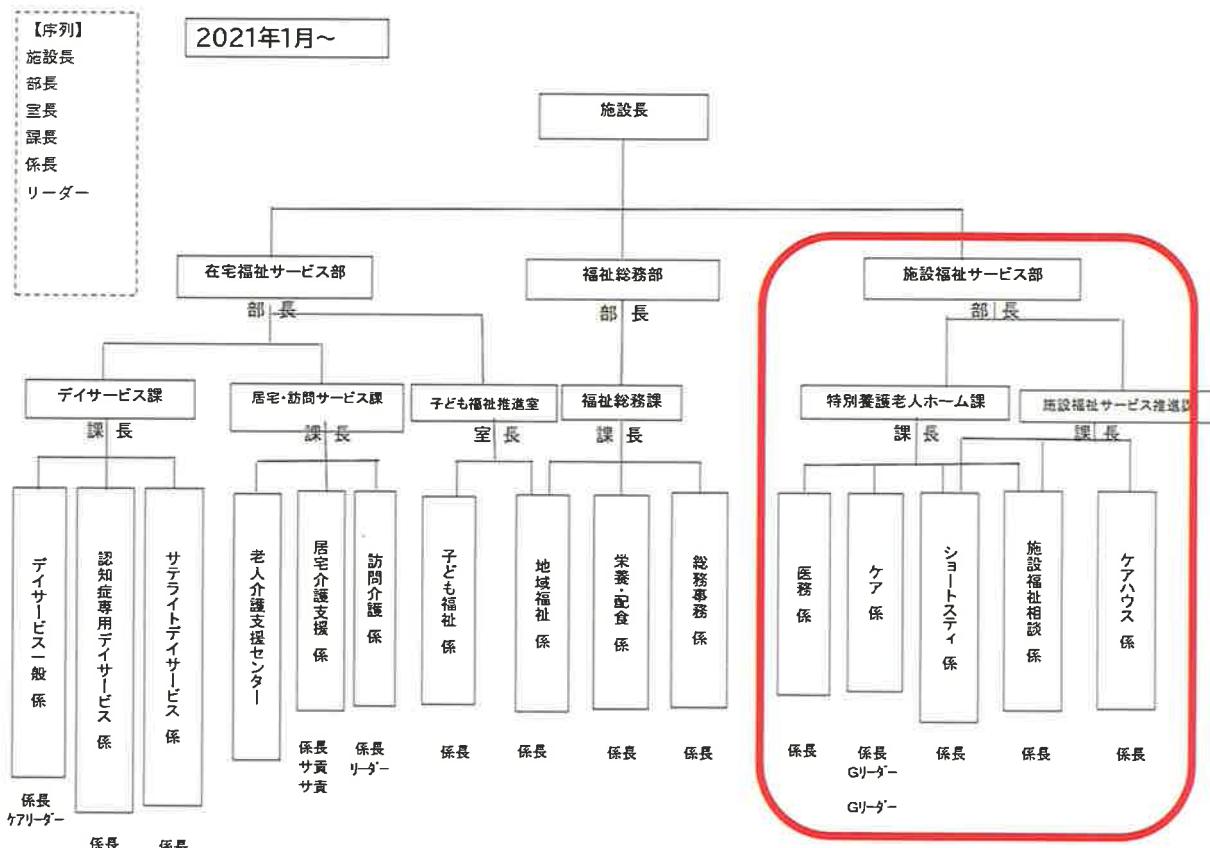
⑥ 利用者介護度

月 内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	2	2	2	2	2	1	2	3	2	2	2	24
要介護2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3	6
要介護3	3	4	3	4	4	4	4	4	4	3	2	2	41
要介護4	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	19
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計人数	8	9	8	8	7	8	6	7	8	7	6	8	90

## 廿日市高齢者ケアセンター

所在地 〒738-0054 廿日市市阿品4丁目51-32  
特養施設長 小野 誠之  
ケアハウス施設長 小野 誠之  
電話番号 (0829)36-2552  
FAX番号 (0829)36-2550

# 施設福祉サービス部



## 特別養護老人ホーム課

医務係

ケア係

ショートステイ係

施設福祉相談係

施設福祉サービス推進課

ケアハウス係

## 部 2021年度評価と2022年度に向けて

部名	施設サービス部	記入者氏名	加芝洋二
----	---------	-------	------

### 1. 2021年度の取り組みについて

2021年度の取り組みに対する評価	今後の取り組みについての考え方
I.感染症や災害への対応力強化 1. BCP(事業継続計画)策定に繋がる各部署の機能見直しと役割分担の明確化	・策定に向けた取り組みが様々な危機が迫っている今こそ必要な課題であるものの、センター全体でも出来ていない。具体的な導入を急ぐ必要がある。
II.自立支援・重度化防止・QOL 向上 1. 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供(PDCA サイクルの推進) 2. QOLの向上に向けた環境整備	・認知症ケアプログラムのモデル事業で学んだ技術を元に、認知症ケアを再検討する必要がある。 ・LIFE のフィードバックで得た情報が十分に活かせるものではなかったので、何らかの手法を用いて検討する必要がある。 ・NST の取り組みが出来ていない。
III.地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う 1. 地域に還元できる情報発信 2. 地域とのつながり作り	・ホームページの更新等情報発信が出来ていないので、速やかに調整を行う必要がある。 ・現状のままではつながりがなくなるので、新しい形を作り上げる必要がある。
IV.人材育成・働き甲斐の充実 1. 個別面談の充実及び OJT の推進 2. 業務の見直しによる生産性の向上(介護サービスの質を確保した上で、テクノロジーの活用や業務の効率化)	・職員補充が整わない中で組織的な対応が出来ていない。整わないながらも出来る方法を検討して次年度に活かしていく。 ・生産性の向上に向けた取り組みは十分に出来ていない。
V.2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営 1. 法令遵守(自己点検ツールの活用) 2. 記録の適正化と有効利用	・自己点検ツールに基づき実施中。 ・記録の内容は再度見直す必要あり。

## 2. 2022年度重点的に取り組むこととその具体策

重点的に取り組むこと	具体策
<p>IV.人材育成・働き甲斐の充実</p> <p>1. 個別面談の充実及び OJT の推進(チームとしての体制を再構築)</p> <p>2. 業務の見直しによる生産性の向上(介護サービスの質を確保した上での、テクノロジーの活用や業務の効率化)</p> <p>上記の内容について以下の点を重視しながら取り組む</p> <p>チーム体制の再構築のキーワード</p> <p>(1)否定や決めつけをせず、話しやすい関係作り</p> <p>(2)課題をチームとして解決する関係作り</p> <p>(3)いろいろなことに挑戦して振り返る関係作り</p> <p>(4)一定の考え方などに固執せず、個性を活かす関係作り</p>	<p>・係と課を中心としたラインケアが実施できるようケア係のリーダーを 2 名追加して位置付けた。</p> <p>・課内会議において、日々の振り返りの時間や各係内でのコミュニケーションを充実できるよう伝達し、係長や課長を中心とした体制を整えた。</p> <p>・NST の実施に向けた調整を行ない、基礎技術力の向上に向けた取り組みを進めて、働きがいのあるチーム作りに繋げていく。</p>

## 室・課 2021年度評価と2022年度に向けて

室課名	特別養護老人ホーム課	記入者氏名	谷栖博一
-----	------------	-------	------

### 1. 2021年度の取り組みについて

2021年度の取り組みに対する評価	今後の取り組みについての考え方
<p>引き続き、新型コロナへの感染対策として、面会制限やショートステイの受入れ制限を実施する中で、ご利用者、職員共に感染者が出ることはなかった。感染者はなかったが、直接面会をして頂けない事が続いているので、面会の方法等を工夫していく事が今後の課題として残っている。</p> <p>年度途中で嘱託医の交代があったが、特に大きな混乱はなかった。ご利用者への対応も早急に行えたことで、下半期は入院者も少なく稼働率も安定していた。又、施設での看取りも増え、看取りケアを行う上で改めて関係者の方向性を統一していく事の難しさを感じられた。</p> <p>人材確保が難しい状況が続く中で、新たな取り組みとして「無資格・未経験」の雇用を行い、プログラムに沿って研修を実施した。</p> <p>環境整備としては、上半期に脱衣場の改修を行った。その他は、老朽化が進んでいるベッドやご利用者の重度化に伴い車椅子等を購入した。</p>	<p>コロナ対策として、オンライン面会は継続して行い、新たに直接面会をして頂けるような方法を検討していく。</p> <p>無資格・未経験者の就業にあたって、研修プログラム修了後は、各係で基本となる育成計画を作成し、指導や面談を行う。</p> <p>環境整備については、これまで通り老朽化による不具合があるものから優先的に対応していく。その他、浴室の改修等を計画的に進めていく。</p> <p>ショートステイの寝具類については、布団乾燥機が故障して以来、アルコールや除菌消臭剤を噴霧して対応していたが、破損や汚れ、臭いも目立つようになってきたので、寝具類入れ替えもしくはリースの方向で検討していく。</p>

### 2. 2022年度重点的に取り組むこととその具体策

重点的に取り組むこと	具体策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における、ご利用者の QOL の向上(暮らしやすい環境づくり)を目指す。</li> <li>・組織体制を見直し働きやすい職場づくりを進める。</li> <li>・人財育成。</li> <li>・ご利用者の状態に合わせた環境整備と老朽化への対応及び職員の負担軽減。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓越しの面会など、コロナの情勢を見ながら案を検討し、選択肢を増やしていく。合わせて休止している活動等の新たな形での再開を考えていく。</li> <li>・係ごとに定期的な面談を行い、業務改善に繋げる。</li> <li>・人財育成については、各階層での基本的な育成計画を検討していく。</li> </ul>

## 特別養護老人ホーム課

### 1. 研修実績

#### (1)全体研修・係内研修

実施日	内 容	時間	参加人数
4/27	● 介護報酬改定と業務改革について		18名
10/26	● 看取りについて		14名
12/28	● 症状別・変化時の対応		12名
3/29	● 事故予防・安全対策		8名
	◆ 2020年度は感染予防の為、2部構成で実施 ① 17:00～18:00 ② 18:00～19:00		

#### (2)介護技術研修(新任職員研修)

実施日	内 容	時間	参加人数
	随時OJTにより実施		

#### (3)新人職員研修

実施日	内 容	時間	参加者	指導者
12/14～29	無資格者採用時研修		田中啓太	各担当者

#### (4)外部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者
6/11	安全対策担当者養成研修(オンライン)		谷栖
1/19・2/1 5・3/10	新人職員合同研修		田中
8/31・9/2・ 10/12・ 10/20	ケアプログラミング アドミニストレーター研修		香浦

【様式2】

2. 講師実績※

(1) 内部講師

実施日	内 容	時間	参加者
5/10	新任研修 キャリア(能力開発)	11:00～12:00	谷栖
5/11	新任研修 認知症	13:30～14:40	瀬川
5/11	新任研修 メンタルヘルス	16:00～17:30	加芝
8/13	指導者層研修 コミュニケーション、チームワーク・リーダーシップ	13:00～14:30	加芝
9/14	指導者層研修 メンタルヘルス	16:30～17:30	谷栖
3/10	中堅2研修 認知症	15:30～16:30	津江
3/10	中堅2研修 メンタルヘルス	16:30～17:30	西浦

(2) 外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間
11/29	岩国 YMCA 国際医療福祉専門学校 講義	岩国 YMCA	加芝	180 分

3. 実習生※

期間	実習内容	実習生
8/16 ~ 9/24	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	2名
10/18~ 11/18	日本赤十字広島看護大学 老年看護実習	23名
10/1~ 11/11	岩国 YMCA 国際医療福祉専門学校 在宅看護実習	8名

4. 不定期ボランティア関係⇒新型コロナのため休止

活動日	活動者名(団体の場合は団体名および代表者名)	活動内容	人数

5. 外部会議※

日付	会議名など	場所	時間	出席者

## 【様式1】

## ケア係 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	・就業環境を整備する	・ご利用者主体のケアが実践出来るよう業務マニュアルの見直しを行う	中央G 食堂G 課長・係長	マニュアル改定、出来ていない事があるので下半期にかけて通年で行う。
5	・就業環境を整備する ・OJTの向上を踏まえた業務改革	・リーダー・係長のフォローアップ ・食事介助技術研修	谷栖 食事係	・悩み・困ったことがあれば、隨時相談している。 ・会議が出来ていないことが多く研修内容を詰めることが出来ないので中止する。
6	・OJTの向上を踏まえた業務改革	・ご利用者視点での事例検討	各リーダー	・会議が出来ていない。今後ケアプログラミングの評価に基づいて実践し、チェックしていく練習をして行く。
7	・OJTの向上を踏まえた業務改革	・排泄介助技術研修	排泄係	排泄関係の業者変更のため、業者のレクチャーを受け再度、排泄技術研修を行う。
8	事故予防・事故発生後の対応の仕組みを再整備	・事故予防の対応の取り組みについての仕組みづくり ・事故予防の取り組みについての仕組みづくり	サービス向上委員会 リーダー・係長	・ヒヤリハットの件数が事故に比べて少なく、手軽に書けるように、用紙を改善し現在実施中。今後、評価を行う。
9	・サービス自己評価実施 ・OJTの向上を踏まえた業務改革	・サービス自己評価を実施し、業務改善に繋げる ・入浴介護技術研修	サービス向上委員会 入浴係	・サービス向上委員会にて、自己評価を配布準備中。 近日中に実施する。 ・会議が出来ていないことが多く研修内容を詰めることが出来ないので中止する。
中間	《上半期の実践計画の進捗状況の評価》	該当する番号に○印→	達成 5 . 4 . 3 . 2 . 1	未達

## 【様式1】

上記の評価理由  
コロナ禍・職員の不足が大きく、会議などの場が少なくなつてゐた。但し、少人数でも開催したいとの意向もあり今後は実施していく。ご利用者視点の事例検討についてもケアプログラミングを使用し事例検討していく。マニュアル改定は出来ていないことが多く早急に実施する。中間の評価を未達にしたが、現状、その日の業務を回すことが一杯一杯な状態が続いている。職員の頑張りだけ考えれば5以上の評価でも過大ではないと思われる。但し、これを期に色々な業務の見直しも出来ると思われるのでご利用者・職員も安心できる業務見直しを考え下半期・来年度に繋げるようにしていきたい。

下半期の具体的取り組み等の修正　あり　なし

ありの場合　コヘ　↓　下半期の取り組みの追加訂正を記入

		下半期の取り組み追加訂正事項	
10	OJTの向上を踏まえた業務改革	サービス自己評価の集計・精査及び課題の分析	サービス向上委員会リーダー・係長
11	OJTの向上を踏まえた業務改革	移乗・移動介護技術研修	サービス向上委員会入浴係
12	OJTの向上を踏まえた業務改革	階層別研修との連動・研修後のフォローアップ	サービス向上委員会入浴係
1	事業計画の進捗状況の確認と評価及び来年度の計画要素の策定	事業計画を評価し、サービス自己評価の評価も精査し、来年度への課題を整理しつつ計画要素を作成する・認知症ケア研修	全職員 リーダー研修修了者
2	来年度の実践計画案の策定	事業計画要素に基づいて次年度の実践計画を作成する	同上
3	来年度の事業計画及び実戦計画の決定	・次年度の計画を職員に周知し、次年度へ持ち越された課題を整理する	同上

## 【様式1】

## 医務係 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	業務マニュアル作成	業務マニュアルの見直しと新規作成	原田	見直し・部分変更は行つたが新規作成は未実施
5	個人用カルテの整理	個人用カルテの内容を追加・更新する	原田	下記の通り
6	結核検診対応	胸部X-P撮影の介助及び読影後対応	志賀	読影後対応については、以下の通り
7	保険証切替対応	各医療機関へ保険証更新情報の提供	全員	早い段階で各医療機関に提供が行えた
8	個人用カルテの整理	個人用カルテの内容を追加・更新する	原田	下記の通り
9	歯科との情報交換	ご利用者の口腔状態について把握	全員	今月に限らず、往診時は情報交換を行つている
《上半期の実践計画の進捗状況の評価》		該当する番号に○印→ 達成 5 · 4 · ③ · 2 · 1 未達		
上記の評価理由				
・医務係職員の不足、嘱託医の交代など様々な要因が重なり、実践課題で行えていない部分がある。個人用カルテの整理については、嘱託医交代に伴い、全面的な改良を現在も日々行っている。結核検診の対応については、要精密検査と診断された方がおられるが、嘱託医交代のため新しい嘱託医に診て頂く予定としている。8月より新規職員が入職し、人員体制は整つたため、嘱託医交代による業務の見直しや医務係の在り方を再構築していくかならない。他部署や歯科との連携や情報共有をさらに進めていきたいと考えている。				
下半期の具体的取り組み等の修正 あり · なし ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入				
下半期の取り組み追加訂正事項				
10	研修の実施	褥瘡予防と感染症についての研修実施	全員	嘱託医交代による業務の見直し
11	予防接種対応	予診票の確認、実施前検温、実施時医師の介助等	全員	インフルエンザ予防接種の実施
12	環境整備	年度末の環境整備・静養室の整理を行う	志賀	古い物品や不要な物品の片付け
1	褥瘡評価	年度末までに発生した褥瘡(現存する)の評価	原田	褥瘡の発生はなし
2	認知症の学習会	認知症の理解を深める学習会を係内で行う	全員	未実施
3	歯科との情報交換	ご利用者の口腔状態について把握と発信	全員	歯科なんでもノートの作成

## 室・課 2021年度評価と2022年度に向けて

課名	施設福祉サービス推進課	記入者氏名	西浦 達也
----	-------------	-------	-------

### 1. 下半期の取り組みについて

下半期の取り組みに対する評価	今後の取り組みについての考え方
<p>①稼働率に関して</p> <p>大きな体制の変化として嘱託医の変更があった。体制変更後、ご利用者の健康管理は以前よりきめ細かくなり、入院者は例年よりかなり減少した。コロナ禍であるため、新規入所者に対しての調整に時間が掛かる事も多かったが、昨年度よりトータルして稼働率は改善した。</p>	<p>①について</p> <p>左記の通り、体調管理に関して、体調不良者が発生した際、早期の初期対応により入院に至るケースが減少。今後も嘱託医の協力を得ながら対応を継続することにより、入院者減少に努め、稼働率の維持、向上に努める。</p>
<p>②ご利用者やご家族等に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、新型コロナウィルスによる面会制限を継続中である。年末に一旦規制緩和を検討したが、年明けに爆発的な感染によりWEB面会のみの対応としている。</li> <li>・ご家族等と直接関わる機会は減少しているが、温かい支援の声や看取りの際などには感謝の声を頂く事も多かった。特に大きな苦情はなかった。</li> </ul>	<p>②について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況が長期化する可能性が非常に高いので、更に新しい面会の形式を考案して実行に移す。</li> <li>・上記のような取り組みを実現化し、外出や行事の際の様子などをお便りとして、継続してご家族等へ送付する。</li> </ul>
<p>③人材育成に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題事案が発生した都度、タイムリーな面談や意見交換の場をつくり対応した。また、上司への報告、相談も早期に行っている。</li> </ul>	<p>③について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も左記対応を継続していくが、自らの発想や思考の面での課題は多い。上司や同じ役職の職員の意見も取り入れながら対応を継続していく。</li> </ul>
<p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課の体制等については依然として整っていないが、互いに協力しながら対応した。</li> </ul>	<p>④について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、協力体制を維持、構築するが、人員体制については上司に確認、提案を継続する。</li> </ul>

## 特養サービス課 施設福祉相談係

## I 在園者の状況 2021年3月31日現在 在籍者数 56名

## 1. 入退園者

	退園者 16人	入園者 19人
内訳	死亡 (内 看取り) 長期入院 在宅復帰	15人 11人 1人 0人
	老健	7人
	病院	1人
	在宅	11人
	その他	0人

## 2. 在園者の概況(3月31日現在)

(1) 平均年齢など（歳）

	最年少	最年長	平均年齢	全体平均
男	77	97	85.9	89.6
女	76	99	90.6	

前年の全体平均は 89.7 歳

(2) 在園期間 (人数)

	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	5年以上	平均
男性	4	1	2	2	1	2	4年11ヶ月
女性	14	5	7	5	2	12	5年6ヶ月
総計	18	6	9	7	3	14	5年5ヶ月

(3) 身元引受者（人数）

性別	実子	配偶者	義子	孫	兄弟等	甥姪	その他	後見人等	総計
男性	2	8	1	0	0	0	0	1	12
女性	29	4	2		2	3	3	2	45
総計	31	12	3	0	2	3	3	3	57
	54.4%	21.1%	5.3%	0.0%	3.5%	5.3%	5.3%	5.3%	

#### (4) 面会状況（回数）

	週1回以上	月2回	月1回	年3~4回	年1~2回	なし	総計
総計	0	1	8	19	29	16	73
割合	0.0%	1.4%	11.0%	26.0%	39.7%	21.9%	

### (Web 面会状況)

1回:6人 2回:4人 3~5回:5人 6~10回:5人 23回:1人

(5) 外出外泊 (日数)

(6) 月別要介護度別利用者実人員と割合

月別日数 月別

介護度別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計
要介護 3	300	335	347	347	372	360	372	388	403	383	354	372	4333
女性	270	304	317	317	341	330	341	330	341	321	298	310	3820
男性	30	31	30	30	31	30	31	58	62	62	56	62	513
要介護 4	720	743	737	737	734	580	721	678	712	707	587	706	8362
女性	480	495	509	509	486	378	495	468	473	478	420	499	5690
男性	240	248	228	228	248	202	226	210	239	229	167	207	2672
要介護 5	600	606	630	630	650	610	663	639	651	633	608	651	7571
女性	510	513	540	540	557	520	570	566	589	571	524	558	6558
男性	90	93	90	90	93	90	93	73	62	62	84	93	1013
総計	1620	1684	1714	1714	1756	1550	1756	1705	1766	1723	1549	1729	18804
稼働率	100.0%	93.7%	98.5%	95.3%	97.7%	89.1%	97.7%	98.0%	98.2%	95.8%	92.1%	96.2%	88.8%

月別人数 月別

介護度別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計
要介護 3	10	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	147
女性	9	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	130
男性	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
要介護 4	24	25	26	26	25	25	24	23	25	24	22	24	293
女性	16	17	17	17	17	17	16	16	17	16	15	17	198
男性	8	8	9	9	8	8	8	7	8	8	7	7	95
要介護 5	20	21	21	21	21	22	22	22	21	21	22	21	255
女性	17	18	18	18	18	19	19	19	19	19	19	18	221
男性	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	34
総計	54	58	59	59	58	59	58	58	59	58	57	58	657

## 【様式1】

## 施設福祉相談係 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	ご利用者の満足度の向上とご家族との関係強化(家族参加型行事の実施)	・3日(土) 合同花見 ・4月初旬 個別花見(日程未定)  ・21日(水) 個人追悼祈念会  ・4月中 取得可能な加算と変更部分の確認とご家族等への同意	施設福祉相談係	・新型コロナウイルスのため中止。 ・海の見える杜美術館の駐車場にて個別花見を実施。  ・感染症予防対策も行いながら、中央、食堂と2部構成で実施した。後日、故人のご家族へカードを送付した。
5	故人の追悼 介護報酬改定に関する確認と同意	・5月中 春の外出行事(日程未定) ・6月中 紫陽花外出(日程未定)		・取得可能な加算については自部署で確認後、取得を実施している。ご家族に対しても同意書を頂いた。  ・新型コロナウイルスのため中止。 ・緊急事態宣言発令。花のシーズンが過ぎたため中止。
6	ご利用者の満足度の向上 ご家族との関係強化 円滑な入所に向けての援助 地域交流事業の促進	・7日 セタ行事  ・7月中 特養広報誌すずらんの発行 ・入所検討委員会の準備と実施 ・31(土) フジタウン夏祭り	松崎	・規模縮小にて実施。ご利用者に短冊を書いて頂き1週間ほど笹飾りを中心、食堂それに飾った。  ・予定通り実施できず。 ・予定通り実施。 ・新型コロナウイルスのため中止。
7	被爆体験の継承	・4日(水) 8・6集会  ・阿品清鈴夏祭り(8月22日)	施設全体 特養全体	・新型コロナウイルスのため集会 자체は中止となつたが、被爆者への体験談をもとに冊子を関係機関へ配付させて頂く予定となる。対象ご利用者に対して聞き取りを実施。体験談をまとめ8・6集会準備実行委員会に提出済み。  ・特養ご利用者の複数人が体調不良となり、感

## 【様式1】

	社会貢献の実施		染症予防のため盆踊りを中止。規模をさらに縮小して実施した。
9	高齢者の尊厳の確認事業の振り返り	・キャリアスタートourkeの実施 ・8日(水) 長寿を祝う会 ・事業計画の進捗状況の確認・評価	谷栖 松崎 西浦・谷栖 ・新型コロナウィルスにより中止。 ・昨年と同様、規模縮小の元実施。 ・計画通り実施。
中間評価	《上半期の実践計画の進捗状況の評価》	該当する番号に○印→ 達成 5 • 4 • ③ • 2 • 1 未達	上記の評価理由 く全体評価く本年度も新型コロナウィルスにより行事や活動など「ご利用者の生活の質」に関する部分に多大なる影響があつた。ご家族等に關しても、直接面会が休止となる期間も数回あり、ご心配とご不便をお掛けした。介護報酬改定に關しては新たな加算の取得を開始したが、取得要件等確認不足の部分も多く、請求に關して労力を要したが現在は軌道に乗りつつある。ワクチン接種に關しては計画通り実施。副反応による影響も少なかつた。稼働率については、8月、9月にかけて体調不良者が続出して入院者が多数発生した。回復に時間が掛かり、早期の退院調整も困難であった。加えてご逝去された方も居られたため稼働率は低迷した。以上のように感染症の影響により計画通りに進捗出来ない部分が多く、稼働率的にも目標を達成できていないため上記の評価とする。 <行事・活動関係評価> 本年度も新型コロナウィルスによりボランティア活動は中止となり、ほとんどの行事が中止や規模縮小にて執り行う事となつた。行事の内容は、昨年度実施したプログラムを委員会で修正しながら、規模縮小で行事時間が短い中でも、ご利用者が楽しめるよう変更を加え実施した。上半期後半の夏祭りは、体調不良者が続出した影響もあり、プログラムを急遽変更した。盆踊りの中止や、ご利用者を集めての演奏など断念せざるを得ない状況の中だったが、楽しんで下さったご利用者は多数おられた。コロナ禍で閉鎖的な空間となつてしまっている施設内だが、ご家族への情報発信として広報誌の発行が十分にできていないことが大きな課題である。
下半期の具体的取り組み等の修正	あり	あり なし	ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入 下半期の取り組み追加訂正事項
10 地域交流事業の促進 ご家族等との関係強化	・くすの木幼稚園秋の交流会(日程未定) ・家族懇談会(日程未定)	松崎	・秋の交流会は中止。 ・嘱託医の変更に伴う新体制を軌道に乗せる
11 地域交流事業の促進とご利用者の満足度の向上 ご家族との関係強化	・はつかいちふれあい文化祭(11月1週目)	松崎(西浦)	・文化祭の日程が1週間から1ヶ月間開催となつたため、ご利用者に作品を見て頂く時間がゆっくり設けられた。コロナ禍による活動数の減

## 【様式1】

	円滑な入所に向けての援助		少もありながら、余暇時間に作成したご利用者数名による共同作品や、個人で頑張って挑まれた作品など展示できた。
	・11月中 特養広報誌すずらんの発行 ・入所検討委員会	松崎	・すずらんにおいて、行事の報告、緊急時の連絡、脱衣場の改修について報告する。 ・予定通り実施。
12	地域交流事業の促進とご利用者の満足度の向上	西浦・加芝	・食堂、中央コーナーと分かれて今年度も縮小し実施。同時進行をやめ、時間をずらして実施した。
	・24日(金) キャロリング	松崎(施設福祉相談係・医務室)	・夜間のキャロリングは今年度も中止し、職員によるベル演奏を実施した。
	・もちつき会	松崎	・昨年度と同様に、食堂、中央コーナーに分かれて実施。鏡餅用の餅のみ準備した。
1	ご利用者の満足度の向上		・手作りの神社を組み立て、初詣を実施した。
2	ご利用者の満足度の向上 入所申込者全員調査 来年度事業計画案策定	松崎・ケア室	・共有スペースにご利用者をお連れし、鬼役の職員に向かって豆を投げて頂いた。ベッドで過ごされているご利用者には、鬼の職員と一緒に写真撮影を行った。
	・入所申込者全員に調査表の配布・回収・集計	西浦・加芝	・左記の通り実施。待機者の状況を把握。
	・来年度の事業・実践計画の決定・作成		・予定通り実施。提出済み。
3	円滑な入所に向けての援助 ボランティアとの交流・関係強化 ご家族との関係強化	西浦・加芝 松崎 松崎	・予定通り実施。 ・ボランティア感謝会は中止。 ・すずらんにおいて、行事報告を行った。

## 2022年度 ショートステイ実績

稼働率 77.53%

中学校区別要介護度と利用理由分類

地域	要介護	利用理由										全体の延べ日数	全体の延べ件数
		介護疲れ		疾病		介護者の都合		その他		仕事の都合			
		延べ日数	延べ件数	延べ日数	延べ件数	延べ日数	延べ件数	延べ日数	延べ件数	延べ日数	延べ件数		
廿日市	要介護1	148	23	18	4							166	27
	要介護2	166	41									166	41
	要介護3	155	53			2	1					157	54
	要介護4	190	57									190	57
	要介護5	28	6									28	6
	要支援2			9	1							9	1
廿日市	集計	687	180	27	5	2	1					716	186
七尾	要介護2	59	8									59	8
	要介護3	21	3	2	1							23	4
	要介護4	27	9									27	9
	要介護5	201	68	4	2	2	1					207	71
七尾	集計	308	88	6	3	2	1					316	92
野坂	要介護1	34	9			4	1					38	10
	要介護2	80	25			8	2					88	27
	要介護3	480	102			8	3			4	1	492	106
	要介護4	60	17			2	1			3	1	65	19
	要介護5	43	14			6	1					49	15
	要支援2	8	1									8	1
野坂	集計	705	168			28	8			7	2	740	178
阿品台	要介護1	19	8	7	1	12	2					38	11
	要介護2	115	26	9	3	4	1	2	1			130	31
	要介護3	211	64									211	64
	要介護4	7	2									7	2
	要介護5	528	98									528	98
阿品台	集計	880	198	16	4	16	3	2	1			914	206
大野	要介護1	93	24			2	1					95	25
	要介護3	39	9									39	9
	要介護4	82	16									82	16
	要介護5	276	106			2	1					278	107
大野	集計	490	155			4	2					494	157
広島市	要介護3	103	26									103	26
広島市	集計	103	26									103	26
その他	要介護4	113	24									113	24
その他	集計	113	24									113	24
	総計	3286	839	49	12	52	15	2	1	7	2	3396	869

要介護度別 延べ人数・日数 緊急受入件数・日数 平均年齢 実人數

要介護	延べ人数	延べ日数	平均年齢	緊急件数	緊急日数	実人數
要介護1	73	337	91.99	5	21	12
要介護2	107	443	80.64	7	20	12
要介護3	263	1025	89.32	2	3	22
要介護4	127	484	91.70			12
要介護5	297	1090	82.95	2	4	16
要支援2	2	17	89.00			2
総計	869	3396	86.64	16	48	76

## 【様式1】

## ショートステイ係 取り組み及び評価

月 通 年	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
1. BCP(事業継続計画)策定に繋がる各部署の機能見直しと役割分担の明確化	(1) 16床→12床、ベッド数減の事務対応  (2) 感染症予防・感染症発生時の対応の見直し  (3) 部署間・サービス事業所間での情報発信と連携	田頭	(1) 5月に指定権者・保険者からの了解が正式に得られ、12床へ移行。ベッド数の減少により今まで定期的に利用できていた方や緊急利用の受け入れをしていた枠がなくなつたため、利用できないご利用者がおられた。  (2) 感染症予防の為、コロナ禍の緊急事態宣言において利用の制限を行つた。幸いにも期間中にコロナ患者の発生はなかつた。  (3) 係として情報収集と記録を目標に業務に取り組んだ。	(1) 新規利用者で、認知症があり、ご利用中に落ち着かれず、帰宅するケースが2件あつた。実際にショートステイを利用して頂いて、施設の環境になじめるか、夜間帯に落ち着く事ができるか見極めながら対応した。多床室で、絶対に施設外に出られない。というわけではないので、安全で過ごしやすい環境を整えていかなければならぬ。  (2) ケア係と一緒にすすめた。  (1) 自宅ではいつもオムツを破られて改良着を着用している方がおられた。ショートステイでも破る行為があり、対応に苦慮してましたが、布パンツへの変更と、ぬいぐるみを大事に持つてくださる事で、破る行為が激減した。
2. ご利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供(PDCAサイクルの推進)	(1) 認知症ご利用者が共同生活を送りやすい環境の検討  (2) ケア係と一緒に計画的な研修の実施			
3. QOLの向上に向けた環境整備	(1) QOL向上に向けた環境整備			

## 【様式1】

	(2) 食事前や余暇時間の活動の検討	(2) 余暇活動を新たに行うには至っていない。特養の活動に参加して頂き、非日常を体験して頂いた。
4. 地域に還元できる情報発信	(1) ホームページ等を活用し、施設の状況・情報の発信	(1) ホームページの活用は出来ていないが、施設からの発行物をお渡しし、情報発信している。
5. 地域との繋がりづくり	(1) ご利用者との関わりから、地域のニーズを把握する (2) 緊急利用ケースの積極的な受け入れ	(1) 地域の情勢を把握するよう努めた。 (2) 緊急利用については、積極的に受け入れを行つた。ベッド数の減少で満床の為に受け入れできまいことや、緊急事態宣言下においては感染症のリスク軽減のためにに対応できることがあつた。
6. 個別面談の充実及びOJTの推進	(1) 業務マニュアルの整備と業務の共化 (2) マニュアルに基づくOJTの実施・後継者の育成	(1) 業務マニュアルの整備を行つた。 (2) 担当者同士が同日に行なうことには無いが、その都度質問や引き継ぎの内容からOJTを行つた。
7. 業務見直しによる生産性の向上(介護サービスの質を確保した上で、テクノロジーの活用や業務の効率化)	(1) ケアカルテを利用した情報分析とご家族への報告・提案	(1) ケアカルテの情報を整理し、排泄や夜間帯の様子などの情報を伝えした。
8. 法令順守(自己点検ツールの活用)	認知症ケア加算の算定継続	(1) 認知症専門ケア加算の算定基準である認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方について算定している。
4 専門性の強化 介護報酬改定の確認	相談業務の基本姿勢の共有 ご家族に同意書を配布・回収	ショートステイ係
5 認知症ケアの強化	個別事例検討	ご利用者の状態を見ながら介護計画の変更を実施。

## 【様式1】

6	業務の共有化、共通化	業務マニュアルの点検、再整備 主担当が休みでも調整が行える環境の 整理	田頭	マニュアルの見直しを行った。
7				
8	利用者満足度の向上	受け入れ可能な医療行為について確認	ショートステ イ係	係会議にて確認できず。
9	利用者満足度の向上	パンフレットの更新	ショートステ イ係	ショート担当と医務係で情報の共有・伝達の必要性 について確認。
《上半期の実践計画の進捗状況の評価》				
	該当する番号に○印→	達成	5	・ 4
		3	・ 2	・ 1 未達
上記の評価理由				
5月のベッド数減についての事務処理はご利用者に理解を得ながら実施することができた。しかし、ベッド数が減少することで利用日数や男女比等の受け入れの柔軟性が減り、対応に苦慮する場面も多くあつた。8月、9月は特養の入院者がいたものの、緊急事態宣言の為に緊急利用の受け入れは難しかつた。特養の入院者の退院調整を見ながら、空いたベッドも活用し受け入れを行うことが稼働率の安定につながると考えられる。				
コロナ禍で緊急事態宣言も出されたことから、受け入れの判断が難しい状況が続いている。受入日を限定し、体調の観察を注意深く行う事も行った。下半期も地域の現状に合わせて、受け入れの対応を検討し、実施していきたい。				
ショート担当と医務係のご利用者・ショートステイに対する認識の相違がみられた。情報の共有・伝達を確実に行い、チームとしてケアをしていく仕組みを整えていくことが必要である。				
夏季はこれまでベッド上に全員に用意していた掛け布団を、使用している方のみにした。9月中旬より掛け布団を全員に用意しているが、破損等気になる物が増えている。更新やレンタルの検討が必要である。				
下半期の具体的取り組み等の修正				
	あり	なし	ありの場合	ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入
下半期の取り組み追加訂正事項				
10	認知症ケアの強化	個別事例の検討	ショートステ イ係	個別事例の検討できず。

## 【様式1】

11		認知症利用者の個別事例…日中落ち着かず、車椅子から立つたり座つたり、歩いたり走られることが多いご利用者について、先天性の難聴があり、手話も我流の為コミュニケーションがとりにくい状況。他者も介助しながらの見守りで、ずっと見守りができるわけではない。自宅ではどうか？ → 自宅でも娘さんが視界からいなくなると探して歩きだすことがある。傍にいれば一緒に過ごせることが多い。とのこと。→ 見守り職員や他者介助中の職員の近く、相談員のいる部屋で対応する。	内服情報、緊急連絡先の確認を行った。
12	利用環境の整備	ショートスタイル	内服情報、緊急連絡先の確認を行った。
1	利用者満足度の向上 稼働率の向上	田頭	居室環境の点検・整備 → 大きな不具合はないが、トイレの床の張替えや219号室の窓枠のゆがみなど、修繕が必要な個所を確認した。来年度修繕を予定。 緊急受け入れの体制の確認はできず。
2	認知症ケアの強化	ショートスタイル	個別事例の検討
3	ふりかえり		ケアワーカーからの情報が上がったタイミングで随時実施。 2021年度を振り返ると、コロナ禍で受け入れ制限を行った利用者・家族にはご迷惑をおかけしたが、施設内で感染拡大することなく防ぐ事ができている。

## ケアハウス係

### (1). 月別入居者状況

		前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度末
入居 人数	男	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	10	10
	女	19	19	19	19	18	18	18	17	18	18	18	18	18	18
世帯 数	1人	13	13	13	13	12	12	12	11	12	11	11	11	12	12
	2人	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	8	8
入居	男	0								1	1				2
	女	0								1	1				2
退去	男	0							1					1	2
	女	0				1		1			1				3

(入居者数・世帯数の前年度末と今年度末欄は、年度末日での人数、各月は毎月末日現在の数を示す)

### (2). 年齢構成(2022年3月31日現在)

以上	60	70	75	80	85	90	95	最年少	最年長	平均	前年	差
以下	69	74	79	84	89	94						
男	0	1	0	2	5	2	0	70	91	86.0	87.0	-1.0
女	0	2	4	4	4	4	0	73	93	83	84	-1.0
合計	0	3	4	6	9	6	0					
全体比	0%	11%	14%	21%	32%	21%	0%					

### (3). 入居前居住地

#### 居住地

県内	廿日市市	19名
92.9%	広島市	7名
県外	兵庫県	2名
7.1%		

### (4). 退居者数

逝去	2名
転居	3名

転居先 家族宅 1名、 特別養護老人ホーム 1名、 有料老人ホーム1名

### (5). 入退院者数

入院	6名
退院	5名

### (6). 介護保険サービスの利用状況

認定種類	人数	割合	前年人数
非該当	11 人	39.3%	10 人
事業対象者	3 人	10.7%	3 人
要支援1	5 人	17.9%	5 人
要支援2	3 人	10.7%	5 人
要介護1	2 人	7.1%	3 人
要介護2	1 人	3.6%	1 人
要介護3	2 人	7.1%	1 人
要介護4	1 人	3.6%	1 人
要介護5	0 人	0.0%	0 人

#### 利用サービス

短期入所介護サービス	0名
訪問看護	5名
訪問介護サービス(家事援助)	6名(掃除・買い物)
訪問介護サービス(身体介護)	3名(入浴・デイ送り・排泄介助)
訪問リハビリテーション	4名
訪問マッサージ	2名
通所介護サービス	6名
通所リハビリテーション	7名
可動式ベッドレンタル	6名
歩行器レンタル	6名
車椅子レンタル	2名

## 1. 研修実績

### (1)全体研修

実施日	内 容	時間	参加人数
	特別養護老人ホーム課に準ずる		

### (2)介護技術研修(新任職員研修)

実施日	内 容	時間	参加人数
	該当なし		

### (3)新人職員研修

実施日	内 容	時間	参加者	指導者
	該当なし			

### (5)外部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者
11/30	広島県老人福祉連盟 軽費・ケアハウス部会研修会 (広島県社会福祉会館 2階 講堂)	14:00～ 13:30	小野 小田

## 2. 講師実績※

### (1)内部講師

実施日	内 容	時間	参加者 (人数)
	該当なし		

### (2)外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間
	該当なし			

## 3. 実習生

期間	実習内容	実習生
	該当なし	

## 4. ボランティア※

### ・不定期ボランティア関係

活動日	活動者名(団体の場合は団体名および代表者名)	活動内容	人数
	コロナ禍により活動なし		

## 5. 外部会議※

日付	会議名など	場所	時間	出席者
2/10	広島県老人福祉施設等 研究発表会	ウェブ開催	10時～16時	小野 加芝 小田

## 【様式1】

## ケアハウス係 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	行事・活動の充実 入居者尊厳重視のサービス提供	・花見ドライブ(日程未定) ・入居者通信の発行	ケアハウス係 加芝	・桜の開花時期に希望者を募り三密にならないよう2日間・午前と午後4グループに分かれ、それぞれ車一台で出掛け、満開の桜をゆっくり堪能して頂いた。 ・今回の入居者通信は発行できなかつたが、入居者懇談会の話し合いの報告は入居者に行い、施設運営に反映させている。 ・ADL低下しても自分で頑張って生活したいという方の支援に配慮した。
5	行事・活動の充実 地域に還元できる情報発信	・春の外出行事(日程未定) ・入居者意向調査	ケアハウス係 小田	・コロナ禍により外出行事は見送った。 ・入居者機者意向調査について6月に調査票を入居待機者に郵送した。 ・新型コロナワクチン1回目集団接種を実施した。 ・ADL低下しても自分で頑張って生活したいという方の支援、およびその周囲の方との調整に配慮した。
6	入居者尊厳重視のサービス提供 入居者尊厳重視のサービス提供	・入居者懇談会	ケアハウス係 小田	・「入居者の心身状態の変化の際には、安心して生活を継続するためにどうしたらいいかを本人と身元保証人と施設とで話し合い決めていく」ことを入居者懇談会で伝え、普段の支え合いの中で気付きは、対応の判断材料として職員に教えてもらいたいとお願ひした。 ・ギャラリーさえ打ち合わせ会は、はつかいちふれあい文化祭の方向性が定まった後の8月に行つた。

## 【様式1】

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板の一部を、入居者参加型の交流ツールとして使用開始。入居者からの提案により楽しく交流出来ている。</li> <li>・新型コロナワクチン2回目集団接種を実施した。</li> </ul>
7	行事・活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕会(日程未定)</li> <li>・入居者通信の発行</li> </ul> <p>入居者尊厳重視のサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養と水分の補給に関する勉強会と冷たいお菓子をいたぐり会として七夕会を行い、参考になつたとの感想をいただいた。</li> <li>・6月の入居者懇談会を踏まえて支え合う暮らしが作りに関する取り組みについて掲載した入居者通信を発行した。</li> <li>・身体状態が変化した入居者の他の入居者によるイントローマルケアに関する話し合いを行い、お互いの安心感を得ることができた。</li> </ul>
8	被爆体験の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4日(水) 8・6集会</li> </ul> <p>地域に還元できる情報発信</p> <p>入居者尊厳重視のサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設全体</li> </ul> <p>小田 加芝</p> <p>・コロナ禍で集会としての8・6集会は行われなかつた。被爆体験を語れる方から時間をかけて聞き取りに努めている。</p> <p>・入居待機者への意向調査結果を9月に郵送した。見通しがついて助かるとの声をいただいた。</p> <p>・ギャラリーさえ打ち合わせ会</p> <p>・ギャラリーさえ打ち合わせ会</p> <p>・意見を元に、9月の入居者懇談会で具体化する。</p> <p>・人間関係調整の一環として食事席の席替えを行つた。気分が変って良いと概ね好評。</p>
9	長寿のお祝い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿品清鈴夏祭り(日程未定)</li> <li>・8日(水)長寿を祝う会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアハウス係</li> </ul> <p>ケアハウス係</p> <p>・長寿を祝う会を開催しましたで長寿をお祝いした。</p>

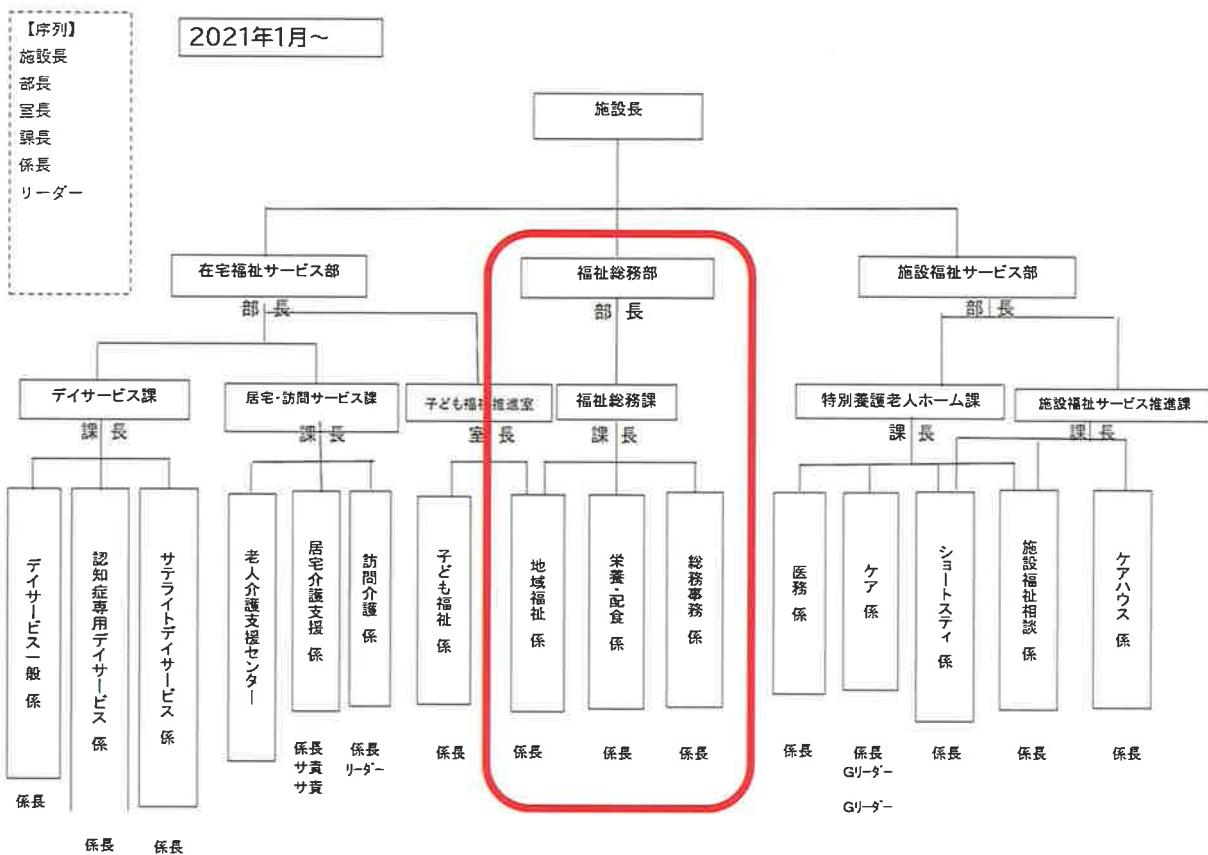
## 【様式1】

入居者尊厳重視のサービス提供 事業の振り返り	・入居者懇談会 ・事業計画の進捗状況の確認・評価	ケアハウス係 ケアハウス係	・入居者懇談会で、防災や共同生活のルールやギャラリーさえ展示に関する活動内容について確認しあう。 ・入居者が孤立感を深めないよう意識的動きかけを行っている。 ・「実践計画」の実践課題と具体的取り組みに沿って日常業務を見直しして自己評価を行った。
	《上半期の実践計画の進捗状況の評価》	該当する番号に○印→	達成 5 ・ ④ • 3 • 2 • 1 未達
中間評価	上記の評理由 入居者の QOL 向上に繋がるように職員間で情報共有しながら、実践計画に則り業務を進めることができた。課題が生じた場合は施設内協議して対処法を考えて実践することが出来た。地域とのつながり作りにおいてまだ課題があるが、今後文化祭の取り組みなどを通じて取り組んでいきたい。	ありの場合	ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入 下半期の取り組み追加訂正事項
10	入居者尊厳重視のサービス提供 入居者尊厳重視のサービス提供	・入居者通信の発行 ・ギャラリーさえ打ち合わせ会	加芝 小田
		・今回の入居者通信は発行できなかつたが入居者懇談会の話し合いの報告は入居者に行い、施設運営に反映させている。 ・ギャラリーさえ展示作品を募ると同時に、9月の入居者懇談会における打ち合わせで決定した「入居者みんなさんの日課と大切なもの」に関する文章を募集し編集して壁新聞を作成した。 ・9月から毎月1回日曜日の午後に映画鑑賞会を始めた。中央コーナーのオープンなスペースで出入り自由な状態で上映して、楽しんでもらっている。	

## 【様式1】

11	地域とのつながり作り QOL 向上に向けた環境整備 QOL 向上に向けた環境整備	・はつかいちふれあい文化祭 (11月) ・公用部分のワックスかけ ・大掃除業者の案内	小田 小田 小田	・入居者みんなさんの作品と壁新聞を展示して、来場者に入居者の生活に関して発信をした。 ・ワックスがけは新型コロナ感染状況に配慮して中止 ・居室内外掃除について希望を募り業者を案内した。
12	行事・活動の充実  入居者尊厳重視のサービス提供  行事・活動の充実	・14日(水)クリスマス・忘年会  ・入居者懇談会  ・特養のキャロリングともちつき に参加	ケアハウス係 ケアハウス係 小田	・事前に「今年のありがとう」に関する入居者のみんなさんから一言ずついただきスライドショーにして紹介して、交流を深めた。 ・入居者懇談会において、阿品台中学校の吹奏楽部の演奏の動画を紹介、鑑賞して感想を書いてもらい、阿品台中学校にお返しした。 ・特養との行き来に制限有り、参加できなかつた。
1	行事・活動の充実  入居者尊厳重視のサービス提供  行事・活動の充実	・新年互礼会 ・入居者通信の発行	ケアハウス係 加芝	・新年の行事として入居者と共に氣持を新たにした。 ・今回の入居者通信は発行できなかつたが入居者懇談会の話し合いの報告は入居者に行い、施設運営に反映させている。 ・新型コロナワクチン3回目集団接種を実施した。
2	QOL 向上に向けた環境整備  事業の振り返りと次年度の見通し	・ナースコール点検	ケアハウス係	・各居室を回り、昼間と夜間の対応について説明しながら、実際にコールを押してももらい、使用方法について確認してもらつた。 ・来年度の事業・実践計画の決定・作成をした。
3	入居者尊厳重視のサービス提供 ボランティアとの交流・関係強化	・来年度の事業・実践計画の決定・作成  ・入居者懇談会 ・ボランティア交流会	ケアハウス係 施設全体	・入居者懇談会において、来年度の事業計画について紹介、説明した。 ・直接の交流はできない中でも、できることとして繕い物やゴミ袋づくりなどを行い、気持を伝え合っている。

# 福祉総務部



総務・事務係

栄養・配食係

地域福祉係

## 部 2021年度評価と2022年度に向けて

部名	福祉総務部	記入者氏名	小野誠之
----	-------	-------	------

### 1. 2021年度の取り組みについて

2021年度の取り組みに対する評価	今後の取り組みについての考え方
<p>① 新型コロナの市中感染者数の推移をみながら、面会や入館、研修などの対応を設定し、各部署の協力を得ながら感染対策につとめた。</p> <p>② 人材確保について、ハローワークと連携しながら研修受講者の確保や求職者の体験就労などに取り組み、就労に繋がった。</p> <p>③ BCPについて、委員会を開催し、各部署の状況を踏まえた、実働する内容となるようすすめた。</p> <p>④ 各部署の収支について、毎月書面で確認し、必要に応じて経営改善の取り組みを促した。</p>	<p>① 引き続き、市中感染者数の推移や、関係者の感染情報等をもとに、必要な感染対策を講じる。</p> <p>② ハローワーク、行政、社会福祉協議会、市内事業者との連携を図り、受講者や就労者の増加を目指す。</p> <p>③ 委員会計画的に開催し、実働するBCPを完成させる。</p> <p>④ 各部署の収支について随時共有し、必要に応じて経営改善を指示し、収支バランスの安定を図る。</p>

### 2. 2022年度重点的に取り組むこととその具体策

重点的に取り組むこと	具体策
<p>① 引き続き、市中感染者数の推移や、関係者の感染情報等をもとに、必要な感染対策を講じる。</p> <p>② ハローワーク、行政、社会福祉協議会、市内事業者との連携を図り、受講者や就労者の増加を目指す。</p> <p>③ 委員会計画的に開催し、実働するBCPを完成させる。</p> <p>④ 各部署の収支について随時共有し、必要に応じて経営改善を指示し、収支バランスの安定を図る。</p> <p>⑤ 建物修繕、物品の準備、環境整備に計画的に進める。</p>	<p>① 基準の設定、注意喚起、PCR検査及び抗原検査の実施など継続的に取り組む。</p> <p>② 人材確保の取り組みをハローワークと共有し、協力し合う体制を維持する。また、事業者を巻き込み、受講後の就労者を増やす。</p> <p>③ 部課長級会議と同時に策定員会を開催し、年度中に完成させると同時に、各部署に浸透させる。</p> <p>④ 部課長級会議で収支情報を共有し、状況に応じて必要部署と随時経営改善について打て協議する。</p> <p>⑤ 業者や機器の情報収集を行い、新たな情報を踏まえた計画的整備を進める。</p>

## 室・課 2021年度評価と2022年度に向けて

室課名	福祉総務課	記入者氏名	武田道彦
-----	-------	-------	------

### 1. 2021年度の取り組みについて

2021年度の取り組みに対する評価	今後の取り組みについての考え方
<p>① コロナ禍での対応が多くあり、各係とも計画的に実施できていない内容があった。</p> <p>② 建物修繕、機器の入替等、経年劣化で対応が必要な場合があった。計画に入っている内容、突発的に対応が必要な内容等、関係部署と協力して行うことができた。</p> <p>③ ご利用者への食事等の提供について、感染症予防に努めながら行うことができた。関係部署からの要望に可能な限り答えることができるよう協力して行うことができた。</p> <p>④ ボランティアの受入、各委員会の開催延期や調整が多くあった。可能な限り実施できるよう関係部署と連携して行うことができた。</p> <p>⑤ 災害時への対策として、BCPの作成、福祉避難所開設訓練の実施、非常物品の整理等行うことができた。</p>	<p>① コロナ禍での対応について、情報収集に努め取り組みを工夫する。</p> <p>② 昨今、内容によっては部品供給ができない、海外からの物資の不足、物流の停滞等がある。早めの対応で必要なことが行えるようすすめる。</p> <p>③ 各部署と連携を密にとり、ご利用者、職員からの要望、意見を確認し、季節や行事を感じじができるように努める。</p> <p>④ 引き続きボランティア、関係機関との連携を行い、ケアセンターの役割を発信していく体制に努める。</p> <p>⑤ 実施した訓練を今後に生かしていく体制作り、より具体的な内容の訓練、物品の準備等行っていく。</p>

### 2. 2022年度重点的に取り組むこととその具体策

重点的に取り組むこと	具体策
<p>① 建物修繕、物品の準備、環境整備について、費用が高額な内容も多くあるので計画的に行えるよう、各部署と連携し、滞りなく進める。</p> <p>② 地域からのニーズ、ご利用者からの要望等について、コロナ禍でのケアセンターの対応を引き続き行う。</p> <p>③ 災害対策について、引き続き行う。</p>	<p>① 優先順位をつけて実施月、期日を決めて漏れなく実行する。優先順位が低い内容について、先延ばしに可能な限りしないように具体的に実施スケジュールを立てる。</p> <p>② 現在行っている内容の整理、関係機関から情報収集を協力して行う。集めた内容について部署間で共通認識できるように回覧等して共有する。</p> <p>③ マニュアルの整備、物品の確保、必要な機器の情報収集、準備を計画的に進め、時期を決めて見直しを行う。</p>

## 総務事務係

### I. 協力者などの状況

#### 1. 献品状況

日用品	8	食品	0	衣類	0
花類	5	介護用品・機器	2	その他	7
				合計	22

#### 2. 後援会及び寄付状況

一般寄付	_____	1,354,603
支える会募金	_____	844,350
合 計		2,198,953

#### 3. 借入金返済

##### ① 社会福祉・医療事業団への借入金返済額

元金	_____	0 円
利息	_____	0 円

##### ② 返済財源 支える会、一般寄付

本部会計からの繰入金	_____	0 円
廿日市市利子補助	_____	0 円

### II. 特記事項、評価と課題

- 昨年に続きコロナ禍での対応が多かったため、計画的に行うことができていない内容があった。  
修繕、訓練等の予定も組むことができずに未実施の内容が多くなった。世の中の情勢も価格の高騰、物品の不足等あり、対応が必要な内容については計画的に行うこと、またイレギュラーな事例への対応も不足なく行えるように準備をしていくことが必要だと考えられる。
- 総務課としての役割について、昨年度は職員の入れ替わりがあり業務整理が不十分のまま進めてしまった。業務内容の整理について効率よく行えるように職員間のコミュニケーションをとり進めていく。

### 人事（退職・採用・部署待遇変更）

#### 1. 採用職員

	採用年月日	氏名	待遇	所属	職務
1	2021年4月1日	ケン ティ トイ ガン	常勤的非常勤	ケア係	介護職員
2	2021年4月1日	川本 香	常勤	医務係	看護師
3	2021年4月25日	藤島 範彦	非常勤	総務事務係	宿直職員
4	2021年5月19日	三ヶ崎 和子	非常勤	ケア係	清掃職員
5	2021年5月27日	板谷 久美子	非常勤	医務係	看護師
6	2021年6月14日	三崎 典子	非常勤	ケア係	清掃職員

7	2021年6月28日	松浦 誠	非常勤	総務事務係	宿直職員
8	2021年7月2日	岡部 ひとみ	非常勤	ケア係	介護職員
9	2021年7月2日	佐藤 タヅ子	非常勤	ケア係	介護職員
10	2021年7月20日	石丸 和獻	非常勤	総務事務係	宿直職員
11	2021年8月1日	長家 満里奈	常勤	医務係	看護師
12	2021年8月26日	中田 美羽	学生バイト	b&g廿日市+	支援員補助
13	2021年8月31日	谷 麗子	非常勤	ケア係	調理職員
14	2021年9月6日	秦 伊吹	学生バイト	b&g廿日市+	支援員補助
15	2021年9月7日	松岡 満奈美	学生バイト	b&g廿日市+	支援員補助
16	2021年9月21日	岡田 阿子	学生バイト	b&g廿日市+	支援員補助
17	2021年9月27日	塩見 明日香	学生バイト	b&g廿日市+	支援員補助
18	2021年10月1日	小笠原 英敬	嘱託医	ケア係	医師
19	2021年10月20日	濱田 靖	学生バイト	b&g廿日市+	支援員補助
20	2021年11月29日	堀越 住枝	非常勤	ケア係	介護職員
21	2021年12月13日	田中 啓太	常勤	ケア係	介護職員
22	2022年1月17日	江口 多喜子	常勤	ケア係	介護職員
23	2022年1月4日	清水 敬士	非常勤	デイ一般係	清掃職員
24	2022年2月1日	久保 真実	常勤的非常勤	ケア係	介護職員
25	2022年3月1日	柳原 美祿	常勤	医務係	看護師
26	2022年3月2日	大野 哲男	非常勤	デイ一般係	運転職員
27	2022年3月21日	池田 三和子	非常勤	デイ一般係	看護師

## 2. 退職職員

	退職年月日	氏名	待遇	所属	職務	在職期間
1	2021年4月30日	松浦 誠	非常勤	総務事務係	宿直職員	10年9ヶ月
2	2021年4月30日	今福 菜々子	学生バイト	b&g廿日市+	支援員補助	1年6ヶ月
3	2021年5月3日	三ヶ崎 和子	非常勤	ケア係	清掃職員	1日
4	2021年5月7日	川本 香	常勤	医務係	看護師	1ヶ月
5	2021年6月9日	西 洋子	非常勤	ケア係	介護職員	20年4ヶ月
6	2021年6月30日	江島 隆	非常勤	デイ一般係	清掃職員	13年
7	2021年7月31日	久保 真実	常勤	ケア係	介護職員	8年5ヶ月
8	2021年7月31日	関ヶ浜 弘江	非常勤	ケア係	介護職員	15年9ヶ月
9	2021年7月31日	松浦 誠	非常勤	総務事務係	宿直職員	1ヶ月
10	2021年8月31日	堤 彩羽	学生バイト	b&g廿日市+	支援員補助	1年1ヶ月
11	2021年9月17日	板谷 久美子	非常勤	医務係	看護師	5ヶ月
12	2021年9月30日	塩田 由美	登録ヘルパー	訪問介護係	ヘルパー	2年1ヶ月

13	2021年12月31日	羽釜 美穂子	常勤	ケア係	介護職員	7年
14	2021年12月31日	村田 弘美	常勤	ケア係	介護職員	4年11ヶ月
15	2022年3月31日	稻井 康治	非常勤	デイ一般係	運転職員	16年8ヶ月
16	2022年3月31日	室住 和三郎	非常勤	総務事務係	運転職員	6年
17	2022年3月31日	大石 充徳	非常勤	デイ一般係	運転職員	5年9月
18	2022年3月31日	北野 博文	非常勤	デイ一般係	運転職員	3年1ヶ月
19	2022年3月31日	長家 満里奈	常勤	医務係	看護師	8ヶ月
20	2022年3月31日	ケン テイ トワイ ヴ'アン	常勤的非常勤	デイ一般係	介護職員	1年

### 3. 部署・待遇変更職員

	変更年月日	氏名	部署	職務
1	2021年4月1日	中川 トミ江	医務係	非常勤
2	2022年2月14日	ケン テイ トワイ ヴ'アン	ケア係 ⇒ デイ一般係	常勤的非常勤
3	2022年3月1日	大谷 裕子	デイ一般係 ⇒ 居宅係	非常勤 ⇒ 常勤 介護支援専門員

## 【様式1】

## 総務・事務係 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	I-1 感染症や災害が発生した場合の体制を構築	(1)事前準備、マニュアルの整備、BCP の作成 ①役割の整理	武田	BCPについて新たに体制を作っていくにあたり準備を進めている中で、整理を行ながら進めている。
	IV-1 個別面談、OJT の推進	(1)面談の実施(自己評価、他者評価)	武田	面談は未実施、OJTについては各自の業務に沿って必要な内容を係内で話し合っている。
5	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる	(1)必要な情報を収集し改善の提案を行う ①役割の共有、物品を揃え業務の効率化に努める	武田	個別の業務についての整理が不十分で効率的に行なうまでに至っていないが、課題についての対応を少しずつ進めている。
6	II-1 高い福祉サービスの提供のための後方支援	(1)各部署の業務サポートを行う体制を整える ①定期的に確認を行う	武田	各担当者と必要に応じて確認しているので、出来ている内容、課題について進めてう。
	III-1 地域課題の情報収集、必要な取り組みを実施でべき体制作り	(1)マニュアルの整備、環境を整える 火災想定避難訓練実施(マニュアルの確認)	武田	火災想定避難訓練は未実施。コロナ禍での実施について課題がある。マニュアルについて委員会にて各委員に精査してもらい、大きな変更はないが、細かい部分に変更是継続的に行っていく。
7	V-1 法令順守(自己点検ツールの活用)	(1)該当項目について共通認識し漏れの無いようとする ①定期的な確認を行う	武田	業務内容でミスが起こらないように工夫をしているが、問題が発生することがあるので、部署で対策を定期的に話し合って改善を行っている。
	III-1 地域課題の情報収集、必要な取り組みを実施でべき体制作り	(1)マニュアルの整備、環境を整える 防災の日実施(物資の確認)	武田	防災の日に訓練を実施した。非常食の体験を行い、今後その他の訓練の実施を検討していく。非常食について、ご利用者にあつた物品の検討を行った。今後必要があれば新しい物品に変更していく。
8	I-1 感染症や災害が発生し	(1)事前準備、マニュアルの整備、BCP の	武田	BCPについて新たに体制を作っていくにあたり準備を進め

## 【様式1】

	た場合の体制を構築	作成 ①役割の整理	ている中で、整理を行ながら進めている。部署での役割を明確にして、各自の役割を決める必要がある。
9	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる	(1)必要な情報を収集し改善の提案を行う ①役割の共有、物品を揃え業務の効率化に努める	武田 個別の業務についての整理が不十分で効率的に行うまでに至っていないが、課題についての対応を少しづつ進めている。
中間評価			《上半期の実践計画の進捗状況の評価》 該当する番号に○印→ 達成 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 未達
	上記の評価理由		継続的に必要内容について行っているが、具体的に決めることが出来ていない。日々の業務に追われることが多く、係としての改善、協力体制が不十分だと思われる。個々の業務整理を行い、合わせて課題について時間を作れるように工夫をしていくことが下半期に向けて必要だと考えられる。
	下半期の具体的取り組み等の修正	あり	ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入
			下半期の取り組み
10	II-1 高い福祉サービスの提供のための後方支援	(1)各部署の業務サポートを行う体制を整える ①定期的に確認を行う	武田 (1)①通常業務内において必要に応じて実施したので、今後も引き続き行なっていくように準備が必要。
IV-1	個別面談、OJT の推進	(1)面談の実施(自己評価、他者評価)	武田 (1)未実施。今後課題について共通認識して取り組めるよう準備、実施していく。
11	III-1 地域課題の情報収集、必要な取り組みを実施できる体制作り	(1)マニュアルの整備、環境を整える 災害に対するマニュアル等の確認作業	武田 (1)福祉避難所開設訓練を実施した。地域との連携、施設の物品状況等、出来ていなかつた訓練の実施により、課題について確認することができた。
V-1	法令順守(自己点検ツールの活用)	(1)該当項目について共通認識し漏れの無いようにする ①定期的な確認を行う	武田 (1)①法令順守で行なっている。自己点検ツールの活用をより実施していく。
12	I-1 地域課題の情報収集、	(1)事前準備、マニュアルの整備、BCP の	武田 (1)①BCP マニュアルの作成を始めた。施設の現状を把

## 【様式1】

	必要な取り組みを実施できる体制作り	作成 ①役割の整理	握し、マニュアルの完成、実施できる体制にむけて計画を立て進めていく。
1	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる	(1)必要な情報収集し改善の提案を行う ①役割の共有、物品を揃え業務の効率化に努める	武田 (1)①物品の整理を行い、必要な物を購入して業務を行つた。
2	II-1 高い福祉サービスの提供のための後方支援	(1)各部署の業務サポートを行う体制を整える ①定期的に確認を行う	武田 (1)①通常業務内において必要に応じて実施したので、今後も引き続き行つていけるように準備が必要。
3	III-1 地域課題の情報収集、必要な取り組みを実施できる体制作り	(1)マニュアルの整備、環境を整える 災害に対するマニュアル等の確認作業	武田 (1)BCPの作成準備を進め、現在使用している災害マニュアルとリンクさせる準備を継続して行つている。出来ていない内容について計画を行い進めていく。
	V-1 法令順守(自己点検ツールの活用)	(1)該当項目について共通認識し漏れの無いようにする ①定期的な確認を行う	武田 (1)①法令順守で行つている。自己点検ツールの活用をより実施していく。

# 栄養係

## I 食事状況

1. 食事時間 朝食8時 昼食12時 夕食18時

2. 食事の種類 (特養)

主 食(%)		副 食(%)			
米飯	30.8	ふつう	26.9	減塩食	1.9
粥	30.2	一口大	3.9	糖尿病食	0
粥ミキサー	34.6	荒刻み	7.7	脂質異常食	0
軟飯	3.2	刻み	25.0	腎臓病食	0
パン	0.6	極小刻み	3.8		
パン粥ミキサー	0.6	ミキサー	30.8		

3. 栄養摂取状況

①特養・ショート

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA (RE) μg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg
摂取量	1434	53.2	34.6	690	7.4	700	1.27	1.16	91
所要量	1496	52.4	34.9	624	6.2	686	1.00	1.20	100
充足率	95.9	101.5	99.1	110.6	119.4	102.0	127.0	96.7	91

②ケアハウス

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA (RE) μg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg
摂取量	1590	58.0	36.8	699	8.8	751	1.39	1.20	96
所要量	1557	53.4	36.3	640	6.4	702	1.00	1.20	100
充足率	102.1	108.6	101.4	109.2	137.5	107.0	139.0	100.0	96

## II 栄養スクリーニングリスク別人数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均値
低リスク	25	25	31	29	25	24	21	23	24	24	24	24	24.9(22.5)
中リスク	24	24	21	24	25	28	28	24	26	28	28	27	25.6(27.9)
高リスク	5	4	5	4	4	2	6	6	6	2	2	2	4.0(2.1)
不明	0	4	1	1	4	2	3	5	3	4	3	4	2.8(1.5)
合計	54	57	58	58	58	56	58	58	59	58	57	57	57.3(54.0)

※( )内は昨年 2020 年度の平均値

### III課題と評価

1. 食事の種類(特養)から、普通食が約 27%、一口大・粗刻みが約 11%、刻み食が約 29%、ミキサー食が約 33%という割合になっている。嚥下機能の低下などにより、ミキサー食が増加している。
2. 栄養摂取状況については、特養・ショートについては若干エネルギー量が不足している。タンパク質は充足している。ケアハウスについては全体的充足しているが、ビタミン C の不足がみられる。特養・ケアハウスともに生野菜や果物などの提供が難しい状況のため、不足気味になっている。
3. 栄養スクリーニングについては、今年度から特養の定員が増加し、合計人数が変更した。入所者の変動により、不明が多くなっている。リスクについては、BMIの数値が低い為、中リスクの方が多い。ミキサー食のエネルギー量の増加で、ミキサー食の方の体重減少は抑えられている。

スクリーニングは各部署と連絡を取りながら定期的に行い、その結果を踏まえ個々の状態にあった食事提供を実施。
4. ケアハウス入居者による食事については、身体機能や状態変化に伴い、食事形態の変更が必要な場合は、対応をおこなった。「デザートの日」は継続実施した。「温食」については、引き続き昼食時はご飯・汁・主菜を「温食」で提供した。夕食については月に一度温食の日を設け、主菜を温かいもので、提供した。

また、お誕生月の方にリクエストメニューを聞き、可能な限り希望にそえるように、普段のメニューとは違ったごちそうメニューを提供した。

行事食については感染症予防対策をしながら可能な限り、食事の提供をおこなった。
5. 特養については、温冷配膳車での提供を継続している。お誕生月にその月のお誕生日の方が集まり、おやつの提供をおこなった。また、月に一度、全員のおやつ会をおこなった。季節や行事などをできるだけ取り入れるよう、工夫した。
6. デイサービスでは、イベント食を引き続き実施し、毎日の食事を楽しんで頂けるよう努めた。イベントの一つで鍋の日があったが、今年度もコロナ禍のため中止し、松花堂弁当の提供をおこなった。パフェの日も同様に、職員が盛り付けをおこない、提供をした。
7. ノロウィルス、インフルエンザ感染症からの食中毒発生の注意を喚起し、事故の予防に努めた。またコロナウィルス感染症予防についても注意をおこなった
8. 各部署と富士産業との給食会議を可能な限り実施し、日々の食事に反映させるよう努めた。

【様式1】

実践計画

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	※体重、食事摂取量等を確認しながら食事形態の検討を行つた。 行事食は、コロナ禍で可能な食事提供を検討した。 胃ろうの方のサンプルを使用し、ミキサー食の方へゼリーを提供了。今後もメイバランスを使用したゼリーを月に2回提供する予定とした。
	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行つていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなう	田村	※給食会議は延期とした。日々の業務の中で話し合いを行なががら業務調整を行つた。
	V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	①特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなっていく	田村	※体重の増減や食事量などに注意しながら、栄養補助食品の必要性等、検討をおこなっている。体重増加が続いている方などについても検討をおこなう。ライ・ケアカルテ・エクセルへ栄養ケアについて入力し、個々の状態の確認をおこなっている。
5	II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	※上記同様。
	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行つていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなう	田村	※上記同様。特養のお誕生日のおやつ会では果物やアイスクリームをトッピングして提供した。今後もこのように提供をおこなう。
	V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなっていく	田村	※上記同様。
6	II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	※上記同様。体重増加が続いている方など体に負担になつていいようであれば、食事量などの調整をおこなつた。 上記(太字)同様。特養のご家族からのスイカをいただいたので、スイカもしくはスイカのゼリーを提供した。
	IV-2 業務の見直しにより生産性	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な	田村	※上記同様。

## 【様式1】

	を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	会議の実施や日々の業務調整などこまめに行なっていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなう	田村	
V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなっていく	田村	※上記同様。
7	I-1 感染症や災害が発生した場合であっても、利用者・入居者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築	①飲食物や物品などの備蓄の確保などをおこなう ②委託業者と連携し、利用者・入居者に継続的に食事の提供ができるようにする	武田 田村	普通食のご飯のストックはあるが、他のものがない状況のため、粥や高カロリー飲料のストックもするよう検討した。
	II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供そのための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	※上記同様。体重増加が続いている場合は、ミキサー食の方に付加している高カロリー飲料を中心とした。行事は、ケアハウスセータ会があり、脱水予防の話をし、和菓子の提供をおこなった。
	III-1 地域の課題について把握し、情報収集を行い、必要な取り組みを実施できる体制を整える	②災害時など食事に関して必要な物資等の確保をする	武田 田村	ローリングストックできるよう、防災食をご利用者・職員へ探し、改めて作り方の確認をおこなった。
	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行なっていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなう	田村	デイサービス給食会議を実施した。今年度から選択食を一週間前に選んでいただくようになり、提供の変更などについてそれぞれの部署からの意見を出した。また、刻みの種類について変更することなどが決定した。
V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなっていく	田村	※上記同様。
8	I-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供そのための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村 田村	※上記同様。行事は、特養の夏祭りがあり、アイスクリームピュースの提供をおこなったが、体調不良者も多く、通常のおやつ会となつた。
	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行なっていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなう	田村	特養給食会議を実施した。基本的には日々の業務を確実に行うこと。刻みやミキサー食の問題点などがあがつた。委託業者で可能なことを確認し、改善できることはおこなう。

## 【様式1】

	V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなっていく	田村	上記(太字)同様。
9	II-1 利用者の尊厳を第一とし、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	今月は体調不良や入院で食事形態が変更した方が多い。体調などみながら食事形態を戻すことができれば、変更をおこなつていい。行事は、長寿を祝う会があり、コロナ禍で可能な食事提供を検討した。
	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行つていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなう	田村	上記(太字)同様。
	V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなっていく	田村	上記(太字)同様。
《上半期の実践計画の進捗状況の評価》		該当する番号に○印→ 達成 5 ・ 4 ・ ③ ・ 2 ・ 1 未達		
中間評価の評価理由				
上記の課題に対する取り組みをおこなった。 コロナ禍で例年とは違う方法での行事となたが、各部署と話し合いを行い取り組んできた。 特養の食事に関しては引き続き課題があるため、継続実施していく。 備蓄品の整備などはもう少し充実できるように検討をおこなう。				
下半期の具体的取り組み等の修正		あり ・ なし	ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入	下半期の取り組み
10	I-1 感染症や災害が発生した場合であっても、利用者・入居者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築	①飲食物や物品などの備蓄の確保などをおこなう ②委託業者と連携し、利用者・入居者に継続的に食事の提供ができるようにする	武田 田村	介護食用の非常食の検討を行い、240 食分の発注をおこなつた。
	III-1 地域の課題について把握し、情報収集を行い、必要な取り組みを実施できる体制を整える	①災害時など食事に関する必要な物資等の確保をする	武田 田村	委託業者からお弁当での非常食の提案があつた。 11 月に避難所の訓練を行い、必要な物品等の確認をおこなつた。

## 【様式1】

II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	※体重、食事摂取量等を確認しながら食事形態の検討を行つた。 行事食は、コロナ禍で可能な食事提供を検討した。
IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行つていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなう	田村	ケアハウスの給食会議を実施。 ※日々の業務の中で話し合いを行いながら業務調整を行つた。 どろみサーバーのデモを行い、仮設置をおこなつた。
V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなつていく	田村	※体重の増減や食事量などに注意しながら、栄養補助食品の必要性等、検討をおこなつている。体重増加が続いている方などについても検討をおこなう。リライ・ケアカルテ・エクセルへ栄養ケアについて入力し、個々の状態の確認をおこなつている。
11 II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	上記(太字)同様。
IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行つていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなう	田村	上記(太字)同様。 どろみサーバーについては、現在導入の見込みはないため、中止とした。
V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなつていく	田村	上記(太字)同様。
12 II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	上記(太字)同様。 行事はクリスマス会を開催した。行事食は年越しそばなどの提供もおこなつた。
IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行つていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなう	田村	ディサービスの給食会議を実施。 上記(太字)同様。
V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなつていく	田村	上記(太字)同様。

## 【様式1】

1	II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	上記(太字)同様。 行事食はお正月料理や鏡開きでせんざいなどの提供をおこなった。
	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行つていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなっていく	田村	上記(太字)同様。 給食会議は書面開催とした。
2	V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなっていく	田村	上記(太字)同様。
	II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	上記(太字)同様。 行事食は節分の巻き寿司などの提供をおこなった。
3	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行つていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなっていく	田村	上記(太字)同様。
	V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなっていく	田村	上記(太字)同様。
	II-1 利用者の尊厳を第一とした、質の高い福祉サービスの提供のための後方支援	①栄養スクリーニング結果に基づいた食事提供と個々の食事形態の検討をおこなう ②行事食やイベント食などを取り入れ、楽しみのある食事の提供をおこなう	田村	上記(太字)同様。 行事食はひな寿司や春分の日のばたもちの提供をおこなった。
	IV-2 業務の見直しにより生産性を向上させる(テクノロジーの活用や業務の効率化)	①委託業者と連携を図れるよう、定期的な会議の実施や日々の業務調整などこまめに行つていく。 ②各部署で改善が行える提案ができるよう、情報の収集をおこなっていく	田村	上記(太字)同様。
	V-1 法令遵守(自己点検ツールの活用)	特養では継続して栄養ケアマネージメント等をおこなっていく	田村	上記(太字)同様。

## 地域福祉係

### I. ボランティアの受入状況

#### 1. 月別来所人数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
定期的活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不定期活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\* 新型コロナウイルス対策のため、来所ボランティアは 2020 年 3 月 7 日～活動中止

ケアハウスのオムツ袋ボランティアや裁縫ボランティアは継続して活動中

#### 2. 新規登録・活動状況

(1)新規登録－なし

(2)活動状況は I -1 に記載のとおり

(2)2021 年度ボランティア活動手引書⇒発行せず

(3)清鈴園・廿日市高齢者ケアセンター合同ボランティア交流会(感謝の集い)⇒中止

(4)ハーモニーキッズOB・OG(大野地域の知的障がいを持たれた方々のグループ)の  
活動協力

① 鍋奉行－コロナの感染予防対策のため、活動休止

② ポップでの食事作り－コロナの感染予防対策のため、活動休止

#### 3. 活動終了、休止

\* 裁縫ボランティア 1 名、手術されるため。活動再開時に連絡あり

### II. 文化的プログラム・広報活動

#### 1. 事業名 『第 25 回はつかいちふれあい文化祭』

“清鈴園・廿日市高齢者ケアセンター福祉文化祭”

テーマ「心を一つに！」

2. 主催団体名 特別養護老人ホーム清鈴園・廿日市高齢者ケアセンター

3. 名義使用団体 なし

4. 場 所 廿日市高齢者ケアセンター

#### 5. 内容

① 期間：2021 年 11 月 1 日(月)～11 月 30 日(火)

② 期間中の入場者 ケアセンター内サービス利用者

ケアハウス入居者、特養入所者

#### ③ 主なイベント

\* コロナ感染予防のため中止

\* 清鈴園、ケアセンターのご利用者の作品展示

\* 作業所(くさのみ作業所、ピクトハウス、さをり織り)の作品展示

#### ④ その他

- \* 阿品台中学校吹奏楽部の演奏をDVDにしていただきご利用者と鑑賞
- \* ご利用者の作品(希望する方)をケアセンターのホームページで公開し、ご利用者家族にもその取り組みを連絡(両施設)
- \* フジグランナタリーの協力を得て、介護応援川柳を募集。504句の投句あり。  
11月13日(土)～20日(土)までフジグランへ展示した。「番傘くすのき川柳会」の飛田陽子さんに、最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句選定していただいた

### III. 広報活動

#### 1. ネットワーク21

発行日	内容
第54号 6月1日発行 (フルカラー10ページ)	笑顔写真、清鈴園50周年記念事業について、食事内容の特集、故人追悼記念会、行事報告、介護保険介護報酬改定について、お客様相談室、支える会報告
第55号 2月1日発行 (フルカラー10ページ)	笑顔写真、清鈴園50周年記念事業について、第25回はつかいちふれあい文化祭、行事報告、阿品清鈴脱衣室改修工事

#### 2. ホームページ

##### ① 月別アクセス数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
アクセス数	4,093	3,898	3,931	3,649	3,132	3,574	3,363	3,568	4,335	4,529	3,680	3,378	45,130
市バナー	5	4	2	1	5	1	4	3	3	4	4	0	36

##### ② これまでの比較

月	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	前年比
アクセス数	26,731	20,440	21,600	21,188	31,620	37,373	40,686	50,947	45,130	-5,817
1か月平均	2227.6	1703.3	1800	1765.7	2,635	3,114	3,391	4,246	3,760	-486
市バナーからの検索	204	218	171	71	54	36	48	52	36	-16
1か月平均	16.3	18.2	14.3	5.9	4.5	3.0	4.0	4.3	3.0	-1.34

### IV. サービス向上委員会

#### 1. 委員会の開催 毎月第2水曜日 計12回開催(回覧方式含む)

#### 2. サービス向上受付

##### (1) 意見受付状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	4
内訳	部署	特養0	ショート2	居宅0	ホームヘルプ0	デイ1	認知症デイ1	その他0					
	申出者	利用者1	家族2	その他1									

##### (2) サービス向上メモ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
内 訳	部署	特養 1	ショート 0	居宅 0	ホームヘルプ 0	デイ 1	認デイ 0						
	申出者	利用者 0	家族 2	意見箱 0	一般市民 0	その他 0							

### (3)ヒヤリハット報告書

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件	7	2	2	3	3	24	18	18	13	13	12	5	120
内訳	部署	特養 72	ショート 19	居宅 0	ホームヘルプ 6	デイ 16							
		認デイ 3	総務 0										

※特養からの提案により、新たな様式を6月より試用

### (4)事故発生・発見報告書

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件	2	5	6	5	5	2	0	2	1	3	2	1	34
内訳	部署	特養 19	ショート 5	居宅 ヘルプ 4	デイ 4	認デイ	ケアハウス b&g						

### (5)転倒転落事故発生・発見報告書

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件	8	8	5	5	5	4	4	6	2	17	16	14	94
内訳	部署	特養 56	ショート 25	ホームヘルプ 2	デイ 4	認デイ 1							

### (6)高齢者虐待・身体拘束事例

- 特養ご利用者—認知症の進行により排泄物を口に運ぶ、オムツの中に手を入れるなどの行為や排泄物を口にすることで窒息する可能性もあり、一時的にロンパース型のつなぎ服を使用する身体拘束を行っている。ご家族には了承を得て10日以上経過。今は落ち着かれている。今後も慎重に評価をしながら対応する。

### (7)ご意見用紙 0 件

#### 3. 介護相談員派遣事業

- 訪問日 原則、毎月第1金曜日に来所
- 訪問先 特別養護老人ホーム阿品清鈴 計0回
  - \* 新型コロナウイルスにより活動中止となった

#### 4. 各係目標への取り組み

- \* 各係で目標を立て、3ヶ月毎に評価し取り組んだ

#### 5. サービス自己評価について

- \* 年1回の自己評価を各部署で取り組んだ。

#### 6. サービス向上検討委員会(運営推進会議)について

	出席者	議題
2021年9月 (書面開催)	外部委員5名 内部委員7名	活動状況及び近況報告 外部委員より書面で確認
2022年3月 (書面開催)	外部委員4名 内部委員7名	活動状況及び近況報告 外部委員より書面で確認

- \* コロナ禍により、2回とも書面開催とした。2021年度より、外部委員の利用者家族について、前任の方の利用終了に伴い現ご利用者家族に新たに就任していただいた。

## V. 出張介護教室・介護予防教室等

### 1. 出張介護教室・介護予防教室(計2件)

実施日	実施場所	対象	人数	実施時間	内容・テーマ	担当者
4/6	阿品市民センター	阿品2丁目元気サロン	17	10:30～11:30	「サルサってなにさ！」～楽しく体を動かしましょう～	竹内優子 OT 高本裕子 CM 大谷裕子(テイ)
6/24	田屋集会所	田屋予防サロン	11	10:00～11:30	デュアルタスクで介護予防	竹内優子 OT 益田昌子 CM

- \* コロナの市中感染の状況を確認しながら、先方代表者と予防対策について協議の上実施した

### 2. 出前コグニサイズ(計0件)

- \* 1/19(水)14:00～15:00 むつみ会より依頼を受けていたが、コロナ感染拡大のため開催延期

## VI. 認知症になっても安らぎのある廿日市市をつくる市民の会

### 1. 2021年度 総会及び研修会・交流会

(1) 実施日：6月5日(延期)→8月28日(延期)→10月23日(土)

(2) 実施時間：10:00～11:30

(3) 会場：ウッドワンさくらぴあ小ホール

(4) 内容(参加者56名・委任状38名)

① 2020年度の活動報告

② 2021年度の活動(案)の報告

③ 規約・役員の承認

④ 運営推進委員会設置規程(確認)

⑤ 研修会(仮称)はつかいち見守り安心ネットワークの一員として

～市民の会の会員として、見守りや安心の支援をしましょう～

講師：社会福祉法人 廿日市市社会福祉協議会

コロナ禍により、事前の健康チェック、検温、手指消毒、広島コロナお知らせQR、ソーシャルディスタンス、換気などの対策を実施

### 2. 運営推進委員会

回	日	時間	内容	参加者
第1回	11/19 (金)	13:00～ 15:00	総会振り返り、さろん阿品活動状況、やすらぎ・寄り添い活動状況、第1回継続研修など	木戸、住吉、竹本、富山、平本、森野、渡辺

第2回	4/8 (金)	13:00～ 15:00	第1回継続研修振り返り、さろん阿品活動状況、やすらぎ・寄り添い活動状況、総会など	木戸、住吉、竹本、おと深山、平本、広兼、森野、渡辺
-----	------------	-----------------	--	---------------------------

\* 新型コロナ感染拡大のため、総会などが延期となり、運営推進委員会も2回(通常3回)しか開催出来なかった

### 3. さろん阿品

#### (1)ご利用者の状況(2022年3月31日現在)

男性1名 女性7名 合計8名

#### (2)利用状況

月	回数	利用者数	ボランティア	1回の利用者平均数	1回のボランティア平均数	主な活動内容
4	4	23	18	5.8	4.5	
5	-	-	-	-	-	緊急事態宣言期間のため 5/11～6/15 休み
6	2	14	8	7.0	4.0	Tさん利用開始 Nさん利用開始、終了
7	4	24	18	6.0	4.5	七夕 Nさん利用開始
8	2	12	8	6.0	4.0	まん延防止、緊急事態宣言期間のため 8/17～9/30 休み
9	-	-	-	-	-	緊急事態宣言期間のため休み
10	4	23	19	5.8	4.8	
11	4	24	16	6.0	4.0	文化祭 日赤実習生
12	3	20	12	6.7	4.0	日赤実習生 Fさん体験利用 クリスマス会
1	-	-	-	-	-	コロナ感染者拡大のため 1/11～3/15 休み
2	-	-	-	-	-	緊急事態宣言期間のため休み
3	2	13	8	6.5	4.0	Fさん利用開始
計	25	153	107	6.1	4.3	

### 4. 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(廿日市市委託事業)

#### (1)やすらぎ支援員養成基礎研修(認知症専門ボランティア養成基礎研修)

	内容	日時	参加者
第4回	講義①	2/25(金)10:00～12:00	11人
	講義②	2/25(金)12:45～15:45	11人
	緊急時の対応	3/23(水)10:00～12:15	11人
	講義③	3/4(金)10:00～14:00	10人

演習	3/7(月)か 3/11(金) 9:30~11:30	10人
	3/14(月)か 3/17(木) 9:30~11:30	10人
見学実習	3/12(土)~3/29(火)の1日	10人
訪問の心得	3/16(水)10:00~10:15	10人
体験談(協力:家族の会)	3/16(水)11:15~12:15	10人
活動報告会	3/16(水)10:15~11:15	11人
修了式	3/30(水)10:00~11:30	9人

- \* 2021年度やすらぎ支援員養成研修修了者 計9人
- \* コロナ禍により、事前の健康チェック、検温、手指消毒、広島コロナお知らせQR、ソーシャルディスタンス、換気などの対策を実施
- \* 今年度、コロナ感染拡大のため、日程を見直し、1回のみ開講(※第4回として)

#### (2) 第1回やすらぎ支援員継続研修

- ① 実施日:2022年2月26日(延期)→3月25日(金)
- ② 実施時間:10:00~11:30
- ③ 会場:ウッドワンさくらぴあ 小ホール
- ④ 内容:ア. やすらぎ支援員の活動報告(1事例)

イ. 市民に理解・協力いただきたい、廿日市市の認知症に関する取組の紹介

講師:廿日市市地域包括ケア推進G 佐々木 美砂 氏

- ⑤ 参加:38人

- \* コロナ禍により、事前の健康チェック、検温、手指消毒、広島コロナお知らせQR、ソーシャルディスタンス、換気などの対策を実施

#### (3) 第2回やすらぎ支援員継続研修→中止

(4) やすらぎ支援員登録者数 109人(2022年3月末日現在)

#### (5) 訪問状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ケース数	13	11	10	10	9	-	9	11	11	9	-	8	101
訪問回数	48	29	31	33	34	-	31	33	37	23	-	23	312
訪問時間	48.5	30.5	34.5	37.5	27.5	-	35.5	36.5	41.5	27.5	-	25	345

- \* 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市と協議の結果、8/27~9/30と1/28~3/6訪問中止
- \* 家族より新型コロナウイルス感染予防として訪問を一定期間休止するケースが1ケースあった

#### 5. 寄り添い訪問活動

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ケース数	3	3	3	2	1	-	2	3	3	3	-	2	25

訪問回数	7	7	5	4	3	-	5	8	6	3	-	3	51
訪問時間	7	7	5	4	3	-	5	8	6	3	-	3	51

\* やすらぎ支援事業に準じて 8/27~9/30 と 1/28~3/6 訪問中止

## 6. その他、活動啓発等

月	日	内 容
4	16	広島県キャラバン・メイト養成研修(国保会館)
6	7	日本赤十字広島看護大学(在宅看護論実習の一環で)
6	15	介護福祉士ファーストステップ研修
6	23	廿日市市キャラバン・メイト役員会
7	27	
10	18	広島県老人福祉施設連盟地域福祉拠点設立推進プロジェクト会議
1	13	
3	28	
8	3	廿日市市キャラバン・メイト役員会
8	12	認知症高齢者支援会議(あいプラザ)
9	13	廿日市市認知症事業受託者と廿日市市との意見交換会
9	16	廿日市中学校、施設での高齢者との交流中止に伴う講義
9	27	廿日市市高齢者事業者と国会議員の意見交換会
10	14	認知症高齢者支援会議(あいプラザ)
10	25	ワーク委員会(グループホームモデル研修検討)
11	11	認知症啓発活動(ティナコート)
2	22	廿日市市認知症初期集中支援チーム検討委員会
2	25	廿日市市キャラバン・メイト役員会
岩国 YMCA 国際医療福祉専門学校 介護福祉学科1年生、2年生(年間を通して講師として計 30 コマ)		

## VII. 個人情報保護推進委員会

1. 個人情報保護監査－未実施
2. 個人情報保護推進委員会－未実施

## VIII. 地域連携

1. 観察・見学(団体)－なし
2. 廿日市市福祉避難所開設訓練
  - (1) 企画会議－8/11, 9/28, 10/29
  - (2) 福祉避難所開設訓練
    - ① 日時: 2021 年 11 月 2 日(火)10:00～15:00

- ② 実施主体：廿日市市、廿日市高齢者ケアセンター
- ③ 実施場所：阿品台市民センター（災害対策本部・指定避難場所）、廿日市高齢者ケアセンター（福祉避難所）
- ④ 実施概要：大雨による土砂災害の危険が発生し、指定避難所に避難した高齢ご夫婦（夫は認知症）が、指定避難所で過ごすことが難しくなり、福祉避難所の開設要請、福祉避難所への移送・生活から介護保険サービスにつなぐまでを実施

#### IX. 廿日市高齢者ケアセンター各部署研究発表会

1. 実施日：2021年9月1日～9月30日 各部署で動画視聴

(1) 発表者

部門	部署名	職名	発表者	テーマ
施設部門	ケアハウス	生活相談員	小田 優子	支え合う暮らし作り ～「自己決定」の「見える化」～
在宅部門	認知症デイサービス係	生活相談員	田中 弘武	園芸活動を通して ～笑顔で野菜作り～

(2) 審査結果－最優秀賞：認知症デイサービス係、優秀賞：ケアハウス

(3) 廿日市・可部ブロック研究発表会に今回の発表した2事例を推薦

#### X. 清鈴園・廿日市高齢者ケアセンター研修システム

1. 清鈴園・廿日市高齢者ケアセンター研修システム運営

(1) 原則、毎月第3火曜日に委員会を開催

(2) コロナの市中感染状況を確認しながら、中止または日程を変更するなど対応した

(3) 前年度、中堅1研修のカリキュラムの見直しに着手し、尊厳、権利擁護、自己理解・他者理解、福祉の基本を中心とした内容に変更したが、コロナ禍により未開催

(4) 清鈴園・廿日市高齢者ケアセンターの基本的なOJTの仕組みを協議したが、次年度に取り組みは継続となった

2. 階層別研修の充実

(1) 新任研修

① 第1回（5月）

実施日	時間	会場	対象人数
5/10、11	9:00～18:00	清鈴園 ケアセンター	2名

② 第2回（10月）－中止（対象職員なし）

(2) 中堅1研修－中止（新型コロナウイルス感染対策の影響により、中堅2研修を優先開催することとしたため）

(3) 中堅2研修

① 第1回－中止（新型コロナウイルス感染拡大予防のため）

② 第2回

実施日	時間	会場	対象人数
12/16、3/10	9:00～18:00	ケアセンター	3名

※ 1月はコロナ禍のため日程を延期し、3/10に開催

(4) 指導者研修

実施日	時間	会場	対象人数
8/13、10/12	9:00～18:00	ケアセンター	3名

※ 9月はコロナ禍のため日程を延期し、10/12に開催

(5) 管理者研修－管理者層職員の交代があり、次年度以降に延期した

(6) 総合研修

① 中堅1、2総合研修

- \* コロナ禍及び人員不足により、総合研修の実施が計画通りに行えていない。
- \* 中堅1、2研修修了者は翌月いっぱいに総合研修が行えるよう、流れを見直した

② 指導的職員総合研修

- \* コロナ禍により、他の事業所への協力依頼が困難なため、引き続き中止とした
- \* 他施設からの受け入れーなし

XI. 廿日市市介護予防・生活支援員研修(廿日市市委託事業)

	内容	日時	参加者
第3回	講義①	10/1(金)10:00～14:45	5人
	講義②	10/8(金)10:00～14:45	6人
	講義③	10/13(金)10:00～14:45	5人
	実習	10/14～11/3	5人
	講義⑤ 修了式	11/4(木)	5人

	内容	日時	参加者
第5回	講義①	2/21(月)10:00～14:45	11人
	講義②	2/23(水)10:00～14:45	10人
	講義③	3/2(水)10:00～14:45	10人
	実習	3/3～3/22	9人
	講義⑤ 修了式	3/23(水)10:00～14:45	10人

\* 2021年度廿日市市介護予防・生活支援員研修修了者 計15人

\* 当初、第1回、第2回として企画していたが、コロナ禍により日程を複数回変更したため、第3回と第5回の開催となった

**XII. 廿日市市訪問介護員復職支援事業(介護のお仕事きっかけ講座)(廿日市市委託事業)**

**1. 講座型**

**(1) 開催状況**

	内容	日時	参加者
第2回	講義①	10/1(金)10:00~14:45	5人
	講義②	10/8(金)10:00~14:45	5人
	講義③	10/13(水)10:00~14:45	5人
	実習	10~11月平日	4人
	講義⑤	11/4(木)10:00~12:15	4人
修了式			

**(2) 受講者の状況及び受講後の就労状況**

	受講者	保有資格	受講後の介護就労など
第1回	A	介護福祉士	不明
	B	正看護師	特別養護老人ホーム阿品清鈴
	C	看護師	小児科
	D	初任者研修修了	広島市の介護事業所へ就職が決まり、職場体験中止
	E	看護師	くさのみ福祉会

	受講者	保有資格	受講後の介護就労など
第2回	F	生活援助従事者研修	不明
	G	介護福祉士	光風舎

\* 2021年度廿日市市介護のお仕事きっかけ講座受講者 計7人

**2. 体験型なし**

**3. 就職氷河期世代職場実習・体験事業**

(1) 経緯: ハローワーク廿日市より、事業の紹介があり、きっかけ講座受講者で、この事業に参加を希望した1名の体験を受入れることとした

(2) 内容: 希望する職場での実習受入れ

ア. 10月25日(月)9:30~13:00 特別養護老人ホーム清鈴園

イ. 10月27日(水)10:00~16:00 デイサービスセンター第2清鈴園

ウ. 11月1日(月)8:30~17:30 デイサービスセンター第2清鈴園

(3) 受講後の就労状況: 体験者より、特別養護老人ホーム阿品清鈴でケアワーカーとして就職したい意向があり、2022年1月入職

## **VIII. 廿日市市介護人材確保研修修了者コーディネート事業(きっかけ研修)(廿日市市委託事業)**

### **1. 就職フェア「介護職就職応援セミナー」**

(1)実施日:2021年11月12日(金)

(2)実施時間:13:30~16:00

(3)会場:山崎本社みんなのあいプラザ 1階 多目的ホール

(4)内容:介護職についての説明(廿日市市)

介護研修修了後の状況について(廿日市高齢者ケアセンター)

介護研修修了者からの声(修了者1名(さくらす大野))

(5)参加者:28名(参加企業5社)

### **2. 廿日市市介護人材確保研修修了者就職支援研修『きっかけセミナー』**

~『福祉の仕事』魅力発見!~

(1)実施日:2022年3月24日(木)

(2)実施時間:10:00~12:00

(3)会場:山崎本社みんなのあいプラザ 1階 多目的ホール

(4)内容:挨拶(廿日市市)

介護人材確保研修の現状報告(ケアセンター)

研修修了者からの現状報告など(修了者1名(第2清鈴園))

求人、資格取得に際しての利用可能な制度(ハローワーク)

福祉・介護就労的活動等の紹介(社協)

(5)参加者:11名(6事業所)

- \* 廿日市市、ハローワーク廿日市、廿日市市社会福祉協議会と連携して福祉介護人材確保の取り組みを協議することができた。廿日市市社会福祉協議会が行う人材確保協の取り組みとの協調・連動が課題であり、計画的に進めていく必要がある

## 【様式1】

## 地域福祉係 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	感染症や災害への対応力強化	BCPの作成にあたり、地域との協働・連携を視野に入れ参画する	小野	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCP策定委員会へ参加した</li> <li>福祉避難所開設訓練の開催を廿日市市と協議しながら準備している、その際にには地域の自主防災にも参加をしていただき、今後の地域との協働・連携に繋げる</li> </ul>
	自立支援・重度化防止・QOL向上	新たなボランティア活動様式を構築する (通年)	木村	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接高齢者に関わらない、ボランティア活動の在り方を調整中(職員の知人・むつみ会ー裁縫・手芸、地域の高齢者ーミトンづくり・書道のお手本書き、教会関係ー枕カバー、元職員ー季節作品、職員ー中庭整備、ケアハウス入居者ー裁縫など、特養ご利用者ー書道)</li> <li>今後、施設内の装飾活動などを入居者に打診していく</li> <li>社会福祉協議会へ相談し、学生ボランティアができることを協議していく</li> </ul>
	市民の会の活動支援	市民の会の運営支援、さらん阿品・やすらぎ支援訪問・寄り添い訪問の活動支援(通年)	木村・小野	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施した</li> <li>コロナの感染状況や緊急事態宣言等の自治体からの情報を伝え、活動の休止や環境整備などに取り組み感染予防に努めた</li> <li>ボランティアからコロナでサロンをやめたが、みんなの関係性を続ける機会が欲しいと相談あり、ボランティア活動(手芸等)をお願いし、定期的なじみのメンバーの集う機会を維持できている</li> </ul>
	地域福祉課題を把握し、必要な取り組みをすすぐる	ボランティア・講座受講者・介護教室参加者などの関係者から意識的に地域福祉課題をくみ取り、必要な取り組みを住民参画ですすめる(通年)	木村・小野	

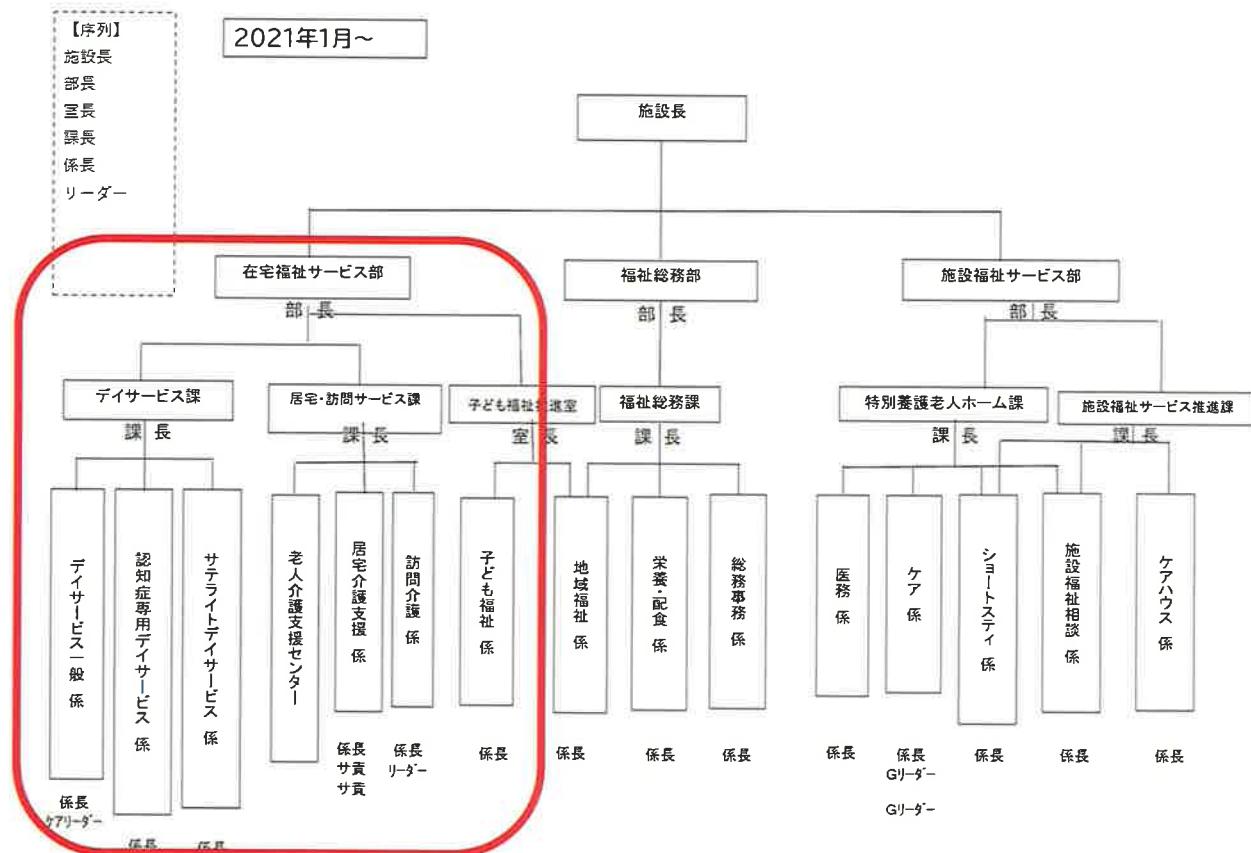
## 【様式1】

人材育成・働き甲斐の充実	定期的に係内の振り返りを実施(毎月)	小野・木村	・ 未実施(日々協議は行った)
2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営	制度の動向や地域の実情をふまえ、ボランティア活動や市民の会の活動支援を充実させる(通年)	小野・木村	・ 社会福祉協議会や廿日市市から施策の情報を得て、必要な情報は市民の会の研修企画に取り入れた
5 自立支援・重度化防止・QOL向上・地域福祉課題を把握し、必要な取り組みをすすめる	はつかい文化祭の在り方にについて協議をすすめる(～11月)	木村・小野	・ 5月から企画会議を開始し、コロナの状況に応じて書面開催にするなどの対応をしながら立案をすすめた
6			
7			
8			
9			
中間評価	《上半期の実践計画の進捗状況の評価》 該当する番号に○印→ 達成 5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1 未達	上記の評価理由 コロナ禍において、知りえた情報を基にできることはすすめていると判断したため	下半期の具体的取り組み等の修正あり・なし ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入 ↓下半期の取り組み追加訂正事項
10			
11			・ ハローワーク主催の介護職就職応援セミナー運営協力(11/12)(参加者28名)(参加企業5社)
12			・ 廿日市介護予防・生活支援員養成研修をコロナの市中感染状況を確認しながら、随時日程変更調整し開催。当初第1回5/21～6/25(中止)→

## 【様式1】

		第2回 9/8～10/13(中止)→第3回 10/1～11/4(開催)。第4回 1/26～3/2(中止)→第5回 2/21～3/16(開催)。廿日市市介護のお仕事「きつかけ講座」も同時開催。
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>はつかい文化祭企画会議で申し合わせした、さくらびあ美術ギャラリーでの展示会開催に向けて、会場予約抽選会に参加し、次年度の展示会開催のための会場確保ができた。</li> </ul>
2		<p>就労的活動支援コーディネーターとの連携</p> <p>→担当機関の廿日市市社会福祉協議会へアプローチし、就労的活動支援を含めた人災確保事業の在り方にについて協議した。協議で申し合わせした、導入セミナーを今年度は開催しないとの判断になり、協議以降の動きがとれていな。</p>
3		<p>福祉・介護就労セミナーの開催</p> <p>→ハローワーク、廿日市市等と共に開催した(3/24)(参加者11名)(参加企業6事業者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やすらぎ支援員養成基礎研修をコロナの市中感染状況を確認しながら、随時日程変更調整し開催。当初第1回 6/9～8/18(中止)→第2回 8/27～10/29(中止)→第3回 10/1～12/3(中止)。第4回 1/28～3/4(変更)→2/25～3/30(開催)。</li> </ul>

# 在宅福祉サービス部



居宅介護支援係

訪問介護係

デイサービスセンター一般係

サテライトデイサービス係

(サテライト係)廿日市一丁目集会所

(サテライト係)本町集会所

(サテライト係)地御前北二丁目集会所

認知症専用デイサービスセンター係

子ども福祉係

## 部 2021年度評価と2022年度に向けて

部名	在宅福祉サービス部	記入者氏名	小野誠之
----	-----------	-------	------

### 1. 2021年度の取り組みについて

2021年度の取り組みに対する評価	今後の取り組みについての考え方
<p>① デイサービス課は、体組成計の導入等の新たな試みも行ったが、コロナの影響もあり、年間を通して稼働率が低迷した。認知症型も稼働率は年間を通して低迷したが、職員の配置を見直すことにより、経営状況は改善した。しかし、家族支援を兼ねた懇談会も開催できず、十分な個別支援につながらなかった。サテライトデイサービス係は、緊急事態宣言等により集会所が使用できない期間があり、稼働率に影響した。また、予防教室は新たな利用者も増えず、PR が成果につながらなかった。本町デイはPR 活動の成果か、利用者や問い合わせも増加した。</p> <p>② 子ども福祉推進室は、新たな枠組みとして「居場所登録」制を導入し、利用終了後の居場所づくりに工夫した。また、定期的な会議や学校、担当課などとの随時の連携により、利用児童の増加につながった。高齢者との交流はコロナ禍により十分には取り組めなかつたが、ケアハウスささえの入居者の協力により交流の機会を設けることができた。2023 年度の自治体事業化に向けての協議の機会を持ち、企業の協力を得ることができた。</p> <p>③ 居宅・訪問介護課係は、新規の問合せ等に迅速に対応し、1年間を通して高い稼働率を維持することができた。また、職員の新たな体制づくりに向けて取り組みを進めた。</p>	<p>① PR 活動は対象や方法を評価しながら、効果的な PR に取り組む。</p> <p>② 引き続き関係機関との連携を強化し、利用児童の増加や連携による必要な支援、次年度に向けた体制作りをすすめる。</p> <p>③ 関係機関と連携を密にとり、稼働率の向上及び質の高い福祉サービスの提供を継続する。</p>

### 2. 2022年度重点的に取り組むこととその具体策

重点的に取り組むこと	具体策
<p>① 関係機関との連携の強化</p>	<p>① 廿日市市の組織体制が再編されたり、担当者の変更も考えられることから、新たな機関</p>

【様式2】

② 地域のニーズに基づく取り組みの推進	や担当者との連携を意識的に強化し、効果的な連携を図る。 ② 地域包括支援センターの運営や、重層的支援体制により、これまで把握できなかった地域のニーズを知り、各事業において工夫すると共に、既存の事業や活動にとどまらない創造的な取り組みを進める。
---------------------	--

## 室・課 2021年度評価と2022年度に向けて

室課名	デイサービス課	記入者氏名	菊地 皇太
-----	---------	-------	-------

### 1. 2021年度の取り組みについて

2021年度の取り組みに対する評価	今後の取り組みについての考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 引き続きコロナ禍にあり、新しい生活様式を続けながらの対応となった。しかしながらデイサービス内での感染拡大ということは起きておらず、新しい生活様式の徹底や、チーム全体で感染防止対策に取り組んだ結果と考えている。</li> <li>➤ デイサービス一般係はPR活動の効果が見られ、少しずつ稼働状況改善傾向が見られていたが、1月に利用者1名の新型コロナウィルス感染をきっかけに稼働率は再度低迷した。</li> <li>➤ サテライトデイサービス係は、緊急事態宣言や蔓延防止対策の影響で集会所が使えない期間が相当期間あり、稼働率に大きな影響があった。本町デイはサービス内容の見直しと、それに伴うPR活動に努め、登録者数が増加し定員状態となった。お~い予防教室については、新規問い合わせが減っており、稼働状況は低めで推移している。</li> <li>➤ 認知症デイサービス係は稼働率低迷から抜け出せていない。職員数の適正化を図ったことにより事業の継続はできたが、依然として厳しい状況が続いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 今後も引き続き取り組みつつも、「制限されている」ことを前提とせず、「この状況でできる」ことに力を注ぎたい。</li> <li>➤ PR活動は変化をつけながら継続していくことが必要と考えている。感染対策をしつつ、稼働状態を安定させ、必要に応じて職員数の適正化も検討する必要があると考える。</li> <li>➤ お~い予防教室の稼働状況改善のための取り組みを迅速に検討、実施する必要がある。本町デイは地域とのつながりについて、今後の進め方を検討する。</li> <li>➤ 経営改善会議で検討し、実施できていないことを早急に実施する。</li> </ul>

### 2. 2022年度重点的に取り組むこととその具体策

重点的に取り組むこと	具体策
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ サービスの質の向上を伴う稼働状況の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ チームワーク向上の取り組み</li> <li>➤ サービス内容の見直し</li> <li>➤ 保険外サービスの検討</li> <li>➤ 接遇マナーの向上</li> <li>➤ PR活動の強化</li> </ul>

## デイサービスセンター(一般型)

### I. 利用者の状況(3/31 現在)

総契約者数 78名(前年度 80名) 契約終了者 16名 実利用者数 63名

1日平均利用者数— 17.8756名(前年度 17.6289名)

稼働率— 59.42%(前年度 58.75%)

#### ① 年齢別状況

年齢	65未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	合計
男	0	0	1	2	2	4	5	6	20
女	1	0	0	6	8	18	14	11	58
合計	1	0	1	8	10	22	19	16	78
＼	最年少		最年長		平均年齢		全体平均年齢		
男	71歳		102歳		88.3歳		88.3歳		
女	58歳		104歳		88歳		(前年度 87.7歳)		

#### ② 地域別状況(小学校区別)

地域	廿日市	佐方	平良	原	金剛寺	四季が丘	宮内
人数	9	1	2	1	4	2	2

地御前	阿品台東	阿品台西	大野東	大野西	合計
人数	16	14	13	13	78

#### ③ 主な介護者

介護者	独居	夫	嫁	妻	娘	息子	甥姪	孫	兄弟	その他	合計
人数	12	9	5	12	26	12	0	2	0	0	78

#### ④ 要介護度別

介護度	事業対象者	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	6	6	4	2	1	20
女	2	3	5	19	10	9	8	2	58
合計	2	3	6	25	16	13	10	3	78

#### ⑤ 月別要介護度別利用者延べ人員と各種加算延べ数…別紙

## II. 研修実績

### (1)全体研修

実施日	内 容	時間	参加人数

### (2)介護技術研修(新任職員研修)

実施日	内 容	時間	参加人数

### (3)新人職員研修

実施日	内 容	時間	参加者	指導者

### (4)内部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者
4/16	中堅2職員対象階層別研修 他部署実習(居宅介護支援事業所第2清鈴園)	終日	大谷
4/19	2021年度事業計画、第8期介護保険事業計画の共通認識(デイルーム)	17:30～ 19:00	萬、沖野、鳥越、 小西、竹内、大 谷、川原、井植、 富春、山西
6/21	「コロナ禍において改めてフレイルについて考えて みましょう」(デイルーム)	17:30～ 18:20	山西、萬、沖野、 小西、大谷、川 原、角田、鳥越、 竹内
8/13	指導者層対象階層別研修	終日	沖野
9/13	科学的介護推進に関する評価(バーセルインデック ス) (デイルーム)	17:30～ 18:30	萬、沖野、鳥越、 小西、大谷、川 原、角田、森垣 内、井植、佐藤、 河野、富春、竹 内
10/12	指導者層対象階層別研修	終日	沖野
11/27	緊急対応事故予防研修Ⅰ 送迎場面(デイルー ム)	、17:30～ 19:00	山西、萬、沖野、 鳥越、小西、大 谷、川原、角田、 森垣内、竹内
12/23	「認知症への理解を深める」(デイルーム)	17:30～ 19:00	山西、萬、鳥越、 小西、大谷、川 原、角田、森垣 内、竹内

2月	緊急対応・事故予防研修Ⅱ 「介護現場での事故とその対応などについて」(資料配布)		全職員
----	--	--	-----

(5)外部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者
11/10、17	TA モデル研修 B コース(オンライン)	18:00～ 18:30	山西、 萬
11/11、18	TA モデル研修 C コース(オンライン)	18:00～ 18:30	沖野
11/27	第 78 回全国老人福祉施設大会 第 4 分科会(オンライン)	終日	山西

1. 講師実績※

(1)内部講師

実施日	内 容	時間	参加者(人数)

(2)外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間

2. 実習生※

期間	実習内容	実習生
10/5～7	日本赤十字看護大学「在宅看護論実習」	2名
10/20	廿日市のお仕事きっかけ講座	1名
11/9～11	日本赤十字看護大学「在宅看護論実習」	2名
12/15	日本赤十字看護大学「在宅看護論実習」	1名
3/19、24、 26、28	やすらぎ支援員養成基礎研修	4名
3/10	廿日市市介護のお仕事「きっかけ講座」	1名

3. ボランティア※

活動日	活動者名(団体の場合は団体名および代表者名)	活動内容	人数

4. 外部会議※

日付	会議名など	場所	時間	出席者

2021年度事業実績表 第2清鈴園 デイサービスセンター

續本實基

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		年度合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
登録者(実人数)	14	38	13	38	13	38	14	39	13	41	13	41	12	42	13	44	13	47	13	44	11	42	13	43	642																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要介護5	0	2	0	2	1	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	34																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要介護3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要介護2	4	6	4	5	4	5	4	7	4	8	0	8	0	7	0	7	0	7	0	7	1	8	1	8	104																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要介護1	5	8	4	8	4	8	5	7	4	7	5	7	4	8	5	8	5	8	4	8	4	8	4	8	144																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要支援1	4	12	4	13	3	5	3	13	4	13	5	12	5	13	5	15	5	16	5	14	4	14	5	16	208																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要支援2	0	6	0	6	0	5	0	6	1	6	1	5	1	5	1	5	1	5	1	3	1	3	1	3	66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要支援3	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
事業対象者	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
利用者(延べ人数)	113	333	104	324	103	337	124	364	109	344	101	313	86	370	100	403	97	408	73	289	85	325	106	380	5451																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要介護5	0	14	0	13	2	14	9	17	10	15	8	15	9	15	10	15	6	14	6	10	8	15	8	16	243																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要介護4	12	13	9	13	11	10	10	22	23	23	16	37	3	32	12	34	11	46	8	25	8	34	12	27	451																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要介護3	22	55	30	41	24	65	31	84	4	79	0	89	0	86	0	67	0	68	0	61	0	59	9	82	956																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
要介護2	41	82	32	80	35	75	39	75	35	123	31	131	35	126	35	101	45	101	47	121	48	147	46	142	33	106	43	119	48	152	1967																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
要支援1	38	116	33	123	31	131	37	0	37	0	39	4	37	3	34	3	27	5	32	4	35	3	16	3	18	2	14	2	14	403																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
要支援2	0	42	0	45	0	4	0	4	0	5	0	4	0	7	0	9	0	7	0	13	0	12	0	11	0	15	1	15	102																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
事業対象者	0	7	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
時間区分(延べ人数)	113	333	104	324	103	337	124	364	109	344	101	313	86	370	100	403	97	408	73	289	85	325	106	380	5451																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2~3未満	0	2	0	2	1	1	1	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3~4未満	0	4	0	5	1	2	1	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
4~5未満	27	27	25	23	23	27	36	26	48	24	45	32	50	28	43	31	57	30	43	25	41	27	37	35	48	840																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5~6未満	84	190	77	172	72	175	89	198	70	193	50	204	52	205	63	246	59	243	37	173	55	198	68	230	3203																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6~7未満	2	63	2	74	3	82	9	72	10	54	16	66	3	68	1	57	6	61	8	44	0	57	60	60	818																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7~8未満	0	53	0	54	0	42	43	4	52	3	53	3	53	3	57	4	55	3	55	3	32	2	37	3	32	561																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
総合事業(5~6未満)	1	8	3	8	2	5	0	4	1	3	4	3	4	3	4	0	4	1	2	3	12	3	8	1	8	90																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
入院・長居者(対象者数)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
要介護5	0	14	1	1	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
要介護3	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
要介護2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
要支援3	0	2	0	2	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
事業対象者	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
契約終了者(対象者数)	要介護5	0	14	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
要介護4	1	14	1	13	1	12	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
要介護3	1	13	1	12	1	12	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
要介護2	1	12	1	12	1	12	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
要支援3	0	2	0	2	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
事業対象者	新規(対象者数)	要介護5	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援1	要支援2	要支援3	要支援4	要支援5	要支援6	要支援7	要支援8	要支援9	要支援10	要支援11	要支援12	要支援13	要支援14	要支援15	要支援16	要支援17	要支援18	要支援19	要支援20	要支援21	要支援22	要支援23	要支援24	要支援25	要支援26	要支援27	要支援28	要支援29	要支援30	要支援31	要支援32	要支援33	要支援34	要支援35	要支援36	要支援37	要支援38	要支援39	要支援40	要支援41	要支援42	要支援43	要支援44	要支援45	要支援46	要支援47	要支援48	要支援49	要支援50	要支援51	要支援52	要支援53	要支援54	要支援55	要支援56	要支援57	要支援58	要支援59	要支援60	要支援61	要支援62	要支援63	要支援64	要支援65	要支援66	要支援67	要支援68	要支援69	要支援70	要支援71	要支援72	要支援73	要支援74	要支援75	要支援76	要支援77	要支援78	要支援79	要支援80	要支援81	要支援82	要支援83	要支援84	要支援85	要支援86	要支援87	要支援88	要支援89	要支援90	要支援91	要支援92	要支援93	要支援94	要支援95	要支援96	要支援97	要支援98	要支援99	要支援100	要支援101	要支援102	要支援103	要支援104	要支援105	要支援106	要支援107	要支援108	要支援109	要支援110	要支援111	要支援112	要支援113	要支援114	要支援115	要支援116	要支援117	要支援118	要支援119	要支援120	要支援121	要支援122	要支援123	要支援124	要支援125	要支援126	要支援127	要支援128	要支援129	要支援130	要支援131	要支援132	要支援133	要支援134	要支援135	要支援136	要支援137	要支援138	要支援139	要支援140	要支援141	要支援142	要支援143	要支援144	要支援145	要支援146	要支援147	要支援148	要支援149	要支援150	要支援151	要支援152	要支援153	要支援154	要支援155	要支援156	要支援157	要支援158	要支援159	要支援160	要支援161	要支援162	要支援163	要支援164	要支援165	要支援166	要支援167	要支援168	要支援169	要支援170	要支援171	要支援172	要支援173	要支援174	要支援175	要支援176	要支援177	要支援178	要支援179	要支援180	要支援181	要支援182	要支援183	要支援184	要支援185	要支援186	要支援187	要支援188	要支援189	要支援190	要支援191	要支援192	要支援193	要支援194	要支援195	要支援196	要支援197	要支援198	要支援199	要支援200	要支援201	要支援202	要支援203	要支援204	要支援205	要支援206	要支援207	要支援208	要支援209	要支援210	要支援211	要支援212	要支援213	要支援214	要支援215	要支援216	要支援217	要支援218	要支援219	要支援220	要支援221	要支援222	要支援223	要支援224	要支援225	要支援226	要支援227	要支援228	要支援229	要支援230	要支援231	要支援232	要支援233	要支援234	要支援235	要支援236	要支援237	要支援238	要支援239	要支援240	要支援241	要支援242	要支援243	要支援244	要支援245	要支援246	要支援247	要支援248	要支援249	要支援250	要支援251	要支援252	要支援253	要支援254	要支援255	要支援256	要支援257	要支援258	要支援259	要支援260	要支援261	要支援262	要支援263	要支援264	要支援265	要支援266	要支援267	要支援268	要支援269	要支援270	要支援271	要支援272	要支援273	要支援274	要支援275	要支援276	要支援277	要支援278	要支援279	要支援280	要支援281	要支援282	要支援283	要支援284	要支援285	要支援286	要支援287	要支援288	要支援289	要支援290	要支援291	要支援292	要支援293	要支援294	要支援295	要支援296	要支援297	要支援298	要支援299	要支援300	要支援301	要支援302	要支援303	要支援304	要支援305	要支援306	要支援307	要支援308	要支援309	要支援310	要支援311	要支援312	要支援313	要支援314	要支援315	要支援316	要支援317	要支援318	要支援319	要支援320	要支援321	要支援322	要支援323	要支援324	要支援325	要支援326	要支援327	要支援328	要支援329	要支援330	要支援331	要支援332	要支援333	要支援334	要支援335	要支援336	要支援337	要支援338	要支援339	要支援340	要支援341	要支援342	

## 2. 加算実績

### (1) 通所介護

月 性別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	年度合計	
入浴介助加算(Ⅰ)	55	152	51	149	53	168	6	198	55	177	44	195	48	204	59	195	90	191	46	130	51	150	68	172	2707	
個別機能訓練加算(Ⅰ)	17	61	15	63	15	54	22	56	18	52	6	59	8	73	20	76	19	79	15	53	26	60	32	78	977	
個別機能訓練加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ADL維持等加算(Ⅱ)	0	0	13	29	13	31	14	32	12	32	11	23	12	35	12	37	12	36	10	35	12	35	12	35	490	
若年性認知症受け入れ加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
口腔機能向上加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
口腔機能向上加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
認知症加算	19	97	30	107	25	115	40	138	25	124	28	131	22	133	23	133	18	150	16	108	20	129	30	162	1823	
同一建物減算	15	0	14	0	13	0	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	5	8	2	8	1	12	5
送迎減算	0	0	0	4	2	0	0	2	1	2	0	4	0	5	0	3	1	5	0	3	0	1	0	4	37	
合 計	106	310	123	352	121	368	94	426	123	387	90	421	89	438	126	442	15	467	97	332	115	376	154	456	6127	

### (2) 通所型サービス(総合事業)

月 性別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	年度合計										
若年性認知症受け入れ加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同一建物減算	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	4	0	1	0	2	0	4	0	2	0	3	0	23
運動器機能向上加算	0	6	0	6	0	3	0	4	1	7	1	6	1	7	1	8	1	5	1	6	0	4	0	4	76
栄養アセスメント加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔機能向上加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選択的サービス複数実施加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選択的サービス複数実施加算(Ⅱ)	0	9	0	9	0	6	0	7	1	10	1	9	1	10	1	9	1	10	1	8	1	7	0	7	108
事業所評価加算	0	15	0	15	0	9	0	16	2	19	2	20	2	17	2	18	2	22	2	15	2	16	0	11	207

## 【様式1】

## デイサービス一般係 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	人材育成・働き甲斐の充実 地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う	事業計画、実践計画の職員間での共有 第8期介護保険事業計画の職員間での共通認識	山西 沖野	資料をもとに計画について確認を行った。それぞれ職員の知らない情報もあり、今後のデイの方向性などを職員間で話す事が出来た。
5	人材育成・働き甲斐の充実	個別面談の実施	山西	面談の内容、進め方を課長と協議し、6月より実施する事となつた。
6	地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う	関係機関との連携強化の為の訪問、パンフレット配布 介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	山西 竹内 鳥越	空き情報が記載されたチラシを作成し、各居宅に訪問して配布を行つた。 訪問できていない居宅もあるので継続的に実施する。 フレイル予防で言われている事は第2清鈴園清鈴園のデイサービスでの取り組みがほぼあてはまつている。ご利用者へのプログラムの説明や意味を上手に伝える事が出来るよう、また自分たちのスキルアップにつながる研修となつた。
	人材育成・働き甲斐の充実	個別面談の実施	山西	看護職員の面談を実施した。 以前より看護師A(9:30～16:00)の就業時間を検討して欲しいとの要望があつた。まずは業務改善に取り組んでもらつていたが、現状時間内に業務をこなすのは難しい様子。各自就業開始時間の30分以上前に出勤し動いている。

## 【様式1】

			就業時間について検討する事を伝えている。
7			
8	感染症や災害への対応 力強化	災害マニュアルの見直し	山西 鳥越 災害マニュアルのチェックを行った。在籍していない職員名の記載があり、訂正の必要があつた。
9	自立支援・重度化防止・ QOL向上	バーセルインデックスの実施にあたって の研修	山西 バーセルインデックスを学ぶ事で、ご利用者の自立支援に向けて具体的にどのような事にアプローチすれば良いのかも学ぶ事ができた。新たに職員間での共通の視点が出来、とても有意義なものとなつた。
9	2021年度介護報酬改 定を踏まえた適正な事業 運営	自己点検シートの実施	山西 実施した。広島県の物は 2021 年度からの新加算や改定になつた内容がまだフォローされていないので合わせて内容の確認を行つた。主治医や関係機関との連携についての記録が残せていない事が多いので注意して記録に残す事が必要。
《上半期の実践計画の進捗状況の評価》			該当する番号に○印→　達成　5　・　④　・　3　・　2　・　1　未達
上記の評価理由			
中間評価 それぞれ着手は出来ているが、職員面談に関しては、介護職員に対して実施が出来ていない。業務時間内の実施が難しい事が要因にある。また、関係機関との連携強化の為の訪問、パンフレット配布についても思ったように実施ができていない事と、利用者増に上手く繋がっていない。広報用の素材の確保に力を入れ、空き情報と併せてお知らせする事で利用者の獲得を行いたい。			
下半期の具体的取り組み等の修正			あり　・　なし
ありの場合			ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入
			下半期の取り組み
10	地域包括ケアシステム・ 地域共生社会の構築に 向けた一翼を担う	関係機関との連携強化の為の訪問、パ ンフレット配布	山西 新たにチラシを作成。各居宅に訪問、配布を行つた。紹介したい人はいるが入浴や車椅子が難しそうなの でと話されるケースもあつた。体験 5 名で、その内 3

## 【様式1】

		名が来月より利用開始予定。
11	介護技術・認知症ケア技術・接遇マナーなど基礎力を高める研修(NPI-NH評価者尺度を活用した行動心理症状の評価)	接遇マナーの研修を予定していたが、認知症ケアに関する研修を実施していなかった為、予定を変更。11月の研修予定を12月に変更しテーマを変えて実施した。認知症世界の歩き方という書籍を参考に、認知症の人、本人からみた色々な視点を学ぶ事ができた。本人がどのように感じ、見ているから知る事で声のかけ方、関わり方がより丁寧に、相手に寄り添ったケアにつなげていける内容になつた。
12	人材育成・働き甲斐の充実	上半期と同様の職員体制で面談時間の確保が難しく 介護職員の面談は未実施となつた。
1	※事業計画の進捗状況を踏まえた取り組み	山西 同上
2	※事業計画の進捗状況を踏まえた取り組み	山西 同上
3	2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営	点検結果は適であった。加算の部分で過去の内容を示す箇所が多くあつたので、2021年度から開始の加算についても改めて確認した。ADL維持等加算に関しては来年度も現在取得しているもので良いかの判断に迷っている部分があるので早急に確認を行う。 →LIFE上にて確認可能。

## 本町デイサービス

### 1. 研修実績

#### (1)全体研修

実施日	内 容	時間	人数

#### (2)介護技術研修(新任職員研修)

実施日	内 容	時間	人数
	随時OJTにより実施		

#### (3)新人職員研修

実施日	内 容	時間	参加者	指導者

#### (5)外部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者

### 2. 講師実績※

#### (1)内部講師

実施日	内 容	時間	参加者 (人数)
5/11	職場の問題解決	9:30～10:30	3名

#### (2)外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間

### 3. 実習生※

期間	実習内容	実習生
10/6	在宅看護論実習	1名
11/10	在宅看護論実習	1名
12/15	在宅看護論実習	1名

### 4. ボランティア※

活動日	活動者名(団体の場合は団体名および代表者名)	活動内容	人数

### 5. 外部会議※

日付	会議名など	場所	時間	出席者

2021年度事業実績表 第2清金園本町集会所 テイサー・ピスセンター

## 2. 加算実績

(1) 通所介護

## (2) 介護予防通所介護

性別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		年度合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性											
苦年性認知症受け入れ加算																							0
同一建物減算																							0
運動器機能向上加算																							0
米改善加算																							0
口腔機能向上加算																							0
選択的サービス複数実施加算(Ⅰ)																							0
選択的サービス複数実施加算(Ⅱ)																							0
事業所評価加算																							0
合 計	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	3	0	3	0	2	2

## 本町集会所 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的な取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	I .感染症や災害への対応力強化 II .自立支援・重度化防止・QOL向上	課題の抽出を行う 委員会への参加(通年) 外部研修についての情報収集を行い、必要に応じて参加の検討を行う(通年)	萬	課長と相談し、今後の対応については指示を待っている
	III.地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う	サロンへ訪問できる環境を整える(通年)	萬	情報収集を行っているが、面談の結果、現状は外部研修より内部で対応が可能と判断した
	IV.人材育成・働き甲斐の充実	職員面談の実施に向けた調整 WiFi環境・タブレット端末の導入に向けた調整	萬	緊急事態宣言下でサロン 자체が休止しており実施できていない
	V.2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営	接遇マナーについての研修を実施する	萬	課長と相談し、事前・面談シート等の作成を行った。5月に完成した。
5	II .自立支援・重度化防止・QOL向上		萬	課長と相談し、7月に購入した。活動での活用やwifi環境が整ったことにより、業務の円滑化ができている。
	IV.人材育成・働き甲斐の充実	職員面談の実施	萬	実施した。
	V.2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営	自己点検(5月・2月)の実施	萬	面談シート等の作成があり6月より面談を実施。サテライト全職員の面談を終えている。
				実施した。

6	IV.人材育成・働き甲斐の充実	業務内容・帳票類の見直しを行う	全スタッフ	記録の書き方などの整理を行った。
7	II.自立支援・重度化防止・QOL向上	認知症ケアについての研修を実施する		緊急事態宣言があり、研修は延期した。9月に業務時間内で実施した。
8	II.自立支援・重度化防止・QOL向上			
9				
中間評価	《上半期の実践計画の進捗状況の評価》	該当する番号に○印→	達成 5・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">4</span> ・3・2・1 未達	
	上記の評価理由	概ね予定通りに実施した。昨年度の経営改善会議より対象者・活動・PR方法の見直しを行い、4月からは安定した稼働率を維持している。		
	下半期の具体的取り組み等の修正	あり・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>	ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入	
				下半期の取り組み追加訂正事項
10	IV.人材育成・働き甲斐の充実	職員面談の実施	萬	上半期の面談が後半になつたため、3月に実施した
11	II.自立支援・重度化防止・QOL向上	面談内容に応じて研修を実施する	萬	上半期に行つた面談により、認知症人のソーシャル・キャピタルについて12月に実施
12				
1	II.自立支援・重度化防止・QOL向上	面談内容に応じて研修を実施する		下半期の面談を3月に実施したため中止
2				
3				

## 地御前デイサービス

### 1. 研修実績

#### (1)全体研修

実施日	内 容	時間	人数

#### (2)介護技術研修(新任職員研修)

実施日	内 容	時間	人数
	随時OJTにより実施		

#### (3)新人職員研修

実施日	内 容	時間	参加者	指導者

#### (5)外部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者

### 2. 講師実績※

#### (1)内部講師

実施日	内 容	時間	参加者 (人数)
5/11	職場の問題解決	9:30～10:30	3名

#### (2)外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間
12/17	おしゃべりサロン 出前コグニサイズ	あいプラザ	萬	13:30～15:00

### 3. 実習生※

期間	実習内容	実習生
11/1	介護のお仕事きっかけ講座	1名

### 4. ボランティア※

活動日	活動者名(団体の場合は団体名および代表者名)	活動内容	人数

### 5. 外部会議※

日付	会議名など	場所	時間	出席者

デイサービスセンター 第2清鈴園地 御前北2丁目集会所 2021年度事業実績表

績本実基

## おへい予防教室 地御前 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的な取組	担当者	上半期の取り組み
4	I.感染症や災害への対応力強化	課題の抽出を行う 委員会への参加(通年)	萬	課長と相談し、今後の対応については指示を待っている
	II.自立支援・重度化防止・QOL向上	外部研修についての情報収集を行い、必要に応じて参加の検討を行う(通年)	全スタッフ	情報収集を行っているが、面談の結果、現状は外部研修より内部で対応が可能と判断した
	III.地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う	サロンへの継続訪問の実施(2ヶ月ごとに実施) 参加内容のデータ化(記録)	萬	緊急事態宣言下でサロン 자체が休止しており実施できていない
	IV.人材育成・働き甲斐の充実	職員面談の実施に向けた調整 WiFi環境・タブレット端末の導入に向けた調整	萬	課長と相談し、事前・面談シート等の作成を行った。5月に完成了。
	V.2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営	厚生労働省や国立長寿医療研究センターのデータを活用し、コグニサイズ(身体活動面)の研修を実施する	萬	課長と相談し、7月に購入した。活動での活用やwifi環境が整ったことにより、業務の円滑化ができる。
5	II.自立支援・重度化防止・QOL向上	職員面談の実施	萬	緊急事態宣言中の開催予定だったため、研修は取りやめた。
	IV.人材育成・働き甲斐の充実	自己点検(5月・2月)の実施	萬	面談シート等の作成があり6月より面談を実施。サテライト全職員の面談を終えている。
6	IV.人材育成・働き甲斐の	業務内容・帳票類の見直しを行う	全スタッフ	実施した。

7	充実		
8	Ⅱ・自立支援・重度化防止・QOL向上	認知症予防についての研修を実施する	緊急事態宣言があり、研修は取りやめた。また、職員から研修よりも予防教室の現状や今後の展開の仕方にについての話し合いのほうを先に行うべきではないかとの意見あり10月に会議を予定している。
9	《上半期の実践計画の進捗状況の評価》	該当する番号に○印→ 達成 5 · 4 · 3 · 2 · 1 未達	上記の評価理由 中間評価予定していた研修ができないため 3 とした。他については概ね実施し、面談については職員の SDS 向上に役立てている。昨年度より緊急事態宣言の影響を受け稼働率が低下している。上半年(6 月から)にはサンルームで実施しているが、8 月の緊急事態宣言では保険外の受け入れは中止とした。これ以上の悪化を防ぐために部署で経営改善の会議を 10 月に実施する予定としている。
10	IV. 人材育成・働き甲斐の充実	あり ● · なし	下半期の具体的取り組み等の修正 ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入 ↓ 下半期の取り組み追加訂正事項
11	Ⅱ・自立支援・重度化防止・QOL向上	面談内容に応じて研修を実施する	経営改善についての会議を行う。以下の研修についてもこの会議によっては内容を変更する。また、面談については上半期の実施が多くなったため、下半期中に実施する。 経営改善の会議の内容を優先し中止した。
12			

1		
2	II・自立支援・重度化防止・QOL向上	面談内容に応じて研修を実施する
3	IV・人材育成・働き甲斐の充実	職員面談の実施 一人を除き面談を実施した。

## 廿日市デイサービス

### 1. 研修実績

#### (1)全体研修

実施日	内 容	時間	人数

#### (2)介護技術研修(新任職員研修)

実施日	内 容	時間	人数
	随時OJTにより実施		

#### (3)新人職員研修

実施日	内 容	時間	参加者	指導者

#### (5)外部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者

### 2. 講師実績※

#### (1)内部講師

実施日	内 容	時間	参加者 (人数)
5/11	職場の問題解決	9:30～10:30	3名

#### (2)外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間
12/17	おしゃべりサロン 出前コグニサイズ	あいプラザ	萬	13:30～ 15:00

### 3. 実習生※

期間	実習内容	実習生
10/7	在宅看護論実習	1名
10/21	介護のお仕事きっかけ講座	1名
11/11	在宅看護論実習	1名
11/18	介護のお仕事きっかけ講座	1名
12/16	在宅看護論実習	1名

### 4. ボランティア※

活動日	活動者名(団体の場合は団体名および代表者名)	活動内容	人数

### 5. 外部会議※

日付	会議名など	場所	時間	出席者

ディサービスセンター第2清掃園廿日市一丁目集会所 2021年度事業実績表

1. 基本実績

性別 月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
登録者(実人数)AM	3	6	3	6	3	6	2	5	1	6	1	6	1	6	1	6	1	6	1	6	1	6	1	6	89	
要支援2	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		12	
要支援1																									0	
事業対象者	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	19	
非該当	2	3	2	3	2	3	1	3	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	58	
登録者(実人数)PM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2																									0	
要支援1																									0	
事業対象者																									0	
非該当																									0	
利用者(延べ人数)AM	14	20	4	8	8	16	10	17	4	17	0	10	4	18	4	19	4	17	1	7	1	9	5	16	233	
要支援2	5		2		4		5		4		5		5		3		3		3		3		4		3	45
要支援1																									0	
事業対象者	5	5	2	2	4	4	5	5	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4	3	4	65	
非該当	9	10	2	4	4	8	5	7	4	9	0	0	0	0	4	11	4	12	4	9	1	1	1	5	123	
利用者(延べ人数)PM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2																									0	
要支援1																									0	
事業対象者																									0	
非該当																									0	
入院・長欠者(実人数)AM	0	2	0	2	1	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	2	19	
要支援2																									0	
要支援1																									0	
事業対象者	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		3	
非該当																									16	
入院・長欠者(実人数)PM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2																									0	
要支援1																									0	
事業対象者																									0	
非該当																									0	
契約終了者(実人数)AM	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2																									0	
要支援1																									0	
事業対象者																									0	
非該当																									0	
契約終了者(実人数)PM	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2																									0	
要支援1																									0	
事業対象者																									0	
非該当																									0	
新規(実人数)AM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2																									0	
要支援1																									0	
事業対象者																									0	
非該当																									0	
新規(実人数)PM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2																									0	
要支援1																									0	
事業対象者																									0	
非該当																									0	
開所日数	5	4	4	5	4	5	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	52		
平均利用者数	6.8	3	6	5.4	6	5.25	2	5.5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	2.5	4.2	4,480,769	

## おへい予防教室 廿日市 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的取組	担当者	
4	I.感染症や災害への対応力強化	課題の抽出を行う 委員会への参加(通年)	萬	課長と相談し、今後の対応については指示を待っている
	II.自立支援・重度化防止・QOL向上	外部研修についての情報収集を行い、必要に応じて参加の検討を行う(通年)	全スタッフ	情報収集を行っているが、面談の結果、現状は外部研修よりも内部で対応が可能と判断した
	III.地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う	サロンへの継続訪問の実施(2ヶ月ごとに実施) 参加内容のデータ化(記録)	萬	緊急事態宣言下でサロン 자체が休止しており実施できていない
	IV.人材育成・働き甲斐の充実	職員面談の実施に向けた調整 WiFi環境・タブレット端末の導入に向けた調整	萬	課長と相談し、事前・面談シート等の作成を行った。5月に完成した。
			萬	課長と相談し、7月に購入した。活動での活用や wifi 環境が整ったことにより、業務の円滑化ができている。
5	II.自立支援・重度化防止・QOL向上	厚生労働省や国立長寿医療研究センターのデータを活用し、コグニサイズ(身体活動面)についての研修を実施する	萬	緊急事態宣言中の開催予定だため、研修は取りやめた。
	IV.人材育成・働き甲斐の充実	職員面談の実施	全スタッフ	面談シート等の作成があり6月より面談を実施。サテライト全職員の面談を終えている。
	V.2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事	自己点検(5月・2月)の実施	萬	実施した。

	業運営			
6	IV.人材育成・働き甲斐の充実	業務内容・帳票類の見直しを行う	全スタッフ	実施した。
7				
8	II.自立支援・重度化防止・QOL向上	認知症予防についての研修を実施する		緊急事態宣言があり、研修は取りやめだ。また、職員から研修よりも予防教室の現状や今後の展開の仕方にについての話し合いのほうを先に行うべきではないかとの意見あり10月に会議を予定している。
9		《上半期の実践計画の進捗状況の評価》		
		該当する番号に○印→	達成 5 · 4 · 3 ( ) · 2 · 1 未達	
		上記の評価理由		
中間評価		予定していた研修ができていないため3とした。他については概ね実施し、面談については職員のSDS向上に役立てている。昨年度より緊急事態宣言の影響を受け稼働率が低下している。上半年(6月から)にはサンルームで実施しているが、8月の緊急事態宣言では保険外の受け入れは中止とした。また、廿日市に關しては保険内の登録者数も減少しており、これ以上の悪化を防ぐために部署で経営改善の会議を10月に実施する予定としている。		
下半期の具体的取り組み等の修正 入		あり ( ) · なし	ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入	
10	IV.人材育成・働き甲斐の充実	職員面談の実施	萬	下半期の取り組み追加訂正事項 経営改善についての会議を行う。以下の研修についてもこの会議によっては内容を変更する。また、面談については

		上半期の実施が多くなつたため、下半期 中に実施する。
11	II・自立支援・重度化防 止・QOL 向上	面談内容に応じて研修を実施する  萬
12		経営改善の会議の内容を優先し中止し た。
1		
2	II・自立支援・重度化防 止・QOL 向上	上半期の面談の遅れにより下半期の面 談が 3 月を予定しており、未実施。  一人を除き面談を実施した。
3	IV・人材育成・働き甲斐 の充実	

## 認知症デイサービス係

総契約者数 28名(前年度29名) 契約終了者 14名 実利用者数 14名

1日平均利用者数—5.8名(前年度5.36名)

稼働率(12名定員で算出)—48.5% (前年度44.7%)

### ① 年齢別状況

年齢	～69歳	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95以上	計
男	1	1	1	0	2	0	0	5
女	0	3	1	0	2	2	1	9
計	1	4	2	0	4	2	1	14
最年少		最年長		平均年齢		全体平均年齢		
男	68歳		88歳		78.4歳		81.36歳	
女	71歳		96歳		83歳		(前年81.6歳)	

### ② 地域別状況

人数	佐方	廿日市	平良	原	四季ヶ丘	宮園	宮内	合計
	1	3	1	0	1	0	0	14名
金剛寺	地御前	阿品台西	阿品台東	大野東	大野西			
1	3	1	0	3	0			

### ③ 主な介護者

人数	独居	嫁	妻	娘	夫	息子	孫	合計
	1	1	4	1	5	2	0	14名

### ④ 認知症性老人自立度

人数	I	IIa	IIb	III	IIIa	IIIb	IV	M	合計
	0	0	2	0	8	1	1	2	14名

### ⑤ 月別要介護度別利用者延べ人員と各種加算延べ数…別紙

#### 1. 研修実績

##### (1) 全体研修

実施日	内 容	時間	参加人数

--	--	--

(2)介護技術研修(新任職員研修)

実施日	内 容	時間	参加人数
	随時OJTにより実施		

(3)新人職員研修

実施日	内 容	時間	参加者	指導者

(5)外部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者

2. 講師実績※

(1)内部講師

実施日	内 容	時間	参加者(人数)
5/10	新任研修 チームワーク リーダーシップ	16:10~17:30	2名
3/10	中堅 2 職員 チームワーク リーダーシップ コミュニケーション	13:00~15:30	3名

(2)外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間

3. 実習生※

期間	実習内容	実習生
10/5~6	日赤看護大学在宅看護論実習	2名
10/20、27、29	廿日市市介護のお仕事『きっかけ講座』	3名
11/9~11	日赤看護大学在宅看護論実習	4名
12/14~16	日赤看護大学在宅看護論実習	1名
3/15、18、19、21、25	やすらぎ支援員養成基礎研修実習	4名

4. ボランティア※

活動日	活動者名(団体の場合は団体名および代表者名)	活動内容	人数

5. 外部会議※

日付	会議名など	場所	時間	出席者

## 認知症デイサービス係

### 1. 研修実績

#### (1)全体研修

実施日	内 容	時間	参加人数

#### (2)介護技術研修(新任職員研修)

実施日	内 容	時間	参加人数
	随時OJTにより実施		

#### (3)新人職員研修

実施日	内 容	時間	参加者	指導者

#### (5)外部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者

### 2. 講師実績※

#### (1)内部講師

実施日	内 容	時間	参加者 (人数)
5/10	新任研修 チームワーク リーダーシップ	16:10～17:30	2名
3/10	中堅2職員 チームワーク リーダーシップ コミュニケーション	13:00～15:30	3名

#### (2)外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間

### 3. 実習生※

期間	実習内容	実習生
10/5～6	日赤看護大学在宅看護論実習	2名
10/20、27、29	廿日市市介護のお仕事『きっかけ講座』	3名
11/9～11	日赤看護大学在宅看護論実習	4名
12/14～16	日赤看護大学在宅看護論実習	1名
3/15、18、19、21、25	やすらぎ支援員養成基礎研修実習	4名

**4. ボランティア※**

活動日	活動者名(団体の場合は団体名および代表者名)	活動内容	人数

**5. 外部会議※**

日付	会議名など	場所	時間	出席者

# 認知症専用デイサービスセンター 第2清鎌園 2021年度事業実績表

## 1. 基本実績

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
登録者(実人数)	6	11	6	11	6	10	6	10	7	11	5	12	5	10	6	11	5	12	5	12	4	10	5	8
要介護5	1	2	1	2	1	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
要介護4	3	1	3	1	3	0	3	1	2	2	2	1	3	1	2	1	2	1	1	0	1	0	0	0
要介護3	2	5	2	7	2	7	2	6	3	7	3	7	3	7	3	8	3	7	3	6	114	38	6	
要介護2	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9
要介護1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者(延べ人数)	61	106	66	105	51	96	42	95	61	100	55	114	54	101	56	99	30	104	36	98	29	103	32	91
要介護5	13	26	13	30	12	29	0	31	0	29	0	30	0	29	0	30	0	23	0	30	0	29	0	31
要介護4	33	7	34	4	22	0	25	9	18	8	15	10	14	9	15	8	13	8	13	3	8	0	8	0
要介護3	15	41	19	64	17	61	15	53	34	57	40	64	40	63	41	58	17	62	23	54	21	65	23	60
要介護2	0	8	0	7	0	6	2	2	9	6	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	51
要介護1	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時間区分(延べ人数)	61	106	66	105	51	96	42	95	61	100	55	114	54	101	56	99	30	104	36	98	29	103	32	91
2~3未満	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
3~4未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
4~5未満	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
5~6未満	0	1	1	3	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	72
6~7未満	8	10	9	2	9	2	6	1	6	6	7	3	9	0	7	6	2	6	7	5	2	7	0	96
入院・長次者(実人数)	53	92	56	100	42	88	36	90	55	88	48	104	45	95	47	92	22	96	25	93	21	103	22	90
要介護5	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約件終了者(実人数)	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
新規実人数	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規契約者の担当居宅内訳	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1

## 2. 加算実績

### (1) 認知症対応型通所介護

性別	月												年度合計																	
	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月		
入浴介助加算	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性										
個別機能訓練加算	28	73	31	72	24	61	18	67	23	71	16	83	17	79	19	75	20	80	80	19	72	20	81	22	71	1142	0	0	0	0
若年性認知症受付入れ加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栄養改善加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔機能向上加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同一建物減算	0	13	0	13	0	13	0	13	0	13	0	15	0	15	0	14	0	15	0	13	0	10	0	8	0	9	151	28	86	31
合計	28	86	31	85	24	74	18	80	23	86	16	98	17	93	19	90	20	93	19	82	20	89	22	80	1293	0	0	0	0	

## (2)介護予防認知症対応型通所介護

## 【様式1】

## 認知症デイサービス係 取り組み及び評価

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4 適正な事業運営	係内研修Ⅰ「事業計画の共有」	田中	4/19 の係内会議の中で実施。	
5 人材育成・働き甲斐の充実	職員面談の実施	田中	面談のテーマが決まらなかつたため未実施。 10月に実施予定。	
6 自立支援・重度化防止・QOL向上	ご家族のニーズ把握に努め、懇談会及び勉強会を企画する	田中	緊急事態宣言が発令中だつたため、未実施。 電話等で、ご利用者及びご家族の状況把握に努めた。	
7 人材育成・働き甲斐の充実	係内研修Ⅱ「研究発表に向けての取り組み」	田中	研究発表の資料作成ができるないため、延期した。係内研修としては実施できなかつたが、資料作成に関して、適宜職員と相談しながら作成に努めた。	
8 人材育成・働き甲斐の充実	係内研修Ⅲ「専門性を高める研修①感染症予防」	田中 栗原	緊急事態宣言の発令と研究発表の資料作成ができるないため、延期した。 11月を目標に実施する予定。	
9 地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う	運営推進会議で関わる民生委員との関係を深める	田中	緊急事態宣言が発令中だつたため、書面にて実施した。	
適正な事業運営	自己点検実施	田中	10月中旬には、実施予定。	
《上半期の実践計画の進捗状況の評価》	該当する番号に○印→	達成 5 • 4 • 3 • 2 • 1 未達		
中間評価	上記の評価理由 ・上半期は、コロナ禍の中、緊急事態宣言が2回も発令された事があり、係内会議や係内研修に十分な時間が取れなかつた。 ・家族介護者懇談会が実施出来なかつたが、ご自宅に電話をする頻度を増やした。また、相談員が送迎に出る頻度を増やし、ご家族の状況を把握する様に努めた。必要に応じて、個別でご自宅を訪問し、お話を伺う機会を持った。 ・研究発表については、チームスタッフのモチベーションを上げる事が難しく、チーム一丸で取り組む事が出来なかつた。 ・これまで4人での職員体制だったが、3人での職員体制が増えている。現状、協力しながら業務を行っているが、負担が偏り始めている。その為、3人体制でも効率良く業務を行える様に役割を検討していく。			

## 【様式1】

下半期の具体的取り組み等の修正		あり	なし	ありの場合	ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入
下半期の取り組み追加訂正事項					
10	人材育成・働き甲斐の充実	係内研修Ⅲ「専門性を高める研修②接遇」 職員面談の実施	岸田若宮	緊急事態宣言は終了したが、密になる事を回避したため未実施。12/20に実施した。	
11	人材育成・働き甲斐の充実	緊急対応・事故予防研修Ⅰ「送迎場面」	田中萬	全職員と実施した。 11/27に実施した。	
12	自立支援・重度化防止・QOL向上	ご家族のニーズ把握に努め、懇談会及び勉強会を企画する	田中	密になる事を回避したため、未実施。電話や送迎時に訪問し、ご利用者やご家族の状況把握に努めた。	
1	人材育成・働き甲斐の充実	係内研修Ⅳ「専門性を高める研修③認知症」	田中竹下	陽性者が増加してきた為、用心して未実施。3/24に実施した。	
2	人材育成・働き甲斐の充実	緊急対応・事故予防研修Ⅱ「デイルーム」	山西萬	書面にて開催した。	
3	地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う適正な事業運営	運営推進会議で関わる民生委員との関係を深める	田中	まん延防止等重点措置の発令中だった為、書面にて開催した。	
		自己点検実施	田中	作成中。	

## 室・課 2021年度評価と2022年度に向けて

室課名	居宅・訪問サービス課	記入者氏名	小野誠之
-----	------------	-------	------

### 1. 2021年度の取り組みについて

2021年度の取り組みに対する評価	今後の取り組みについての考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問介護係について、新規の問合せに迅速に対応し、1年間を通して高い稼働率を維持することができた。コロナ禍で定期的な研修や会議が開催できない時もあったが、随時のミーティングを行うことで情報共有につながった。職員の新たな体制づくりに向けて取り組みを継続した。</li> <li>・ 居宅介護支援係は、年間を通して、特に地域包括支援センターから新規の依頼があり、安定した担当件数を受け持つことができた。また、コロナ禍でもWebを活用して研修や会議等に参加でき、資質向上の取り組みができた。地域包括支援センター受託のために、年度末に向けて体制交替やその準備に追われたが、次年度に向けての体制づくりを進めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き研修等を通じ、職員全員の全体的な資質の向上を目指すが、職員一人ひとり、課題を明確にすることに取り組みたい。</li> <li>・ 訪問介護係及び居宅介護支援係は、新たな体制づくりが最重要課題と認識している。</li> </ul>

### 2. 2022年度重点的に取り組むこととその具体策

重点的に取り組むこと	具体策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問介護係、居宅介護支援係とともに、新たな体制づくりと、それぞれの地域包括支援センターとの連携に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体制づくりについては、個人面談を定期的に行ない計画的に進める。</li> <li>・ 特に包括はつかいち東部及びケアセンターの所在する生活圏域である西部との連携を意識的にすすめる。</li> </ul>

## 居宅介護支援事業

### I 利用者の状況

#### 1. 月別居宅介護及び支援(ケアマネジメント)新規契約件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者					2			1			1		4
(内原爆)					1						1		2
要支援1		1		3	2	3	3	3	3				18
(内原爆)													0
要支援2	1			1	2		2			1			7
(内原爆)				1									1
要介護1	1	2	1		4		1	2	3	1			15
(内原爆)			1		1		1		1				4
要介護2			1	1	4				2		1		9
(内原爆)				1							1		2
要介護3	1	1					1						3
(内原爆)		1											1
要介護4				1									1
(内原爆)													0
要介護5													0
(内原爆)													0
計	3	4	2	6	14	3	7	6	8	1	3	0	57
原爆計	0	1	2	1	2	0	1	0	1	0	2	0	10

※今年度低所得者契約無し

#### 2. 契約廃止 月別件数、理由

廃止	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	3	3	8	4	1	3	2	7	8	4	1	4	48

理由 : 自立0件、死亡 10件、 入院・入所 36件、 居宅変更 2件、 転居 0件、

### 3. 月別居宅介護支援(ケアマネジメント)・サービス作成数(実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	5	5	5	5	6	6	6	7	7	7	8	8	75
要支援1	25	24	26	26	30	34	33	36	38	39	37	34	382
要支援2	46	44	43	43	45	45	46	50	52	47	48	45	554
要介護1	65	64	65	60	61	60	58	60	59	55	57	60	724
要介護2	41	40	38	39	41	40	38	41	44	44	42	39	487
要介護3	23	24	27	29	29	26	28	29	30	31	27	28	331
要介護4	11	11	11	10	10	11	13	11	10	10	11	11	130
要介護5	9	10	11	9	8	9	9	9	8	8	8	8	106
介護予防・ケアマネジメント合計	76	73	74	74	81	85	85	93	97	93	93	87	1011
介護保険合計	149	149	152	147	149	146	146	150	151	148	145	146	1778
総合計	225	222	226	221	230	231	231	243	248	241	238	233	2789

### 4. 月別申請代行及び訪問調査受託件数の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
申請代行	12	12	8	12	8	20	18	14	8	15	8	5	140
認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 5. サービス担当者会議 月別開催件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防	6	5	5	8	10	6	8	14	11	3	6	3	85
介護	19	19	20	20	21	19	22	15	19	10	18	11	213
計	25	24	25	28	31	25	30	29	30	13	24	14	298

## II 研修の実施状況

### 1. 内部研修

実施日	内容	参加者
7/28	介護保険制度改正再確認	7名
12/22	事例検討会(家族から最低限度必要な援助はあるが、ほぼ放置状態の暮らしを送っている事例)	7名
1/26	事例検討会(認知症による攻撃的な言動や徘徊により、在宅介護が難しくなっている事例)	7名
2/22	事例検討会(ケアハウスで支援を受けながら生活している夫婦の事例)	7名
3/23	事例検討会(認知症の進行により問題行動が増え、在宅介護が困難になってきた事例)	7名

### 2. 外部研修

実施日	研修名	場所	出席者
7/15	廿日市市介護支援専門員連絡協議会 令和3年度第2回勉強会「夏場の感染対策」	あいプラザ	齊内・川村 高本・益田
7/30	はつかいち見守り安心ネットワーク説明会	あいプラザ	山野
8/2	廿日市市介護支援専門員連絡協議会 令和3年度第1回勉強会(延期分) 「廿日市市における災害での多種職連携」	廿日市市役所	山野・瀬戸口・川村 高本・齊内
8/3	広島県認定調査員新規研修	オンライン	益田
8/12	令和3年度介護支援専門員勉強会(包括主催) ・自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント ・短期集中訪問型サービスの紹介 ・介護報酬改定に伴う基準改正等	オンライン	山野・川村・瀬戸口 高本・益田・藤富・ 齊内
8/19	廿日市市介護支援専門員連絡協議会 令和3年度第3回勉強会「調剤薬局の在宅薬剤管理について」	あいプラザ	山野・瀬戸口・藤富
10/15	廿日市市介護支援専門員連絡協議会 令和3年度第5回勉強会 「生活支援センター(仕事内容)について」	あいプラザ	山野・川村 瀬戸口・齊内
10/18	廿日市市主任介護支援専門員勉強会 廿日市市における災害での多種職連携	大野東市民センター	山野・川村 瀬戸口・齊内
11/11	令和3年度第1回廿日市西部地域ケア会議 廿日市西部地域の防災を考える	さくらぴあ	高本・瀬戸口
11/26	廿日市市介護支援専門員連絡協議会 令和3年度第6回勉強会 「口腔がんの基礎知識」	あいプラザ	山野・川村 益田・藤富
12/7	廿日市社会福祉協議会 令和3年度第1回ささえあいのまちづくり情報交換	あいプラザ	山野
12/16	令和3年度介護サービス事業者集団指導研修	オンライン	白木・齊内
12/17	廿日市市介護支援専門員連絡協議会 令和3年度第8回勉強会「認知症の理解を深める」	あいプラザ	山野・高本 瀬戸口
12/21	令和3年度第2回廿日市西部地域ケア会議 「その人らしさ」を引き出す ~これから手帳の活用~	さくらぴあ	高本・益田
12/24	福祉保健部高齢介護課 令和4年度からの地域包括支援センター廿日市の体制	あいプラザ	山野・川村 益田

2/17	令和3年度実務研修実習指導者養成研修	オンライン	川村・瀬戸口 齊内
2/15	地域包括支援センターはつかいち主催 「本人らしく生活するために～成年後見人制度と要介護施設従事者等による高齢者虐待について～」	オンライン	山野・川村・瀬戸口 高本・益田・藤富・ 齊内
2/24	広島県西部地域保健対策協議会主催 在宅緩和ケア研修	オンライン	山野・川村・瀬戸口 高本・益田・藤富・ 齊内
2/24	令和3年度事例検討会 「夫に対して物取られ 妄想から暴力と変わり自宅での生活が困難になっ た事例」	オンライン	川村・齊内
3/1	令和3年度第3回廿日市市自立支援型個別ケア会 議の傍聴	オンライン	山野・齊内
3/7	令和3年度主任介護支援専門員のための実習指 導者養成研修	オンライン	川村・瀬戸口・齊 内
3/18	令和3年度在宅医療・介護関係職種連絡会 「最後の最後まで救急車を呼ばないために」 ～在宅で看取りでの家族支援～	交流プラザ	山野
3/19	多種職連携研修会 第七派に備えて感染に強い地域を目指して	オンライン	山野・齊内
3/23	廿日市市地域包括支援センター 主催 虐待事例の主任介護支援専門員の対応	市役所	川村・瀬戸口 齊内
3/23	第3回地域リハビリテーション活動支援関係者連絡 会	あいプラザ	山野

### 3. 出張介護教室参加

実施日	対象	参加者	内容
4/16	阿品二丁目元気サロン	高本	介護予防教室
6/24	地御前4丁目集会所(田屋集会所)	益田	介護予防教室
	大野東市民センター	高本	介護予防教室

### 4. 他法人合同ケアマネジメント事例検討会

実施日	参加居宅介護支援事業所	参加者	他法人参加者数	内容
3/15	土谷阿品・みずほ・第2清鈴園	山野・高本・川村 瀬戸口・益田・藤富 齊内	書面開催	事例検討1題

### 5. 実習生

受入れ日	実習内容	実習生数
5/18～5/20	日赤看護大学「在宅看護論」実習	4名
6/8～6/10	日赤看護大学「在宅看護論」実習	4名
10/5～10/7	日赤看護大学「在宅看護論」実習	4名
11/9～11/11	日赤看護大学「在宅看護論」実習	3名
12/14～16	日赤看護大学「在宅看護論」実習	4名

## 居宅介護支援係 取り組み及び評価

月 通 年	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
1 人材育成・働き甲斐の充 実	① 朝のミーティングを活用し個々の利用者の状況を 共有する ② 日々の業務でキヤッチした困りごとを係内会議で 共有・検討を行う ③ 介護ソフト等の活用による業務の効率化	瀬戸口 益田	①②主に朝のミーティングでタイムリーに利 用者の状況を共有することを行っている。 ③実現していない	
2 地域のニーズを意識し、 サービス提供を行う	① 行政・各種・専門職団体等が行う研修会・事例検 討会等に参加する ② 出張介護者教室へ参加する ③ 日赤看護大学「在宅看護論」実習受入れ ④ ホームページの更新 ⑤ 主任介護支援専門員更新研修・介護支援専門 員更新・専門研修Ⅱ(8月～2月)	山野 山野	①②コロナ禍で研修会、検討会等が減って いるが、開催されるものには出来るだけ参加 をしている。 ③コロナ禍のため、大学に赴き実習を行つた ④積極的に出来ることが出来ていない、 ⑤予定通り研修を受けている。	
3 法令遵守	① 介護報酬改定内容の再確認	高本・川 村	①4/28 及び7/28 の係内会議で内容の再確 認を行つた。	
4 感染症や災害への取組	① 感染症や災害時を想定したマニュアルの検討	山野	②5/26 の係内会議で介護施設・事業所にお ける自然災害発生時の業務継続計画 (BCP)について話し合いを行つた。	
5 地域のニーズを意識し、 サービス提供を行う	① 他法人合同ケアマネジメント事例検討会・地域ケ ア会議の振り返りを行う	山野	①新型コロナ感染予防に伴い、昨年 1 回し か開催出来ていなかつたため延期。	
6 地域のニーズを意識し、 サービス提供を行う	① 他法人合同ケアマネジメント事例検討会・地域ケ ア会議の展開を検討 ② 他法人合同ケアマネジメント事例検討会	山野	①新型コロナ感染予防に伴い、昨年 1 回し か開催出来ていなかつたため延期。 ②新型コロナ感染まん延予防のため延期	
7 地域のニーズを意識し、 サービス提供を行う	① 個別面談を行い課題の明確化を行う	山野	①業務繁忙のため、9 月に延期をした。	
8 人材育成・OJT				

	地域のニーズを意識し、サービス提供を行う	① 他法人合同ケアマネジメント事例検討会・地域ケア会議のまとめ・提言	山野	①新型コロナ感染予防に伴い、昨年 1 回しか開催出来ていなかつたため延期。
9	感染症や災害への取組	① 利用者世帯の非常時の連絡体制等 ① 運営推進会議に参加する	山野 山野	①9/29 の係内会議で検討を行った。 ①書面開催
	地域のニーズを意識し、サービス提供を行う			
	《上半期の実践計画の進捗状況の評価》	該当する番号に○印→ 達成 5 • 4 • ③ • 2 • 1 未達		
中間評価理由 コロナ禍で計画をしていた他法人との事例検討会が出来ていない。それ以外は概ね実践計画通りに進んでいる。地域包括支援センターの委託依頼件数も増加している。				
	介護支援専門員実務者研修で 3 名の実習生の受け入れを行った。			
	下半期の具体的取り組み等の修正あり・なし	ありの場合はココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入		
10	人材育成・OJT	① 自己評価の実施	山野	下半期の取り組み追加訂正事項 自分自身の評価を行い、課題を抽出し、自分で調べ自分で学びを深めていく。
11	感染症や災害への取組	① 利用者名簿の作成等 ① 他法人合同ケアマネジメント事例検討会	山野 山野	居宅内での優先順位を設定。台帳制作 新型コロナ感染予防に伴い、開催できなかつた。
	地域のニーズを意識し、サービス提供を行う			
12	自立支援・QOL向上	① 事例検討会	山野	瀬戸口CMケース検討
1	自立支援・QOL向上	① 事例検討会	山野	川村CMケース検討
2	自立支援・QOL向上	① 事例検討会	山野	齊内CMケース検討
	人材育成・OJT	① 個別面談を行い課題の明確化を行う	山野	個人面談を行い来年度の課題、目標を設定
3	自立支援・QOL向上	① 事例検討会(看取りの事例)	山野	高本CMケース検討
	地域のニーズを意識し、サービス提供を行う	① 他法人合同ケアマネジメント事例検討会	山野	山野CMケース検討 書面開催

# ホームヘルプサービス(介護保険)

## I. 利用者の状況及び利用状況

### 1. 利用者の状況

年度別利用者数・訪問件数

年 度	月平均利用者数	年間訪問件数
2009	74	7,491
2010	80	8,015
2011	72	6,634
2012	73	7,512
2013	73	7,874
2014	64	6,773
2015	63	6,607
2016	68	7,098
2017	66	7,244
2018	77	8,156
2019	85	8,197
2020	88	9,039
2021	103	10,034

2021年度月別利用状況

月	利用者数			訪問延件数		
	(予防)	(訪問型)	全利用者数	(予防)	(訪問型)	全利用者数
4	17	38	99	135	196	855
5	12	42	101	94	185	832
6	15	39	99	101	198	825
7	15	41	100	115	200	846
8	15	44	103	114	214	860
9	16	48	103	131	247	872
10	16	49	105	129	239	854
11	17	49	109	134	242	868
12	17	45	107	143	249	891
1	17	41	103	125	196	723
2	15	43	104	117	209	747
3	15	43	104	133	248	861
合計	187	522	1,237	1,471	2,623	10,034

年間実利用者/介護保険(要介護)

	59 以下	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100以上	計
男			1	1	2	12	5	6	1		28
女	1	1	0	0	5	8	15	13	7	3	53
合計	1	1	1	1	7	20	20	19	8	3	81

年間実利用者/介護予防(要支援1・要支援2)

	59 以下	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100以上	計
男	0	0	2	1	2	1	7	4	1	0	18
女	0	0	1	4	4	15	22	13	2	0	61
合計	0	0	3	5	6	16	29	17	3	0	79

### 2. 利用(訪問)形態の状況

サービス内容

	身体	生活	身・生	予防	訪問型	合計
実人数	322	233	72	87	522	1,236
訪問件数	2,980	1,546	1,003	1,471	2,623	9,623

訪問回数

1/2月	1/月	2/月	不定期	週1	週2	週3	週4	週5	週6	週7	週8	週9	週10	週12	計
0	0	2	2	80	46	14	9	2	4		1				160

地域別

廿日市	佐方	平良	原	金剛寺	宮園	四季が丘	宮内	地御前	阿品台東	阿品台西	大野東	大野西	計
6	3	12	4	4	3	3	9	17	33	25	23	18	160

### 月別介護度別利用者

	事業対象	要介護度									合計
		要支援1	要支援2	1	2	3	4	5			
4月	6	21	28	18	8	7	6	5		99	
	6.1%	21.2%	28.3%	18.2%	8.1%	7.1%	6.1%	5.1%			
5月	7	22	26	18	8	9	5	7		102	
	6.9%	21.6%	25.5%	17.6%	7.8%	8.8%	7.0%	6.9%			
6月	7	22	26	18	8	8	5	6		100	
	7.0%	22.0%	26.0%	18.0%	8.0%	8.0%	5.0%	6.0%			
7月	6	25	26	18	8	8	5	5		101	
	5.9%	24.8%	25.7%	17.8%	7.9%	7.9%	5.0%	5.0%			
8月	6	24	29	17	9	8	6	4		103	
	5.8%	23.3%	28.2%	16.5%	8.7%	7.8%	5.8%	3.9%			
9月	6	30	29	17	8	7	6	4		107	
	1.0%	28.0%	27.1%	15.9%	7.5%	6.5%	5.6%	3.7%			
10月	6	30	29	16	9	7	4	4		105	
	5.7%	28.6%	27.6%	15.2%	8.6%	6.7%	3.8%	3.8%			
11月	6	27	31	22	9	6	5	4		110	
	5.5%	24.5%	28.2%	20.0%	8.2%	5.5%	4.5%	3.6%			
12月	6	26	30	20	11	6	5	4		108	
	5.6%	24.1%	27.8%	18.5%	10.2%	5.6%	4.6%	4.0%			
1月	6	23	29	15	15	7	4	4		103	
	5.8%	22.3%	28.2%	14.6%	14.6%	6.8%	3.9%	3.9%			
2月	7	22	29	16	16	6	4	4		104	
	6.7%	21.2%	27.9%	15.4%	15.4%	5.8%	3.8%	3.8%			
3月	7	22	29	16	14	8	3	4		103	
	6.8%	21.4%	28.2%	15.5%	13.6%	7.8%	2.9%	3.9%			
合計	76	294	341	211	123	87	58	55		1,245	
	6.1%	23.6%	27.4%	16.9%	9.9%	7.0%	4.7%	4.4%			

### 原爆対策、特別対策、低所得者対策月別訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
原爆	8	7	8	6	8	6	6	5	5	6	5	5	75
生保	2	1	1	1	3	3	3	2	2	2	3	3	26

### 3.24時間サービス利用状況

準・深夜帯(21時から24時)	0
-----------------	---

### 世帯別

	女性	男性	合計
単身	63	21	84
夫婦	31	21	52
その他	20	4	24
計	114	46	160

### 要介護度

事	支1	支2	1	2	3	4	5	計
10	30	39	34	19	12	10	6	160

### 早朝・夜間訪問

早朝	夜間	計
2		2

## ホームヘルプサービス(障害者自立支援法)

## II. 利用者の状況及び利用状況

## 1. 利用者の状況

### 年度別利用者数・訪問時間

年 度	月平均 利用者数	年間訪問 時間
2017	2	134
2018	2	154
2019	1	103
2020	1	114
2021	1	126

## 2021年度月別利用状況

月	利用者数	訪問延時間
4	1	10.0
5	1	10.5
6	1	10.5
7	1	9.5
8	1	10.5
9	1	11.0
10	1	10.0
11	1	9.5
12	1	11.5
1	1	10.0
2	1	10.0
3	1	12.5
合計	12	125.5

年間実利用者

	59 以下	60~64	65~69	70~74	75~79	計
男		0	0	0	0	0
女		0	0	1	0	1
合計	0	0	0	1	0	1

### 世帯別

	女性	男性	合計
単身	1	0	1
夫婦	0	0	0
その他	0	0	0
計	1	0	1

## 2. 利用(訪問)形態の状況

## サービス内容

	身体	家事	身・家	計
実人数		1		1
訪問時間				

## 訪問回数

## 地域別

## 訪問介護事業所第2清鈴園

### 1. 研修実績

#### (1)全体研修

実施日	内 容	時間	参加人数

#### (2)介護技術研修(新任職員研修)

実施日	内 容	時間	参加人数
	随時OJTにより実施		

#### (3)新人職員研修

実施日	内 容	時間	参加者	指導者

#### (5)外部研修等

実施日	内 容(場所)	時間	参加者

### 2. 講師実績※

#### (1)内部講師

実施日	内 容	時間	参加者

#### (2)外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間

### 3. 実習生※

期間	実習内容	実習生
10/5～10/7 11/11 12/14～12/16	日本赤十字広島看護大学 在宅看護論実習	5名
10/15～10/29 3/11～3/18	生活支援員養成研修	8名
3/25	きっかけ講座	1名

### 4. ボランティア※

活動日	活動者名(団体の場合は団体名および代表者名)	活動内容	人数

### 5. 外部会議※

日付	会議名など	場所	時間	出席者

## 実践計画

月	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
4	2021年度介護報酬改定に伴いスマーズにサービスを提供する	・倫理綱領の共通認識。 ・自己向上取り組みシート等配布。 ・居宅挨拶廻り	白木・橋村・景山	・コロナ禍のため、会議中止。 ・自己評価・個別研修用紙配布。 ・同行訪問実施できなかつた。 ・居宅廻り実施出来なかつた。
5	サービスを安全に継続的に提供する	・感染・災害対策の知識を習得。 ・個々の目標を発表する。 ・同行訪問実施。 ・全体会議研修参加	橋村・景山・白木	・コロナの為、先送りした。 ・全体会議、先送りになつた。 ・同行訪問、実施できなかつた。
6	モチベーションをあげケアの向上を図る。	・ケアプランの検証を行う。 ・同行訪問実施	藤井・高橋・白木	・会議中止。 ・空き時間をを利用して、ミーティングを行つた。
7	認知症の方への対応力を向上させる	・新たな知識や技術を習得する。 ・同行訪問実施	小林・幸島・景山	・思いに寄り添つた援助を提供する。 ・福祉社員として大切なことを学ぶ。 ・同行訪問実施、面談行つ。
8	地域包括システム、地域共生社会の一翼を担う。	・社会資源活用とオプション対応。 ・同行訪問実施 ・居宅挨拶廻り	白木・景山・橋村	・会議中止。 ・居宅挨拶廻り出来なかつた。 ・空き時間をを利用して、ミーティング実施。
9	援助サービスの内容と過程をチームで共有する	・記録からアセスメントを知る ・同行訪問実施 ・自己評価・個別研修用紙回収	倉迫・小林・橋村	・研修中止。 ・空き時間をを利用して、身体介護研修を行つた。 ・自己評価・個別研修用紙回収

## 【様式1】

《上半期の実践計画の進捗状況の評価》	
中間評価	該当する番号に○印→ 達成 5 ・ ④ 3 ・ 2 ・ 1 未達
評価理由 上記の評価理由 ・コロナ対策の為、毎月の同行訪問、会議等、計画通り実施できなかつたが、空き時間を利用して、少人数での身体介護等の研修を行つた。 ・新規依頼時、敏速に対応し、件数増につながつたことは評価できる。	
下半期の具体的取り組み等の修正 あり ・ なし	ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入
10 上半期の課題を踏まえ 下半期に備える	白木・橋村・ 景山 ・上半期の課題を整理、下半期の課題 確認 ・個々の課題経過確認。 ・同行訪問実施 ・生活支援員とヘルパーの合同研修。 ・全体会議研修参加
11 チームの一員としての意識を身につける。 12 基本的な介護技術を習得する。 1 症状別の介護技術を習得する。 2 思いに寄り添った援助を提供する。	景山・白木・ 橋村 ・自己の振り返りを行う。 ・同行訪問実施 ・身体介護技術を学ぶ。(パート1) ・同行訪問実施 ・身体介護技術を学ぶ。(パート2) ・同行訪問実施 ・全体会議研修実施 ・共感力を養い、どのように行動するか を学ぶ。
	白木・橋村 ・上半期の課題確認。 ・訪問ケースについて、問題点、疑問点を話し合つた。  谷・堀岡・白木 ・基本的な介護技術を学んだ。 ・同行訪問できなかつた。  小林・倉迫・ 景山 ・共感力強化の為、感情的側面と認知的側面を学んだ。 ・同行訪問できなかつた。  景山・白木・ 橋村 ・研修中止。 ・空き時間を利用して課題解決を話し合つた。

## 【様式1】

		・同行訪問実施(責任者と)		
3	近況対応を学び、判断力を養う	・マニュアルの見直しを行う。 ・個別課題評価。 ・同行訪問実施	白木・橋村・ 景山	・研修中止。 ・同行訪問実施。

## 室・課 2021年度評価と2022年度に向けて

室課名	子ども福祉推進室	記入者氏名	菊地 皇太
-----	----------	-------	-------

### 1. 2021年度の取り組みについて

2021年度の取り組みに対する評価	今後の取り組みについての考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 2021年度は、利用終了となった児童を受け入れる新たな枠組みとして「居場所登録」制を導入、実施した。開始当初は対象児童や世帯に喜んで利用してもらえたが、徐々に利用率は下がっていった。</li> <li>➤ 利用登録児童3名でのスタートとなり、2021年度上半期は新規利用児童・世帯増について特に重点的に取り組み、8世帯10名の利用登録となった。居場所登録2世帯4名と合わせて14名となり、目標人数であった15名にかなり近づくことができた。</li> <li>➤ コロナ禍にあり、多くのイベントを中止することになったが、ケアハウスささえの入居者との交流の機会を設けることができた。</li> <li>➤ 年度末から、2023年度の自治体への事業移管に向けて、企業と食材提供について連携することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 居場所登録については今後も継続するが、必要性の程度や利用しやすさなどについては、随時個別に検討していく。</li> <li>➤ 引き続き、b&amp;gを必要とする児童・世帯に情報が行き渡るよう、市関係各課や小学校と連携して取り組む。</li> <li>➤ 今後もコロナ禍は続くことが考えられるが、可能な範囲でイベントを実施し、世代間交流を進める。</li> <li>➤ 引き続き子育て応援室や社会福祉協議会と連携し、協力者と繋がるよう努める。</li> </ul>

### 2. 2022年度重点的に取り組むこととその具体策

重点的に取り組むこと	具体策
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 安定的な事業運営の実施</li> <li>➤ 記録の充実</li> <li>➤ 児童への支援内容の向上</li> <li>➤ 2023年度事業移管に向けた運営適正化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 専任マネージャーを配置し、新たな体制構築を進める。</li> <li>➤ 児童個別に記録を実施し、情報の質向上と支援内容向上に努める。</li> <li>➤ 個別支援計画を策定し、統一された質の高い支援が提供できる体制を構築する。</li> <li>➤ 情報収集と連携の強化に努める。</li> </ul>

## 2021 年度 子ども福祉係

### 1. 実績

#### ① 登録者数・終了者数

利用世帯数	利用登録	登録児童	内新規児童	内終了児童
8世帯	男児	7	4	2
	女児	3	3	0
	計	10	7	2
利用世帯数	居場所登録	登録児童	内新規児童	内終了児童
2世帯	男児	1	1	1
	女児	3	3	3
	計	4	4	4
合計	総登録者	登録児童	内新規児童	内終了児童
10世帯	男児	8	5	3
	女児	6	6	3
	合計	14	11	6

※4月より利用登録から居場所登録へ移行となった4年生男児について、対象校・市担当課と協議の上8月より利用登録児童として再登録したため、登録児童1名として計算し、居場所登録児童数には反映させていない。また新規扱いにもしていない。

#### ② 学年別登録者数

利用登録	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
男児	2	1	1	3	0	0	7
女児	3	0	0	0	0	0	3
計	5	1	1	3	0	0	10
居場所登録	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
男児	0	0	0	1	0	0	1
女児	0	0	0	0	1	2	3
計	0	0	0	1	1	2	4
合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
男児	2	1	1	4	0	0	8
女児	3	0	0	0	1	2	6
計	5	1	1	4	1	2	14

※4月より利用登録から居場所登録へ移行となった4年生男児について、対象校・市担当課と協議の上8月より利用登録児童として再登録したため、登録児童1名として計算し、居場所登録児童数には反映させていない。

### ③ 延べ利用回数

利用登録	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男児	52	38	74	64	73	72	84	113	112	99	83	124	988
女児	0	0	8	30	34	35	38	56	45	48	36	45	375
計	52	38	82	94	107	107	122	169	157	147	119	169	1363
居場所登録	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男児	5	0	2	0	3	0	0	0	1	0	0	0	11
女児	22	3	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	29
計	27	3	2	0	6	0	0	0	2	0	0	0	40
合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男児	57	38	76	64	76	72	84	113	113	99	83	124	999
女児	22	3	8	30	37	35	38	56	46	48	36	45	404
計	79	41	84	94	113	107	122	169	159	147	119	169	1403

## 2. 研修実績

### (1) 内部研修

実施日	内 容	時間	参加人数

### (2) 外部研修

実施日	内 容(場所)	時間	参加者
7/6	子ども第三の居場所全国研修会(オンライン)	11:30～ 13:30	菊地
7/17	特定給食施設等研修会(オンライン)	14:00～ 15:30	菊地
10/6	子ども第三の居場所全国研修会(オンライン)	12:30～ 14:00	菊地
11/2	福祉避難所開設訓練	10:00～ 15:00	菊地
11/8	TA モデル研修(オンライン)	10:00～ 10:45	菊地
11/22	TA モデル研修(オンライン)	10:00～ 10:45	菊地
12/6	TA モデル研修(オンライン)	10:00～ 10:45	菊地
12/23	子ども第三の居場所全国研修会(オンライン)	10:30～ 12:00	菊地

3/10	子ども第三の居場所全国研修会(オンライン)	10:30～ 12:00	菊地
------	-----------------------	-----------------	----

### 3. 講師実績※

#### (1) 内部講師

実施日	内 容	時間	参加者
8/13	指導的職員対象階層別研修「課題形成」	11:15～ 12:00	菊地

#### (2) 外部講師

実施日	内 容(対象など)	場所	派遣講師	時間

### 4. 実習生※

期間	実習内容	実習生
10/7	日赤看護大在宅看護論実習	3年生1名
11/11	日赤看護大在宅看護論実習	3年生1名
12/16	日赤看護大在宅看護論実習	3年生1名

### 5. ボランティア※

活動日	活動者名(団体の場合は団体名 および代表者名)	活動内容	人数

### 6. 外部会議※

日付	会議名など	場所	時間	出席者
4/16	日本財団との定例ミーティング	オンライン	13:00～ 14:00	菊地
5/21	日本財団との定例ミーティング	オンライン	13:00～ 14:00	菊地
6/18	日本財団との定例ミーティング	オンライン	13:00～ 14:00	菊地
7/5	利用対象候補児童検討委員会	廿日市市役所	14:00～ 16:00	小野 菊地
7/7	ケース会議	阿品台中学校	13:30～ 14:20	菊地
7/16	日本財団との定例ミーティング	オンライン	13:00～ 14:00	菊地
8/20	日本財団との定例ミーティング	オンライン	13:00～ 14:00	菊地
9/17	日本財団との定例ミーティング	オンライン	13:00～ 14:00	菊地

11/19	日本財団との定例ミーティング	オンライン	13:00～ 14:00	菊地
11/24	利用対象候補児童検討委員会	さくらぴあ	14:00～ 16:00	小野 菊地
1/21	日本財団との定例ミーティング	オンライン	13:00～ 14:00	菊地
2/15	利用対象候補児童検討委員会	さくらぴあ	14:00～ 16:00	菊地
2/22	日本財団との定例ミーティング	オンライン	13:00～ 14:00	菊地
3/16	食材提供について旭食品・子育て応援室・社協と協議	市役所会議室	16:00～ 17:00	小野 菊地

## 【様式1】

## 子ども福祉係 取り組み及び評価

月 通 年	実践課題	具体的取り組み	担当者	上半期の取り組み
BCP 策定(通年)	BCP 策定委員会への参加	菊地	定期的に委員会に參加した。	
事業展開の検討(通年)	廿日市市子育て応援室と連携し、新たな事業展開を検討する	菊地	新たな事業展開の検討には至っていない。現状では新規利用児童をサービスにつなぐ手段について検討しながら進めている。	
交流・共生(通年)	施設福祉サービス推進課と連携し、間接的交流(作品交流やオンライン交流)を推進する	菊地	未実施。花の苗が育っていたので、それをケアハウスにプレゼントすることを予定しているが、季節柄、切り戻しをしたのでもう少し時間が必要。	
4 人材育成	子ども支援員との面談を実施	菊地	計画的な面談は実施していない。不適切な発言が続いているおり、その都度指導している。また、度を越した内容の場合は記録に残し、施設長にも適宜報告するようにしている。	
5				
6				
7 関係者連携	利用対象候補児童検討委員会への参加	菊地	7月5日に実施。新規利用児童募集についての取り組みについて情報共有をした。今後声をかける児童についても協議した。その他適宜ケース会議に参加了。	
8				
9				
中 間	《上半期の実践計画の進捗状況の評価》	該当する番号に○印→	達成 5 • 4 • 3 • 2 • 1 未達	

## 【様式1】

上記の評価理由 施設部との連携、支援員の面談が未実施のため。 施設部との連携については、下半期に実施する。面談については、支援員の様子を見ながら実施するか慎重に検討する。		ありの場合 ココへ ↓ 下半期の取り組みの追加訂正を記入	
		下半期の取り組み追加訂正事項	
10	人材育成	子ども支援員との面談を実施	菊地 改めて時間を設けての面談は実施していない。日々の関りの中で気になることがあれば随時必要な声掛け(指導・支持)を実施している。
11	関係者連携	利用対象候補児童検討委員会への参加	菊地 予定通り開催され、参加した。次年度の新1年生について、阿品台西保育園の園長にも参加してもらい、必要な世帯を協議した。
12			
1			
2	関係者連携	利用対象候補児童検討委員会への参加	菊地 予定通り開催され、参加した。前回協議した次年度の児童について、進捗を確認した。また、今年度で利用終了となる児童についての情報共有をした。委員会後、自治体への事業移管について子育て応援室の各担当者と協議。
3			

# 2021年度事業総括

## ○ 2021年度事業計画について

2021年度はコロナ禍の収束・終息が未だに見込めない状況があり、引き続きの対策が必要であることに加え、インフラともいえる福祉介護サービスが継続的に提供できるよう対策を強化し、ご利用者の暮らしを安定的に支えることができるよう取り組む。また、介護報酬の改定、第8期介護保険事業計画に基づく地域の取り組みが進められる中、当施設のこれまでの取り組みを踏まえつつ、地域や時代のニーズにこたえていく体制づくりが必要である。そのためには、特別養護老人ホーム清鈴園と廿日市高齢者ケアセンターが今まで以上に連携を強化し、両施設が地域住民や廿日市市からより信頼される存在になっていくことができるよう、以下の重点課題を共通の課題と位置づけ、両施設が協力的・計画的に運営をすすめていくこととした。

## ○ 重点課題

- I. 感染症や災害への対応力強化
- II. 自立支援・重度化防止・QOL(生活の質)向上
- III. 地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う
- IV. 人材育成・働き甲斐の充実
- V. 2021年度介護報酬改定を踏まえた適正な事業運営

## ○ 2021年度の取り組みについて

### 1. 施設福祉サービス部

#### (1) 特別養護老人ホーム及びショートステイの定員変更

特別養護老人ホームの定員を54名から58名に変更し、それに伴いショートステイの定員を16名から12名に変更した。近隣でショートステイの事業所が増えている一方、特別養護老人ホームの入所待機者が多い現状及び、廿日市市の広域型特養の設置計画が不調に終わった状況を踏まえ定員変更を前年度から県、市と協議をすすめての6月からの変更であった。

#### (2) ケアハウスささえの定員変更

ケアハウスささえの定員を32名から30名に変更した。1995年の開設時より、4階部分を含む定員設定となっていたが、ケアハウスとして機能していない状況から県から定員変更の助言があり変更した。このことにより、1人当たりの補助金単価があがった。(※定員30名以下は一人当たりの補助金単価が上がる)

#### (3) 原因不明の風邪症状及び肺炎者の発症

特別養護老人ホームでは夏場に原因不明の風邪症状及び肺炎による入院者が続出し、一時は同時に9名の方が入院する状況となった。早期の対応、早期の

治療に課題を強く感じる出来事だった。

#### (4) 嘱託医の交代

1995年6月より長年嘱託医としてお勤めくださった医師より退任の意向があり、佐伯地区医師会の協力をいただき、新たな嘱託医の調整をすすめたところ、10月より嘱託医が変更となった。また、これまでの医療機関との繋がりは維持しつつ現在の医療体制を強化していくために、新たに医療法人清風会と協力医療機関契約を締結した。嘱託医及び協力医療機関は、ケアハウス、在宅サービスについても協力いただけたことになった。

### 2. 在宅福祉サービス部

#### (1) 居宅介護支援事業所、訪問介護事業所の稼働率向上

居宅介護支援事業所、訪問介護事業所については、地域包括支援センターとの連携や日常の事業者間の連携推進の結果からか、新規の申し込みも多くあり、非常に高い稼働状況を年間を通して維持できた。

#### (2) デイサービスセンターの経営改善

デイサービスセンターの特色づくりに着手し、広報活動にも力を入れ、サテライト係は比較的早い段階から稼働率が改善した。本体のデイサービスについては、体組成計の導入や広報の成果が徐々に出始め、下半期より少しづつ稼働率が改善しつつあったが、年明けからのコロナ感染者急増により、利用控えや感染者発生による3日間の休業等の影響もあり、経営的には当初の予算を下回るマイナスの収支差額が見込まれている。

#### (3) b&g廿日市+の利用児童の増加

2019年12月より、日本財団・廿日市市と三者協定事業として開始した、第三の居場所づくりが3年目になった、2023年度からは廿日市市事業に移管される見込みであり、廿日市市や廿日市市教育委員会、対象校等との連携を強化し、利用児童の増加に取り組んだ。また、廿日市市事業移管に向けての協議を廿日市市と開始した。

### 3. 福祉総務部

#### (1) 被爆体験の継承

運営基本方針の一つである、被爆体験の継承について、集合型での8・6集会の開催が困難なため、これまでにまとめた体験談を文章で学生等に読んでもらい感想を求めた。岩国YMCA国際医療福祉専門学校及び日本赤十字広島看護大学の学生30名程度の参加を得ることができた。学生の感想をまとめ、体験者にもお伝えすることとしている。

また、現在ご利用されている方から、新たな体験談をお聞かせいただき、体験談を文章にまとめていくこととした。新たな体験談は4名のご利用者からお聞かせいただいた。

#### (2) 複合的な福祉課題に連携して取り組み、地域の信頼を得るために

廿日市市では、2022年度より、重層的支援体制の整備が本格化し、地域の福祉課題について、属性(高齢者・障がい者・生活困窮者・児童・引きこもり・触法者・その他)を限定しない支援体制が推進される見込みで、社会福祉法人に求められる役割も生活支援・居住支援・参加支援などそれぞれの法人の特性に応じた関与が求められてくる。この支援体制を構築するために拠点となる建物が整備され、そこでは、現在廿日市市が直営で運営する地域包括支援センターが委託事業(公募)で設置されることとなった。これまでの清鈴園・廿日市高齢者ケアセンターの地域における働きや期待、今後の地域からの信頼を得るために重要な事業であると考え、そのプロポーザルに参加した結果、委託法人として選定された。

2021年度もコロナ禍が続き、職員が自らの健康管理を引き続き徹底する中、さまざまな行動制限でストレスを抱えやすい状況にある上、十分な人材確保ができていない部門もあった。生活を支え、尊厳をまもる福祉事業を継続的に安全にすすめるためには、職員一人一人の悩みや問題・課題、やる気や目標をしっかりと受け止め支援することが、今、最も重要な取組であると考えている。

# ねむの家／湖水園

所在地  
施設長  
電話番号  
FAX番号

〒698-0041 島根県益田市高津6丁目18-25  
松本 朋久  
(0856)23-7612  
(0856)24-0966

# 2021年度 ねむの家・湖水園 事業報告書（案）

## 総括

この一年も、この地域にあって神の御業の一端を担うことができて感謝します。また、教区の諸教会、諸団体方々のお祈り、大きなお支えがあったことに感謝します。

高齢化率37.55%にのぼる益田市で、介護中心でない暮らしを支える高齢者施設であるねむの家は「地域になくてはならない」施設として、わたしたち職員は「よりよい生活を支える」にはどうすればいいかを常に考えなければならぬと思います。さらにまた、特に最近の入居相談には親世代が80歳台、(高齢)子世代が50歳台(生活上の課題があるので独居が困難)という、いわゆる「8050問題」と思われる相談、精神障がいや、身体障がいがある6、70歳台からの入居相談などがありました。そういう相談事例からもねむの家の地域に果たす役割はますます重みが増すことを思います。

一方で、加齢による介護度の重度化、疾病(認知症を含む)によりねむの家の生活の継続には様々な課題が改めて浮き彫りにされた一年でありました。「新型コロナウィルス感染症」が一層それを困難にしています。

デイサービス湖水園は利用者の伸び悩みの中、少しでも利用しやすいように昨年度アンケートの中から声が挙がっていた「日曜日営業」について、昨年8月から取り組みを開始しました。周知がまだ追いついていないのか、利用については少ない状況ではありますが、少しでも地域に喜ばれる取り組みが継続できるように願っています。益田教会では「認知症カフェ」を開設する計画が動き出しています。湖水園ねむの家でもこの動きに協力することとしています。

いよいよ年度末にかかる頃、ねむの家共同浴室への給湯管より水漏れが発見され、共同浴室の修繕に多額(最低限修繕見積額 480万円)の費用が必要となりました。このことを覚えていただきお祈りいただければ幸いです。

## I. ねむの家

### (1) 経営的課題

- ・ ねむの家入居者の湖水園利用をすすめた。
- ・ 引き続きフェイスブックを継続し、少しづつ情報を発信している。（湖水園と共同）また、パンフレットに QR コードを添付し、動画での室内紹介など、デジタルコンテンツを少しづつ増やしている。
- ・ 機能向上維持加算取得を継続した。
- ・ 年度終わりより、重油や電気代、さらに後述の水漏れにより光熱水道費用が高騰している。

### (2) 入居者支援

- ・ デイ所属の看護師による入居者見守りサービスは入居者さんに安心感を持っていただき、好評を得ている。訪問看護師、訪問リハビリとの連携など、ねむの家にとってもその役割は欠かすことができないものとなっている。
- ・ 「機能向上維持加算」については対象者の面談等において、相談員のみならず、介護員も参加し、対話に努め、共通理解を深めることができた。
- ・ ねむの家入居者さんの湖水園利用をすすめるにあたって、湖水園との連携、情報共有のため湖水園の部署会議にねむの家相談員が加わった。
- ・ 「アドバンスケアプランニング（ACP・人生会議）」について入居者さんと一緒に学ぶ機会を得た。次年度以降もこれについてはフォローしていく。

### (3) つながる

- ・ 施設委員会主催、企画での「喫茶るーむ」に協力した。コロナの影響で今年度は数回しか持てなかつた。
- ・ 地域に向けてはコロナ禍の中でなかなか思うようにならなかつたが、益田市社協主催、益田市社会福祉法人連絡会に所属し、「ふくし何でも窓口」に協力した。

### (4) 事故防止、感染症対策

- ・ 感染症対策として次亜塩素酸消毒、アルコール消毒を年中実施。
- ・ 入居者結核検診の実施。
- ・ コロナ対策については隨時感染症委員会等で検討し、対応している。

### (5) その他

- ・ 共同浴室への給湯管に破断、水漏れが発見され、修繕が必要となつた。共同浴室の在り方、施設設備面の見直しを含めながら、次年度継続して取り組む。

### (6) 職員配置

施設長（デイ兼務） 1 ・ 生活相談員 1 ・ 介護職員 1 ・ 栄養士 1 ・ 会計事務担当 1  
厨房職員（非常勤） 5 ・ 宿直員（非常勤） 4

就職 猪股一樹（宿直員）

退職 村上照子・中村伸子（宿直員）

#### （7）入居者状況（2021年4月1日～2022年3月31日）

入退居者 入居者5名

退居者5名（死亡3名、他施設へ1名、他県在住家族宅同居へ1名）

2022年3月31日現在

- 女性18名（平均年齢87.6歳）男性10名（平均年齢83.5歳）

合計28名（平均年齢86.2歳）

- 年齢別構成

60代2名、70代5名、80代7名、90代13名、100代1名

最年長100歳 最年少68歳

欠員2名

- 要介護認定者

要支援1 5名・要支援2 5名

要介護1 5名・要介護2 1名・要介護3 1名・要介護4 1名

要介護5 0名

自立または認定なし 10名

## II. 益田市ディサービスセンター湖水園

#### （1）地域居宅介護支援事業所に湖水園の情報を提供する。そして利用者増加につなげていく。

- 各居宅介護支援事業所へ湖水園の情報提供と毎月のモニタリングを通して利用者状況を報告することにより利用者の増加につなげていった。今年度は新規利用者10名の紹介があった。
- 8月より日曜日営業を開始した。

#### （2）介護理論、技術の研鑽をつみ、サービスの質の向上をはかる。

- 各自研修会に参加し、介護の基本を改めて認識し、自分たちの考え方や技術を見直すことができた。また、基本を念頭に置いたうえで、湖水園でできることは何か、利用者それぞれの状況に合わせた支援とはなにかを考え、サービス提供をすることに努めた。
- 個別機能訓練加算Ⅱの訓練計画を立てるにあたり、利用者、家族等の思いを丁寧に聞くことに努めた。

#### （3）利用者とのかかわり、家族とのかかわり、連絡の機会を積極的に設けていく。

- 送迎時やサービス担当者会議後などの時間を利用して利用者ご家族との連絡相談を行った。相談内容によってはケアマネに相談し問題解決に努めた

- ・運営推進会議を2回実施した。
- ・ねむの家相談員に部署会議に参加してもらい、情報共有に努めた。

(4) 湖水園についての地域への理解を深めるような機会を設ける。

- ・大正琴の演奏はコロナの落ち着いている時期に行った。
- ・サマーボランティア体験、ボランティア講師による音楽教室はコロナ禍の対応策として中止（中断）となった。

(5) 職員配置

施設長（ねむの家、デイ生活相談員兼務）1

相談員（常勤専従）1・介護員兼務（常勤）1・介護員（非常勤・今年度増員）1

看護職員（非常勤）3

退職 田村弘子・倉増真由美（看護師）  
松岡真美（介護員）

就職 松岡真美・佐々木伸枝（介護員）  
横山信子（看護師）

(6) 利用者状況

1.登録者状況（2021年度）

月	登録者数			実利用者数
	男	女	計	
4	7	11	18	18
5	7	10	17	17
6	5	12	17	17
7	5	11	16	15
8	3	12	15	14
9	3	13	16	15
10	3	12	15	15
11	3	11	14	14
12	3	11	14	13
1	3	11	14	14
2	3	11	14	14
3	3	11	14	14

2. 一日平均利用者数・延べ人数・開所日数

月	延べ利用者	一日平均	開所日数
4	125	4.8	26
5	129	5.0	26
6	131	5.0	26
7	128	4.8	27
8	116	4.8	28
9	139	4.6	30
10	137	4.4	31
11	135	4.5	30
12	119	4.1	29
1	113	4.2	27
2	119	4.3	28
3	134	4.3	31
年間	1525	4.50	339

2019年度 1540 5.03 306

2020年度 1510 4.92 305

3. 利用者年齢構成（2022年3月1日現在、実利用者人数において）

年齢	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 95	96～	計
男						1	1	1	3
女			1			2	6	1	10
計	0	0	1	0	0	3	7	2	13

4. 要介護度別構成人数（2022年3月1日現在、実利用者人数において）

介護度	要支援 1	2	要介護 1	2	3	4	5	計	13名中
男			2		1			3	ねむの家 7名
女	1		5	2	1	1		10	在宅 6名
計	1	0	7	2	2	1	0	13	

5. 2021年度新規利用者数 5名

利用中止者数 9名（入所5名、死亡2名、他2名）

（7）その他

- ・ 実地指導（益田市高齢者福祉課事業者指導係） 2021年11月26日
- ・ 地域密着型通所介護について事業所指定更新した。（2028年3月まで）

### III. 廚房

（1）ミーティングの実施

- ・ 月2回実施。
- ・ 変更点の確認、事故・ひやりハッとする学びの場とした。

（2）食材料外注化と自施設調理

- ・ 月2～3回のペースで自施設調理を取り組む。入居者さんの意見を聞きながらリクエストに応える形でできた。
- ・ 欠食届等、食事にかかる届について書式を見直し、意思伝達に齟齬がないように努めた。
- ・ 外注先の食材に異物混入の事故があり、それについて対応した。

#### IV. サービス向上に関する取り組み

- 施設職員全体研修

2022年3月11日（金）実施

研修内容 「各部署での振返り、現状報告」「次年度計画説明確認」

- 事故2件

（ねむの家）2件 インスリン注射針刺し事故・昼食に異物混入  
（湖水園） 0件

- ひやりハッピ報告（ねむ 0件、湖水園 1件、厨房 0件）

# 亀の里

所在地  
連絡員  
電話番号  
FAX番号

〒742-0300 山口県岩国市玖珂町6200-1  
村田 敏  
(0827)82-2670  
(0827)82-2499

# 亀の里報告

報告者 中西英清

## 1. 委員会の構成

委員長 中西英清 書記 足立麻子 会計 海老原道宣  
委員 角田 潤 松本久美子 桜田邦雄  
陪席者 村田 敏（連絡員）

## 2. 委員会の開催（場所 周防教会礼拝堂）

2021年4月14日 5月13日 6月17日 7月15日 9月9日 10月13日 11月17日  
2022年1月12日 2月16日 3月16日

## 3. 主要承認事項

- 1) 委員会記録確認
- 2) 会計報告
- 3) 委員長報告
- 4) 連絡員報告

①岩国市社会福祉協議会から打ち直した布団をいただいた。

上記に続き9月17日に同会より、古米の寄贈（120キロ）があった。

②入院しておられた5号室の入居者が退院され、再入居

③短期入居の問い合わせ、打診が数件あった。

④短期入居者11月1日より15日退居

⑤その他

## 4. 主要協議決定事項

### 1) 亀の里フェスティバル

新型コロナウィルス感染拡大を防ぐため今年も中止とした。

2) 村田連絡員病気入院（5月）の間、村田雅子さんに連絡員代理を依頼。

3) 『亀の里ニュース』原稿執筆者依頼等について協議

4) 短期入居者の受け入れについて

現在、岩国市社会福祉協議会玖珂支部からの依頼により、その都度、数週間～数か月、亀の里事務室を居室として提供している。『短期』であるための最初2週間は無料、その後は日割りで頂いているが無料期間中の光熱用水費が場合によっては高額になることがある。事業団から、短期入居者受け入れのための経費補助を予算化していただきたい。今後も短期入居者の受け入れを積極的に、また地域貢献の一環として継続できるように、次年度以降の事業計画に組み込めるように委員会として検討、協議していく。